

感染症発生動向調査事業報告書

- 感染症発生動向調査（結核を除く）
- エイズ対策
- インフルエンザ対策
- その他
- 参考資料

令和5年

名古屋市健康福祉局

表章記号の規約

計数のない場合 —

統計項目のありえない場合 ・

発行 名古屋市健康福祉局

編集 名古屋市健康福祉局健康部感染症対策課
名古屋市衛生研究所

発行年月 令和 7 年 3 月

目 次

I 感染症発生動向調査	1
1 事業の概要	1
2 患者情報	9
(1) 一類～五類感染症（全数把握）の発生状況（令和5年）	9
表1 過去20年間の一類・二類・三類感染症年次・疾病別発生状況	15
表2 一類・二類・三類感染症月別発生状況	16
表3 一類・二類・三類感染症区別発生状況	17
表4 一類・二類・三類感染症年齢・性別発生状況	18
表5 過去10年間の一類・二類・三類感染症集団発生状況	20
表6 過去5年間の細菌性赤痢の菌型	20
表7 三類感染症発生状況	21
表8 腸管出血性大腸菌感染症の月別・菌型別発生状況	23
表9 過去10年間の腸管出血性大腸菌感染症の年次別・菌型別発生状況	23
表10 四類感染症発生状況	24
表11 四類感染症月別発生状況	25
表12 四類感染症区別発生状況	25
表13 五類感染症（全数把握）発生状況	26
表14 五類感染症（全数把握）月別発生状況	27
表15 五類感染症（全数把握）区別発生状況	27
(2) 五類感染症（定点把握）の発生状況（令和5年）	28
ア 五類感染症（定点把握）の各月毎の発生状況	28
イ 五類感染症（定点把握）発生状況の推移等	29
表1 週報対象疾病週別患者発生状況	30
表2-1 週報対象疾病（インフルエンザ・小児科定点）年齢階層別患者発生状況	42
表2-2 週報対象疾病（眼科・基幹定点）年齢階層別患者発生状況	44
表3 月報対象疾病月別患者発生状況	44
表4-1 月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況	45
表4-2 月報対象疾病（基幹定点）月別・年齢階層別患者発生状況	46
表5-1 月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況（男性）	47
表5-2 月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況（女性）	48
表5-3 月報対象疾病（基幹定点）月別・年齢階層別患者発生状況	49
表6 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（インフルエンザ）	50
表7 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（新型コロナウイルス感染症）	52
表8 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（RSウイルス感染症）	53
表9 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（咽頭結膜熱）	54
表10 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（A群溶血性レンサ球菌咽頭炎）	55
表11 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（感染性胃腸炎）	56
表12 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（水痘）	57
表13 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（手足口病）	58

表14	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（伝染性紅斑）	59
表15	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（突発性発しん）	60
表16	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（ヘルパンギーナ）	61
表17	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（流行性耳下腺炎）	62
表18	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（急性出血性結膜炎）	63
表19	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（流行性角結膜炎）	65
表20-1	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（性器クラミジア感染症）	66
表20-2	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（性器ヘルペスウイルス感染症）	66
表20-3	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（尖圭コンジローマ）	66
表20-4	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（淋菌感染症）	66
表21	週報対象疾病年次別発生状況	67
3	検査情報	68
(1)	月別ウイルス分離・検出状況	69
(2)	年齢別ウイルス分離・検出状況	70
(3)	診断名別ウイルス分離・検出状況	71
Ⅱ	エイズ対策	72
1	概況	72
2	名古屋市におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数等	72
(1)	H I V感染者報告件数（令和5年）	72
(2)	A I D S患者報告件数（令和5年）	73
(3)	H I V感染者・A I D S患者累積報告件数（令和5年）	74
(4)	H I V感染者・A I D S患者報告件数の推移（令和5年）	75
(5)	A I D S患者指標疾病別内訳（令和5年）	76
3	日本におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数（累計）（令和5年エイズ発生動向委員会）	76
4	本市のエイズ対策（令和5年度）	78
(1)	エイズ対策の概要	78
(2)	エイズ相談件数・H I V検査採血件数	79
(3)	H I V抗体検査採血件数年度別（次記(4)を除く。）	80
(4)	臨時検査実施状況	81
(5)	HIV啓発事業	81
Ⅲ	インフルエンザ対策	82
1	区別措置状況	82
2	施設別患者数等	82
3	検査結果	82
4	過去の集団かぜ発生状況	83
Ⅳ	その他	85
1	感染性胃腸炎の集団発生	85
2	浸水被害発生状況	86
3	疫学調査等実施状況	87

○ 感染症発生動向調査事業の月別主要トピックス	88
○ HIV/性感染症検査アンケート結果	96
○ 附属機関の会議開催状況	118
1 名古屋市感染症予防協議会	118
2 名古屋市感染症診査協議会感染症部会	118
3 関係条例等	118
(1) 名古屋市感染症予防協議会条例	119
(2) 名古屋市感染症診査協議会条例	121
(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則	122
(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿	124
(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿	125

感染症発生動向調査

(結核を除く)

I 感染症発生動向調査

1 事業の概要

(1) 患者情報の把握

情報収集の対象となる感染症は、その分類と特性に応じて全数把握を行うものと定点把握を行うものとに分類されている。定点把握感染症は、小児科定点、インフルエンザ定点（令和5年5月8日以降はインフルエンザ／COVID-19定点）、眼科定点、性感染症定点、基幹定点及び疑似症定点の6種類の指定医療機関から届出される。

7 全数把握

(7) 対象疾病【令和5年12月末時点】

・一類感染症（7疾病）

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

・二類感染症（7疾病）

急性灰白髄炎（ポリオ）、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）

・三類感染症（5疾病）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

・四類感染症（44疾病）

E型肝炎、ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、A型肝炎、エキノコックス症、エムボックス、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く。）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

・五類感染症（24疾病）

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、急性脳炎（ウエストナイル熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫

不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

・新型インフルエンザ等感染症（4 疾病）

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型コロナウイルス感染症

・指定感染症（0 疾病）

該当なし

イ 定点把握

(7) 対象疾病【令和5年12月末時点】

・五類感染症（25 疾病）

R S ウイルス感染症、咽頭結膜熱、インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、急性出血性結膜炎、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）、水痘、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、淋菌感染症

・法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの

(イ) 患者定点

・小児科・インフルエンザ／COVID-19 定点	70
・眼科定点	11
・STD 定点	15
・基幹定点	3
・疑似症定点	16
合 計	115

ウ 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。

(2) 病原体検査

患者定点のうち小児科・インフルエンザ／COVID-19 定点 7 か所及び眼科医療機関 1 か所の計 8 か所を病原体定点として、検体採取を行った。

(3) 情報の収集及び還元

全数把握対象疾病及び定数把握対象疾病の発生状況等について、週単位及び月単位に患者数等を収集・集計した後、市情報としてまとめ、報道機関、市医師会、各定点等関係機関等へ還元した。

(令和5年12月末時点)

一類感染症	四類感染症	五類感染症	
		全数把握対象	
(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱 (5) ベスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱	(20) E型肝炎 (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22) A型肝炎 (23) エキノコックス症 (24) エムボックス (25) 黄熱 (26) オウム病 (27) オムスク出血熱 (28) 回帰熱 (29) キャサスル森林病 (30) Q熱 (31) 狂犬病 (32) コクシジオイデス症 (33) ジカウイルス感染症 (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) (35) 腎症候性出血熱 (36) 西部ウマ脳炎 (37) ダニ媒介脳炎 (38) 炭疽 (39) チクングニア熱 (40) つつが虫病 (41) デング熱 (42) 東部ウマ脳炎 (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) (44) ニパウイルス感染症 (45) 日本紅斑熱 (46) 日本脳炎 (47) ハンタウイルス肺症候群 (48) Bウイルス病 (49) 鼻疽 (50) ブルセラ症 (51) ペネズエラウマ脳炎 (52) ヘンドラウイルス感染症 (53) 発しんチフス (54) ボツリヌス症 (55) マラリア (56) 野兔病 (57) ライム病 (58) リッサウイルス感染症 (59) リフトバレー熱 (60) 類鼻疽 (61) レジオネラ症 (62) レプトスピラ症 (63) ロッキーマン山紅斑熱	(64) アメーバ赤痢 (65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。) (66) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) (68) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。) (69) クリプトスポリジウム症 (70) クロイツフェルト・ヤコブ病 (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72) 後天性免疫不全症候群 (73) ジアルジア症 (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 (76) 侵襲性肺炎球菌感染症 (77) 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。) (78) 先天性風しん症候群 (79) 梅毒 (80) 播種性クリプトコックス症 (81) 破傷風 (82) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83) パンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84) 百日咳 (85) 風しん (86) 麻しん (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症	
二類感染症	(8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) (12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)		
三類感染症	(15) コレラ (16) 細菌性赤痢 (17) 腸管出血性大腸菌感染症 (18) 腸チフス (19) パラチフス		
新型インフルエンザ等感染症	(113) 新型インフルエンザ (114) 再興型インフルエンザ (115) 新型コロナウイルス感染症 (116) 再興型コロナウイルス感染症		
指定感染症			
該当なし			
法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症(定点)			
(117) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。			
法第14条第8項の規定に基づく把握の対象			
(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。			

○指定届出機関名簿（定点医療機関）（令和5年1月～令和5年12月）

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ/COVID-19定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	STD	基幹	疑似症	病原体		
千種保健センター	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	○				○	○	千種区若水1-2-23	
	すずこどもクリニック	○						千種区若水3-27-15	
	みずたにこどもクリニック	○						千種区茶屋が坂1-12-23	
	江口医院	○						千種区神田町24-1	
	松永小児科医院	○						千種区今池5-24-20	
	鈴木眼科		○					千種区内山3-10-17	
	野口クリニック			○				千種区仲田2-13-8	
東保健センター	A O I 名古屋病院	○						東区泉2-2-5	
	しらかべ耳鼻科・小児科	○						東区芳野1-2-1	
	近藤医院	○						東区出来町1-10-27	
	出来町クリニック	○						東区新出来2-6-7	
北保健センター	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	○		○	○	○	○	北区平手町1-1-1	
	うわとこクリニック	○						北区大曾根2-7-18	
	あさみクリニック	○						北区上飯田通1-22	～R5.4.2
	たけなかクリニック	○						北区大曾根3-7-3	R5.4.3～
	まき小児科	○						北区如意2-99-1	
	津村こどもクリニック	○						北区長喜町2-33-2	
	あじま眼科クリニック		○					北区楠味鋤2-1704	
	上飯田泌尿器科内科クリニック			○				北区八龍町1-56	
西保健センター	名鉄病院	○				○		西区栄生2-26-11	
	FamilyClinic みわた小児科	○						西区城西2-11-3	
	きとう小児科医院	○						西区香呑町4-28	
	やまかわこどもクリニック	○						西区八筋町158-1	
	玉井眼科		○					西区南川町9	
	こざき女性クリニック			○				西区上名古屋2-26-7	

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	STD	基幹	疑似症	病原体		
中村保健センター	愛知医療センター 名古屋第一病院	○				○		中村区道下町3-35	
	公園北クリニック	○						中村区本陣通5-112	
	森 医 院	○						中村区鳥居西通1-45	
	村 上 医 院	○						中村区岩塚本通4-46	
	臼 井 医 院	○						中村区大正町2-36	
	丹 羽 眼 科 医 院		○					中村区鳥居西通2-50	
	サイ皮膚泌尿器科			○				中村区鳥居西通1-39-2	
中保健センター	かんばらクリニック	○						中区新栄3-8-26	
	セントラル小児科	○						中区新栄町1-3	
	奥 田 ク リ ニ ッ ク	○						中区錦1-4-28	
	としわ会診療センター ク リ ニ ッ ク	○						中区金山5-5-11	
	グレイスベルクリニック			○				中区大須3-16-25	
	夏 目 泌 尿 器 科			○				中区新栄町1-3	
	名 城 病 院					○		中区三の丸1-3-1	
	名古屋医療センター					○		中区三の丸4-1-1	
昭和保健センター	愛知医療センター 名古屋第二病院	○			○	○	○	昭和区妙見町2-9	
	杉 浦 医 院	○						昭和区山手通5-33-1	
	伊 藤 内 科	○						昭和区白金2-13-4	
	内科・糖尿病内科 前 島 医 院	○						昭和区緑町1-15-1	
	立 松 医 院	○						昭和区広見町5-55	
	み ず の 眼 科		○					昭和区広路通7-14-1	
	成 田 ク リ ニ ッ ク			○				昭和区吹上町2-15	
	名古屋大学医学部附属病院					○		昭和区鶴舞町65	
瑞穂保健センター	名古屋市立大学病院	○				○	○	瑞穂区瑞穂町川澄1	
	か に ク リ ニ ッ ク	○						瑞穂区上山町2-20	
	ほ ま れ ク リ ニ ッ ク	○						瑞穂区平郷町2-2-2	
	久 米 ク リ ニ ッ ク	○						瑞穂区丸根町1-8	
	服 部 医 院	○						瑞穂区柳ヶ枝町1-34	
	浅 野 眼 科 ク リ ニ ッ ク		○					瑞穂区八勝通2-30-1	
	産婦人科水野クリニック			○				瑞穂区牧町2-11	

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	STD	基幹	疑似症	病原体		
熱田保健センター	井 土 医 院	○						熱田区野立町3-60	
	あつたファミリーハートクリニック	○						熱田区二番2-25-46	
	金山ファミリークリニック	○						熱田区金山町1-503 トワ金山ビル6階	
	重 工 記 念 病 院	○						熱田区外土居町7-8	
	加 藤 眼 科 医 院		○					熱田区金山町1-19-13	
	協 立 総 合 病 院					○		熱田区五番町4-33	
中川保健センター	藤 田 医 科 大 学 院 ば ん た ね 病 院	○				○		中川区尾頭橋3-6-10	
	名 古 屋 掖 済 会 病 院	○			○	○	○	中川区松年町4-66	
	福 井 医 院	○						中川区上脇町2-87	
	まつば公園こどもクリニック	○						中川区好本町3-15	
	名 古 屋 泌 尿 器 科 病 院			○				中川松葉町5-34	
港保健センター	今 井 医 院	○						港区港北町2-37	
	東 港 ク リ ニ ッ ク	○						港区港陽3-1-17	
	中 川 胃 腸 科 外 科	○						港区小賀須3-1612	
	ク リ ニ ッ ク お か だ	○						港区幸町2-25	
	まのレディースクリニック			○				港区七反野1-806-1	
	中 部 労 災 病 院					○		港区港明1-10-6	
南保健センター	大 同 病 院	○				○		南区白水町9	
	中 京 病 院	○				○	○	南区三条1-1-10	
	あ さ だ 医 院	○						南区芝町41	
	近 藤 医 院	○						南区浜田町2-17-2	
	横 瀬 医 院		○					南区戸部町3-1	
	伊 藤 し あ わ せ ク リ ニ ッ ク			○				南区弥生町14	

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	STD	基幹	疑似症	病原体		
守山保健センター	おがたファミリークリニック	○						守山区緑ヶ丘107	
	せこ内科クリニック	○						守山区瀬古1-720	
	ハローキッズクリニック	○						守山区平池東805-1	
	川瀬クリニック	○						守山区小幡5-1-6	
	田中医医院	○						守山区町南13-19	
緑保健センター	平岩病院	○						緑区鳴海町相原町26	
	ちはら小児科	○						緑区姥子山5-709	
	もりかわファミリークリニック	○						緑区水広2-119	
	緑こどもクリニック	○						緑区乗鞍1-404	
	吉山眼科クリニック		○					緑区鳴海町字本町28-1	～R5.4.2
	原田眼科		○					緑区大高町天神75	R5.4.3～
	みどりの風クリニック			○				緑区鹿山3-10	R5.4.24～ 名称変更
名東保健センター	若葉台クリニック	○						名東区若葉台502	～R5.4.2
	若月こどもとアレルギーのクリニック	○						愛知県名古屋市長高針荒田1901	R5.4.3～
	佐々木こどもクリニック	○						名東区朝日が丘99	
	武井医院	○						名東区社口2-1001	
	朝日クリニック	○						名東区香南1-417	～R5.4.2
	たかぎクリニック	○						名古屋市名東区石が根町98	R5.4.3～
	本郷眼科		○					名東区本郷2-83	～R5.10.29
	まじま眼科		○				○	名東区藤が丘141藤が丘駅前ビル2階	眼科定点 R5.10.30～
	くずやクリニック			○				名東区本郷2-94-1 みふくビル2階	
天白保健センター	くつなこどもクリニック	○					○	天白区原3-804	
	伊奈クリニック	○						天白区平針3-111	
	岩山小児科	○						天白区福池2-24	～R5.4.30
	青木内科	○						天白区中砂町534	R5.5.1～
	表山クリニック	○						天白区表山1-1760	
	鈴木眼科医院		○					天白区島田2-811	
	おときき山泌尿器皮膚科			○				天白区池見2-229	
	名古屋記念病院					○		天白区平針4-305	

2 患者情報

(1) 一類～五類感染症（全数把握）の発生状況（令和5年：診断日で集計）

ア 一類感染症

発生はなかった。

イ 二類感染症（結核を除く。）

発生はなかった。

ウ 三類感染症

64件の発生があった。内訳は、腸管出血性大腸菌感染症が62件、パラチフスが2件であった。コレラ、細菌性赤痢及び腸チフスの発生はなかった。

○腸管出血性大腸菌感染症

- ・診断した者の類型では、患者が49件、無症状病原体保有者が13件であった。以下、（ ）内に無症状病原体保有者を再掲。
- ・菌の型別では、O157が48件（6件）、O26が4件、Og76が1件（1件）、不明が9件（6件）であった。
- ・性別では、男性が35件（5件）、女性が27件（8件）であった。
- ・年齢別では、10歳未満が7件（2件）、10～19歳が4件（1件）、20～29歳が26件（4件）、30～39歳が7件（2件）、40～49歳が5件（1件）、50～59歳が6件（1件）、60～69歳が4件（1件）、70歳以上が3件（1件）であった。
- ・診断月別では、8月の19件が最も多く、全体の30.7%を占めた。

○パラチフス

- ・診断した者の類型では、患者が1件、無症状病原体保有者が1件であった。以下、（ ）内に無症状病原体保有者を再掲。
- ・性別では、男性が1件、女性が1件（1件）であった。
- ・年齢別では、10歳未満が1件、10～19歳が1件（1件）であった。

Ⅰ 四類感染症

51件の発生があった。内訳は、E型肝炎が5件、A型肝炎が1件、エムボックスが3件、つつが虫病が1件、デング熱が6件、日本紅斑熱が1件、マラリアが1件、レジオネラ症が32件、レプトスピラ症が1件であった。

○E型肝炎

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
3月	血清IgA抗体の検出	患者	男	31	国内
4月	血清IgA抗体の検出	患者	男	22	不明
6月	血清IgA抗体の検出	患者	男	63	不明

6 月	血清 IgA 抗体の検出	患者	男	72	宮崎県
12 月	血清 IgA 抗体の検出	患者	男	39	不明

○A型肝炎

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
9 月	血清 IgM 抗体の検出	患者	女	7	パキスタン

○エムボックス

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
5 月	PCR 法	患者	男	41	大阪市
5 月	PCR 法	患者	男	44	市内
10 月	PCR 法	患者	男	44	市内

○つつが虫病

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
12 月	PCR 法	患者	女	47	豊田市

○デング熱

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
5 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS1) の検出	患者	男	29	インドネシア
6 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS1) の検出	患者	男	43	インドネシア
8 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS1) の検出 ペア血清での血清 IgM 抗体の検出 (抗体陽転)	患者	女	21	ラオス
9 月	PCR 法	患者	女	44	タイ
9 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS1) の検出 ペア血清での血清 IgM 抗体の検出 (抗体陽転)	患者	女	24	シンガポール
11 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS1) の検出	患者	女	25	ベトナム

○日本紅斑熱

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
10 月	PCR 法	患者	女	63	豊田市

○マラリア

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
4 月	鏡検による病原体の検出	患者	男	40	ブラジル

○レプトスピラ症

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
10 月	PCR 法	患者	女	52	沖縄県

○レジオネラ症

- ・病型では、肺炎型が 31 件、ポンティアック熱型は 1 件だった。
- ・性別では、男性が 24 件、女性が 8 件であった。
- ・年齢別では、50～59 歳が 9 件、60～69 歳が 6 件、70～79 歳が 5 件、80 歳以上が 12 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、水系感染が 7 件、不明が 25 件であった。

オ 五類感染症（全数把握）

751 件の発生があった。内訳は、アメーバ赤痢が 13 件、ウイルス性肝炎が 5 件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症が 53 件、急性脳炎が 17 件、クロイツフェルト・ヤコブ病が 3 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が 22 件、後天性免疫不全症候群が 75 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症が 14 件、侵襲性髄膜炎菌感染症が 1 件、侵襲性肺炎球菌感染症が 54 件、水痘（入院例に限る。）が 8 件、梅毒が 468 件、播種性クリプトコックス症が 1 件、破傷風が 1 件、百日咳が 16 件であった。

○アメーバ赤痢

- ・性別では、男性が 11 件、女性が 2 件であった。
- ・年齢別では、40～49 歳が 3 件、50～59 歳が 2 件、60～69 歳が 5 件、70～79 歳が 2 件、80 歳以上が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、性的接触が 3 件、経口感染が 2 件、不明が 8 件であった。

○ウイルス性肝炎

- ・病型では、B 型が 2 件、その他が 3 件であった。
- ・性別では、男性が 2 件、女性が 3 件であった。
- ・年齢別では、10～19 歳が 1 件、20～29 歳が 2 件、40～49 歳が 2 件であった。

○カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

- ・性別では、男性が 33 件、女性が 20 件であった。
- ・年齢別では、20～29 歳が 1 件、40～49 歳が 2 件、50～59 歳が 4 件、60～69 歳が 5 件、70～79 歳が 18 件、80 歳以上が 23 件であった。

- ・感染原因（推定含む）別では、以前からの保菌が 12 件、医療器具関連感染が 5 件、院内感染が 2 件、手術部位感染が 9 件、その他が 2 件、不明が 23 件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が 31 件、愛知県内が 10 件、国内（都道府県不明）が 3 件、不明が 9 件であった。

○急性脳炎

- ・病型では、インフルエンザウイルスが 5 件、その他が 2 件、病原体不明が 10 件であった。
- ・性別では、男性が 9 件、女性が 8 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 14 件、10～19 歳が 1 件、40～49 歳が 1 件、60～69 歳が 1 件であった。

○クロイツフェルト・ヤコブ病

- ・病型では、古典型が 2 件、家族性 CJD が 1 件であった。
- ・性別では、男性が 2 件、女性が 1 件であった。
- ・年齢別では、70～79 歳が 1 件、80 歳以上が 2 件であった。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症

- ・病型では、A 群が 7 件、B 群が 2 件、G 群が 9 件、不明が 4 件であった。
- ・性別では、男性が 17 件、女性が 5 件であった。
- ・年齢別では、40～49 歳が 2 件、50～59 歳が 2 件、60～69 歳が 2 件、70～79 歳が 7 件、80 歳以上が 9 件であった。

○後天性免疫不全症候群

詳細は「Ⅱ エイズ対策」を参照。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症

- ・性別では、男性が 12 件、女性が 2 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 3 件、30～39 歳が 1 件、60～69 歳が 3 件、70～79 歳が 5 件、80 歳以上が 2 件であった。
- ・ワクチン接種歴では、有りが 3 件、無しまたは不明が 11 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染が 1 件、その他が 2 件、不明が 11 件であった。

○侵襲性髄膜炎菌感染症

- ・性別では、男性が 1 件であった。
- ・年齢別では、20～29 歳が 1 件であった。
- ・ワクチン接種歴では、不明が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染および接触感染が 1 件であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症

- ・性別では、男性が36件、女性が18件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が7件、20～29歳が1件、30～39歳が2件、40～49歳が3件、50～59歳が5件、60～69歳が5件、70～79歳が17件、80歳以上が14件であった。
- ・ワクチン接種歴では、有りが10件、無しまたは不明が44件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染が17件、接触感染が1件、その他が3件、不明が33件であった。

○水痘（入院例に限る。）

- ・性別では、男性が3件、女性が5件であった。
- ・年齢別では、10～19歳が2件、20～29歳が2件、30～39歳が2件、60～69歳が1件、70～79歳が1件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染が1件、不明が7件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が4件、愛知県内が3件、不明が1件であった。

○梅毒

- ・病型では、無症候（無症状病原体保有者）が126件、早期顕症梅毒（Ⅰ期）が192件、早期顕症梅毒（Ⅱ期）が142件、晩期顕症梅毒が3件、先天梅毒が5件であった。
- ・性別では、男性が284件、女性が184件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が5件、10～19歳が19件、20～29歳が176件、30～39歳が92件、40～49歳が85件、50～59歳が60件、60～69歳が24件、70～79歳が5件、80歳以上が2件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、性的接触が421件、母子感染が5件、その他が1件、不明が41件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が298件、愛知県内が87件、国内が48件、国外が2件、不明が33件であった。

○播種性クリプトコックス症

- ・性別では、男性が1件であった。
- ・年齢別では、70～79歳が1件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、免疫不全が1件であった。

○破傷風

- ・性別では、男性が1件であった。
- ・年齢別では、80歳以上が1件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、針等の鋭利なものの刺入による感染および創傷感染が1件であった。

○百日咳

- ・性別では、男性が6件、女性が10件であった。

- ・年齢別では、10歳未満が10件、10～19歳が2件、20～29歳が4件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、流行の有無が1件、不明が15件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が11件、愛知県内が2件、国内が1件、不明が2件であった。

表1 過去20年間の一類・二類・三類感染症年次・疾病別発生状況(名古屋市)

疾病別 年次	総 数		急性灰白髄炎		ジフテリア		重症急性呼吸器 症候群		中東呼吸器症候 群		鳥インフルエン ザ (H5N1)	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
16	67 (11)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
17	63 (9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
18	63 (21)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
19	40 (11)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
20	69 (10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
21	63 (10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
22	74 (16)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
23	48 (20)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
24	44 (9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
25	62 (10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
26	48 (9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
27	44 (9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	46 (13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	64 (8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	56 (11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
元	51 (10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	42 (5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	36 (4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	30 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	64 (14)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別 年次	鳥インフルエン ザ (H7N9)		コ レ ラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
16	・	・	4 -	-	11 -	-	46 (11)	-	3 -	-	3 -	-
17	・	・	-	-	6 -	-	52 (9)	-	4 -	-	1 -	-
18	・	・	1 -	-	6 -	-	56 (21)	-	-	-	-	-
19	・	・	-	-	2 -	-	37 (11)	-	1 -	-	-	-
20	・	・	1 -	-	5 -	-	62 (10)	-	-	-	1 -	-
21	・	・	1 -	-	5 -	-	54 (10)	-	1 -	-	2 -	-
22	・	・	-	-	5 -	-	69 (16)	-	-	-	-	-
23	・	・	1 -	-	3 -	-	43 (20)	-	-	-	1 -	-
24	・	・	-	-	5 (1)	-	38 (8)	-	1 -	-	-	-
25	・	・	-	-	9 (1)	-	51 (9)	-	1 -	-	1 -	-
26	・	・	1 -	-	7 -	-	40 (9)	-	-	-	-	-
27	-	-	-	-	2 -	-	42 (9)	-	-	-	-	-
28	-	-	1 -	-	6 (1)	-	37 (12)	-	2 -	-	-	-
29	-	-	-	-	6 -	-	58 (8)	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	2 -	-	53 (11)	-	-	-	1 -	-
元	-	-	-	-	4 -	-	45 (10)	-	1 -	-	1 -	-
2	-	-	-	-	-	-	42 (5)	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	1 -	-	34 (4)	-	1 -	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	30 (2)	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	62 (13)	-	-	-	2 (1)	-

注：診断日にて集計

() 内は無症状病原体保有者の再掲。

- ・平成11年4月1日からは感染症法に基づく発生報告。
- ・令和5年までにおいて一類感染症の発生なし。

表2 一類・二類・三類感染症月別発生状況(令和5年・名古屋市)

疾病別 月	総 数	急性 灰白 髄炎	ジ フ テ リ ア	重 症 急 性 呼 吸 器 症 候 群	中 東 呼 吸 器 症 候 群	鳥 イン フル エン ザ (H 5 N 1)	鳥 イン フル エン ザ (H 7 N 9)	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス
総数	64 (14) ①	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	62 (13) -	- - -	2 (1) ①
1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
2	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
3	2 (1) ①	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 (1) ①
4	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
5	2 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 (1) -	- - -	- - -
6	6 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	6 (1) -	- - -	- - -
7	12 (2) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	12 (2) -	- - -	- - -
8	19 (3) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	19 (3) -	- - -	- - -
9	15 (4) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	15 (4) -	- - -	- - -
10	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -
11	2 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 (1) -	- - -	- - -
12	3 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 (1) -	- - -	- - -

注： 診断日にて集計

()内は無症状病原体保有者の再掲。 ○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和5年は一類感染症の発生なし。

表3 一類・二類・三類感染症区別発生状況(令和5年・名古屋市)

区	疾病別	総数	急性灰白髄炎	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
総数		64 (14) ①	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	62 (13) -	- - -	2 (1) ①
千種		3 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 - -	- - -	- - -
東		4 (2) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 (2) -	- - -	- - -
北		2 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 (1) -	- - -	- - -
西		4 (2) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 (2) -	- - -	- - -
中村		3 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 - -	- - -	- - -
中		2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -
昭和		9 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	9 (1) -	- - -	- - -
瑞穂		- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
熱田		1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
中川		10 (3) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	10 (3) -	- - -	- - -
港		3 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	2 (1) ①
南		1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
守山		7 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	7 (1) -	- - -	- - -
緑		9 (3) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	9 (3) -	- - -	- - -
名東		2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -
天白		4 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 - -	- - -	- - -

注：診断日にて集計

()内は無症状病原体保有者の再掲。 ○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和5年は一類感染症の発生なし。

表4 一類・二類・三類感染症年齢・性別発生状況(令和5年・名古屋市)

年齢別 性別		総数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	男	36	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	女	28	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-
	計	64	-	-	-	2	-	1	-	1	-	3	-	1	-
急性 白血 炎	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジ フ テ リ ア	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重 器 症 急 性 呼 吸	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中 東 呼 吸 器	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 イ ン フ ル エ ン	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 イ ン フ ル エ ン	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コ レ ラ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤 細 菌 痢 性	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 腸 菌 感 染 症	男	35	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	女	27	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-
	計	62	-	-	-	2	-	1	-	1	-	2	-	1	-
腸 チ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パ ラ チ フ ス	男	1	①	-	-	-	-	-	-	-	1	①	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	2	①	-	-	-	-	-	-	-	1	①	-	1	-

注：診断日にて集計

○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和5年は一類感染症の発生なし。

年齢別 性別		13	14	15 〃 19	20 〃 24	25 〃 29	30 〃 34	35 〃 39	40 〃 44	45 〃 49	50 〃 54	55 〃 59	60 〃 64	65 〃 69	70 〃
総 数	男	-	-	1	8	9	2	2	3	1	3	-	1	1	1
	女	-	-	2	4	5	3	-	-	1	2	1	2	-	2
	計	-	-	3	12	14	5	2	3	2	5	1	3	1	3
白 急 髄 性 炎 灰	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジ フ テ リ ア	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重 器 症 急 性 呼 吸	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中 東 呼 吸 器	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 イン フル エン ザ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 イン フル エン ザ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コ レ ラ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤 細 菌 性 痢 疾	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸 菌感 染症	腸 管 出 血 性	男	-	1	8	9	2	2	3	1	3	-	1	1	1
	女	-	-	2	4	5	3	-	-	1	2	1	2	-	2
	計	-	-	3	12	14	5	2	3	2	5	1	3	1	3
腸 チ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パ ラ チ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：診断日にて集計

○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和5年は一類感染症の発生なし。

表5 過去10年間の一類・二類・三類感染症集団発生状況(名古屋市)

年次	施設種別	区	発生期間	患者数	死亡者数	病原体	感染経路	備考
26	発生なし							
27	発生なし							
28	発生なし							
29	発生なし							
30	発生なし							
元	発生なし							
2	発生なし							
3	発生なし							
4	発生なし							
5	発生なし							

注:()内は無症状病原体保有者の再掲

表6 過去5年間の細菌性赤痢の菌型(名古屋市)

年次		元	2	3	4	5
菌型						
A 群		-	-	-	-	-
B群	1型	-	-	-	-	-
	2型	-	-	1	-	-
	3型	-	-	-	-	-
	4型	-	-	-	-	-
	5型	-	-	-	-	-
	6型	-	-	-	-	-
	型不詳	1	-	-	-	-
C 群		-	-	-	-	-
D 群		3	-	-	-	-
検出なし		-	-	-	-	-
計		4	-	1	-	-
備 考						

表7 三類感染症発生状況(令和5年・名古屋市)

番号	病名	菌型	ベロ毒素	区分	性別	年齢	区	海外渡航歴	診断年月日
1	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	34	中村		2023/04/07
2	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	30	港	インドネシア	2023/05/15
3	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1・2	保菌	女	19	東		2023/05/16
4	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	29	千種		2023/06/05
5	腸管出血性大腸菌感染症	O26	2	患者	男	27	緑		2023/06/07
6	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	保菌	男	42	中川		2023/06/12
7	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	30	千種		2023/06/20
8	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	23	東		2023/06/26
9	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	52	昭和		2023/06/27
10	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	7	天白		2023/07/01
11	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	保菌	男	39	中川		2023/07/05
12	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	48	名東	大韓民国	2023/07/06
13	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1	患者	女	5	名東		2023/07/07
14	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	66	緑		2023/07/11
15	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	27	昭和		2023/07/14
16	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	保菌	男	51	緑		2023/07/14
17	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	29	北		2023/07/24
18	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	男	23	中村		2023/07/26
19	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	27	中川		2023/07/31
20	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	27	天白		2023/07/31
21	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	21	天白		2023/07/31
22	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	21	守山		2023/08/02
23	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	3	昭和		2023/08/03
24	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	2	守山		2023/08/05
25	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1・2	患者	男	29	緑		2023/08/10
26	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	32	守山		2023/08/11
27	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	保菌	女	7	守山		2023/08/11
28	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	83	熱田		2023/08/14
29	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	32	南		2023/08/14
30	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	男	18	守山		2023/08/14
31	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	25	中		2023/08/16

32	腸管出血性大腸菌感染症	○157	2	患者	女	50	昭和		2023/08/18
33	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1・2	保菌	女	76	昭和		2023/08/18
34	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	男	10	西		2023/08/21
35	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	女	28	守山		2023/08/21
36	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	男	63	緑		2023/08/25
37	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1	保菌	男	35	西		2023/08/28
38	腸管出血性大腸菌感染症	○26	不明	患者	男	40	中川	フランス ルクセンブルク	2023/08/28
39	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	女	17	中川		2023/08/29
40	腸管出血性大腸菌感染症	○157	2	患者	女	27	守山		2023/08/29
41	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	保菌	女	61	緑		2023/09/01
42	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	男	40	中		2023/09/04
43	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	患者	男	21	昭和	カンボジア	2023/09/06
44	腸管出血性大腸菌感染症	○157	不明	患者	女	23	中川		2023/09/06
45	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	保菌	女	6	中川		2023/09/07
46	腸管出血性大腸菌感染症	○157	2	患者	男	24	昭和	大韓民国	2023/09/09
47	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	男	2	中川	カナダ	2023/09/09
48	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	女	50	昭和		2023/09/12
49	腸管出血性大腸菌感染症	○26	1	患者	男	20	緑	大韓民国	2023/09/15
50	腸管出血性大腸菌感染症	○157	2	保菌	女	21	緑		2023/09/15
51	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1	患者	男	25	天白		2023/09/18
52	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1	患者	女	25	東		2023/09/20
53	腸管出血性大腸菌感染症	○157	不明	患者	男	25	中村		2023/09/25
54	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1	保菌	女	24	東		2023/09/28
55	腸管出血性大腸菌感染症	○157	2	患者	男	29	昭和	大韓民国	2023/09/28
56	腸管出血性大腸菌感染症	○157	2	患者	女	57	西	大韓民国	2023/10/10
57	腸管出血性大腸菌感染症	○157	1・2	患者	女	60	中川	大韓民国	2023/10/13
58	腸管出血性大腸菌感染症	○157	不明	患者	男	47	千種		2023/11/09
59	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	保菌	男	24	西		2023/11/13
60	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	患者	男	84	緑		2023/12/04
61	腸管出血性大腸菌感染症	○g76	1	保菌	女	20	北		2023/12/17
62	腸管出血性大腸菌感染症	○157	不明	患者	男	51	中川		2023/12/23

表8 腸管出血性大腸菌感染症の月別・菌型別発生状況(令和5年・名古屋市)

月	患者数	内 訳 (菌 型 別)															
		O157	O26	O111	O103	O165	O115	O63	O145	O121	O91	O128	O28	O136	O166	その他	不明
1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
2	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
4	1 -	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5	2 (1)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 (1)
6	6 (1)	5 (1)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
7	12 (2)	10 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 (2)
8	19 (3)	15 (2)	2 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 (1)
9	15 (4)	12 (3)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 (1)
10	2 -	2 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
11	2 (1)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 (1)
12	3 (1)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 (1)	1 -
計	62 (13)	48 (6)	4 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 (1)	9 (6)

注1：診断日にて集計

注2：（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

表9 過去10年間の腸管出血性大腸菌感染症の年次別・菌型別発生状況(名古屋市)

年次	患者数	内 訳 (菌 型 別)															
		O157	O26	O111	O103	O165	O115	O63	O145	O121	O91	O128	O28	O136	O166	その他	不明
26	40 (9)	30 (6)	6 (2)	1 -	- -	1 -	- -	- -	- -	- -	1 (1)	- -	- -	- -	- -	- -	1 -
27	42 (9)	39 (9)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 -
28	37 (12)	28 (9)	2 -	- -	1 -	- -	- -	1 -	3 (2)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 (1)
29	58 (8)	40 (3)	11 (3)	1 -	1 -	- -	- -	- -	3 (1)	- -	1 (1)	1 -	- -	- -	- -	- -	- -
30	53 (11)	40 (9)	4 -	1 -	- -	- -	1 -	- -	1 -	1 -	1 (1)	- -	1 (1)	- -	- -	- -	3 -
元	45 (10)	27 (5)	5 (1)	- -	2 (1)	1 -	- -	- -	6 (2)	- -	- -	- -	- -	- -	1 -	- -	3 (1)
2	42 (5)	18 (1)	10 (2)	3 -	4 (1)	- -	- -	- -	2 -	1 -	- -	- -	- -	1 (1)	- -	- -	3 -
3	34 (4)	28 (4)	4 -	1 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 -
4	30 (2)	20 (2)	5 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	4 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 -
5	62 (13)	48 (6)	4 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 (1)	9 (6)

注1：診断日にて集計

注2：（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

表10 四類感染症発生状況(令和5年・名古屋市)

疾 病 名	発生数	備 考
E型肝炎	5	
웨스트ナイル熱(웨스트ナイル脳炎を含む。)	-	
A型肝炎	1	
エキノкокクス症	-	
エムボックス	3	
黄熱	-	
オウム病	-	
オムスク出血熱	-	
回帰熱	-	
キャサヌル森林病	-	
Q熱	-	
狂犬病	-	
コクシジオイデス症	-	
ジカウイルス感染症	-	
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	-	
腎症候性出血熱	-	
西部ウマ脳炎	-	
ダニ媒介脳炎	-	
炭疽	-	
チクングニア熱	-	
つつが虫病	1	
デング熱	6	
東部ウマ脳炎	-	
鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く。)	-	
ニパウイルス感染症	-	
日本紅斑熱	1	
日本脳炎	-	
ハンタウイルス肺症候群	-	
Bウイルス病	-	
鼻疽	-	
ブルセラ症	-	
ベネズエラウマ脳炎	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	
発しんチフス	-	
ボツリヌス症	-	
マラリア	1	
野兎病	-	
ライム病	-	
リッサウイルス感染症	-	
リフトバレー熱	-	
類鼻疽	-	
レジオネラ症	32	肺炎型：31、ポンティアック熱型：1
レプトスピラ症	1	
ロッキー山紅斑熱	-	
合計	51	

表11 四類感染症月別発生状況(令和5年・名古屋市)

月	総 数	E 型 肝 炎	A 型 肝 炎	エ ム ポ ン ク ス	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	マ ラ リ ア	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-
4	3	1	-	-	-	-	-	1	1	-
5	6	-	-	2	-	1	-	-	3	-
6	9	2	-	-	-	1	-	-	6	-
7	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-
8	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-
9	11	-	1	-	-	2	-	-	8	-
10	7	-	-	1	-	-	1	-	4	1
11	3	-	-	-	-	1	-	-	2	-
12	3	1	-	-	1	-	-	-	1	-
合計	51	5	1	3	1	6	1	1	32	1

注 令和5年次に報告のあった疾病のみ掲載。

表12 四類感染症区別発生状況(令和5年・名古屋市)

区	総 数	E 型 肝 炎	A 型 肝 炎	エ ム ポ ン ク ス	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	マ ラ リ ア	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
千種	10	1	-	-	-	3	-	1	5	-
東	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	3	-	-	1	-	-	-	-	2	-
中村	5	2	-	-	1	1	-	-	1	-
中	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
昭和	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-
瑞穂	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
熱田	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
中川	6	1	1	1	-	-	-	-	3	-
港	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-
南	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-
守山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑	6	1	-	-	-	-	-	-	4	1
名東	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
天白	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-
合計	51	5	1	3	1	6	1	1	32	1

注 令和5年次に報告のあった疾病のみ掲載。

表13 五類感染症(全数把握)発生状況(令和5年・名古屋市)

疾病名	発生数	備考
アメーバ赤痢	13	腸管アメーバ症:13、腸管及び腸管外アメーバ症:0
ウイルス性肝炎	5	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	53	
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	0	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	17	病原体不明:10
クリプトスポリジウム症	0	
クロイツフェルト・ヤコブ病	3	古典型CJD:2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22	
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む。)	75	AIDS:20、無症候:55、その他:0
ジアルジア症	0	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	14	
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	
侵襲性肺炎球菌感染症	54	
水痘(入院例に限る。)	8	検査診断例:4、臨床診断例:4
先天性風しん症候群	0	
梅毒	468	早期顕症I期:192、早期顕症II期:142、晩期顕症:3、無症候:126、先天梅毒:5
播種性クリプトコックス症	1	
破傷風	1	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	
百日咳	16	
風しん	0	
麻しん	0	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	
合計	751	

表14 五類感染症(全数把握)月別発生状況(令和5年・名古屋市)

月	合 計	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例に限る。)	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	破傷風
1	51	2	-	4	1	-	2	6	1	-	4	-	31	-	-	-
2	73	1	3	5	3	2	5	4	-	-	5	-	45	-	-	-
3	66	1	-	5	1	-	5	9	-	-	3	-	40	-	2	-
4	63	-	-	7	-	-	-	7	1	-	3	2	43	-	-	-
5	78	1	-	5	2	-	-	8	2	-	6	-	54	-	-	-
6	87	-	1	3	-	-	2	13	3	-	2	-	62	-	1	-
7	68	1	-	6	-	-	1	6	2	-	3	1	45	-	3	-
8	55	2	1	3	1	-	3	5	2	1	2	-	34	-	1	-
9	50	2	-	2	2	1	-	5	1	-	3	1	33	-	-	-
10	60	1	-	4	4	-	2	4	-	-	7	1	34	-	2	1
11	51	2	-	7	-	-	-	3	-	-	10	1	24	-	4	-
12	49	-	-	2	3	-	2	5	2	-	6	2	23	1	3	-
合計	751	13	5	53	17	3	22	75	14	1	54	8	468	1	16	1

注 令和5年次に報告のあった疾病のみ掲載。

表15 五類感染症(全数把握)区別発生状況(令和5年・名古屋市)

区	合 計	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例に限る。)	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	破傷風
千種	30	2	-	8	-	-	1	-	1	-	4	-	14	-	-	-
東	26	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-
北	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	15	-	1	-
西	30	1	-	9	1	1	1	1	1	-	3	-	4	-	8	-
中村	53	1	-	7	7	-	2	1	1	-	4	-	29	-	1	-
中	273	1	1	-	1	-	3	67	2	-	6	-	191	-	1	-
昭和	69	1	-	11	2	-	3	-	2	-	8	2	40	-	-	-
瑞穂	30	1	-	1	-	-	5	1	1	-	6	-	14	1	-	-
熱田	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-
中川	79	2	1	10	-	1	4	3	1	-	10	4	42	-	-	1
港	17	-	1	2	-	1	1	-	2	1	3	-	5	-	1	-
南	55	1	-	2	5	-	-	1	3	-	6	2	33	-	2	-
守山	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
緑	18	2	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	12	-	1	-
名東	22	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	20	-	-	-
天白	14	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	11	-	-	-
合計	751	13	5	53	17	3	22	75	14	1	54	8	468	1	16	1

注 令和5年次に報告のあった疾病のみ掲載。

(2) 五類感染症（定点把握）の発生状況（令和5年）

7 五類感染症（定点把握）の各月毎の発生状況

五類感染症（定点把握）の本市における各月毎の発生状況（令和5年1月～令和5年12月）のうち、報告数の多い上位3疾病は以下のとおり。

<令和5年1月分（第1週～第4週）>

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	インフルエンザ	1,857	19.34
②	感染性胃腸炎	1,048	1.06
③	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	1.30

<令和5年2月分（第5週～第8週）>

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	インフルエンザ	2,765	1.49
②	感染性胃腸炎	1,236	1.18
③	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	1.15

<令和5年3月分（第9週～第13週）>

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	インフルエンザ	3,213	1.16
②	感染性胃腸炎	1,498	1.21
③	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	1.73

<令和5年4月分（第14週～第17週）>

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	感染性胃腸炎	921	0.61
②	インフルエンザ	775	0.24
③	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105	1.11

<令和5年5月分（第18週～第21週）>

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	感染性胃腸炎	1,250	1.36
②	新型コロナウイルス感染症	1,027	※
③	インフルエンザ	360	0.46

※新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から五類感染症（定点把握）に移行。

<令和5年6月分（第22週～第26週）>

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	新型コロナウイルス感染症	2,607	2.54
②	感染性胃腸炎	1,547	1.24
③	ヘルパンギーナ	1,294	24.42

＜令和5年7月分（第27週～第30週）＞

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	新型コロナウイルス感染症	4,317	1.66
②	ヘルパンギーナ	1,181	0.91
③	感染性胃腸炎	546	0.35

＜令和5年8月分（第31週～第34週）＞

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	新型コロナウイルス感染症	6,290	1.46
②	感染性胃腸炎	529	0.97
③	インフルエンザ	507	2.80

＜令和5年9月分（第35週～第39週）＞

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	新型コロナウイルス感染症	4,127	0.66
②	インフルエンザ	1,852	3.65
③	感染性胃腸炎	468	0.88

＜令和5年10月分（第40週～第43週）＞

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	インフルエンザ	2,950	1.59
②	新型コロナウイルス感染症	1,227	0.30
③	感染性胃腸炎	493	1.05

＜令和5年11月分（第44週～第48週）＞

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	インフルエンザ	7,860	2.66
②	新型コロナウイルス感染症	1,023	0.83
③	感染性胃腸炎	813	1.81

＜令和5年12月分（第49週～第52週）＞

	疾病名	報告数（件）	前月比
①	インフルエンザ	5,958	0.76
②	新型コロナウイルス感染症	1,662	1.62
③	感染性胃腸炎	818	1.11

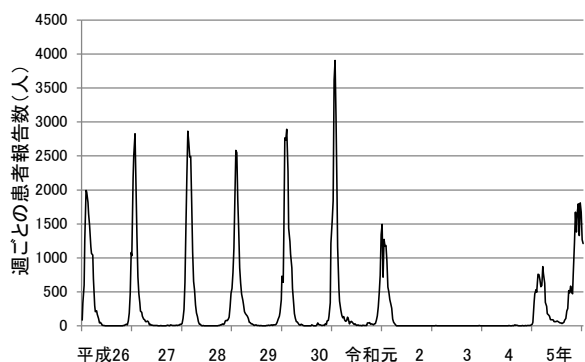
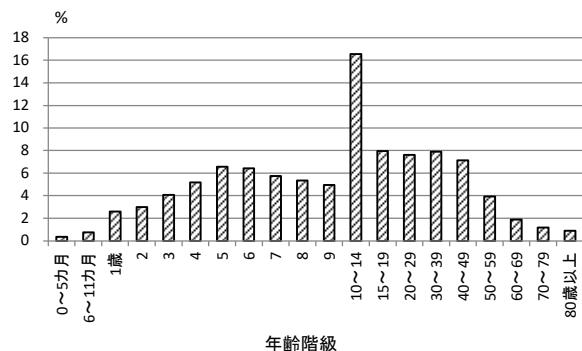
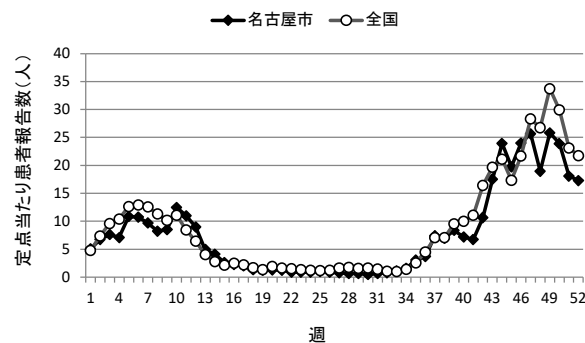
イ 五類感染症(定点把握)発生状況の推移等(令和5年)

疾病ごとの週別・月別定点当たり患者報告数の推移及び年齢階級別患者報告数の分布状況は下記のとおりです。

なお、インフルエンザ／COVID-19 定点、小児科定点及び眼科定点からの患者報告数については、年次推移もあわせて掲載しております。

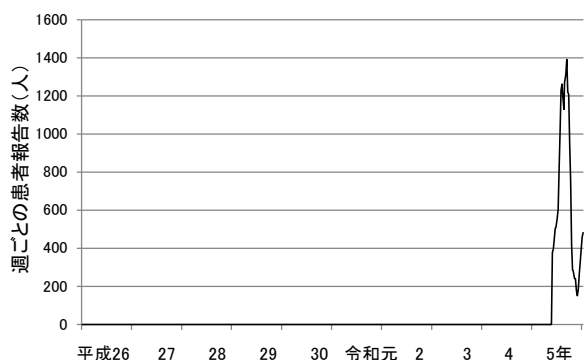
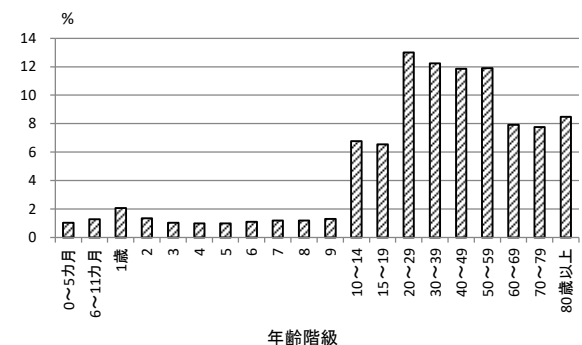
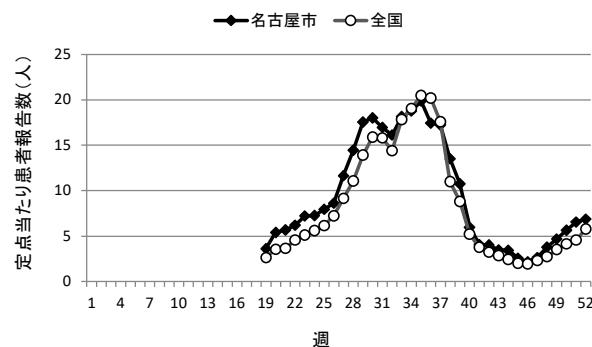
○ インフルエンザ／COVID-19 定点 (週報)

- ・ インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)



※ 年間の患者報告数は 28,601 人(定点・週当たり患者報告数平均 7.86 人)で、これまでの 10 年間で最も多かった。

・ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

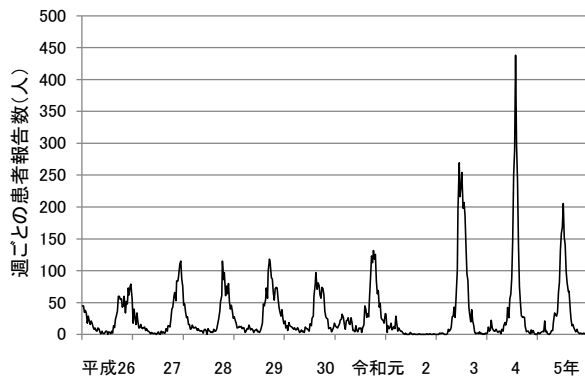
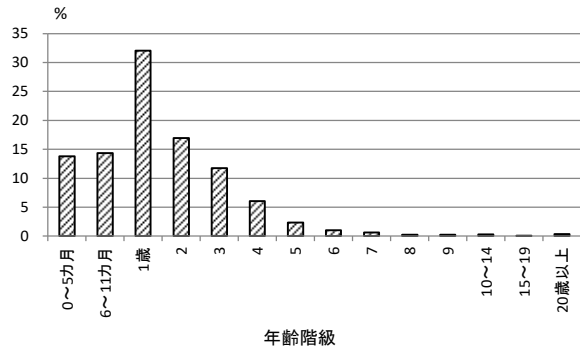
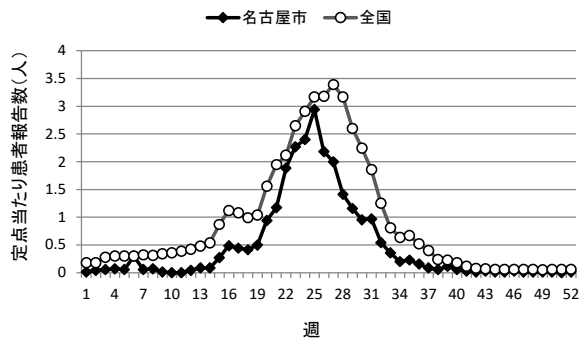


※ 年間の患者報告数は 22,280 人(定点・週当たり患者報告数平均 9.36 人)。

※ 令和5年5月8日(第19週)から定点把握。

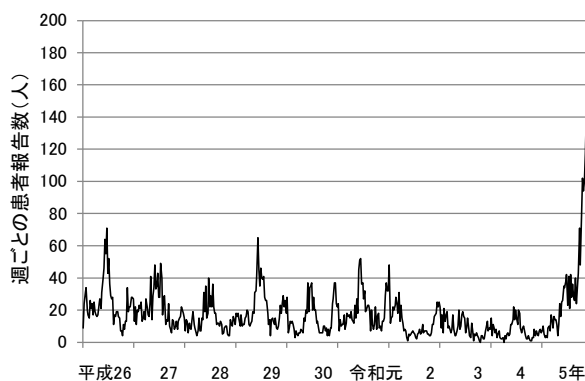
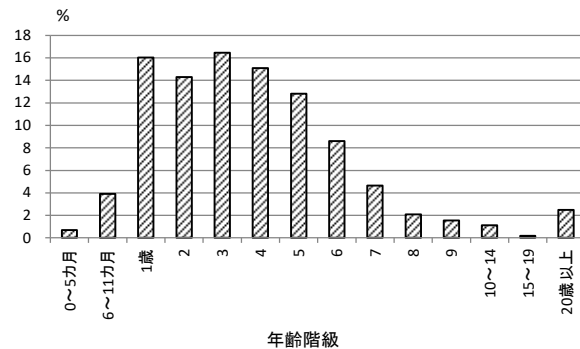
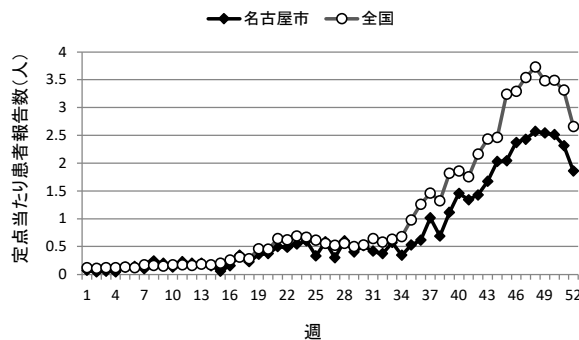
○小児科定点（週報）

・RSウイルス感染症



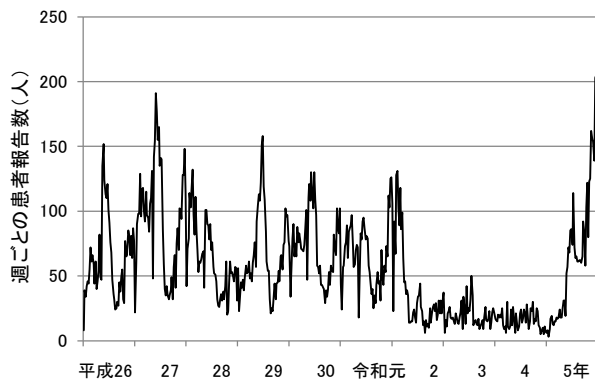
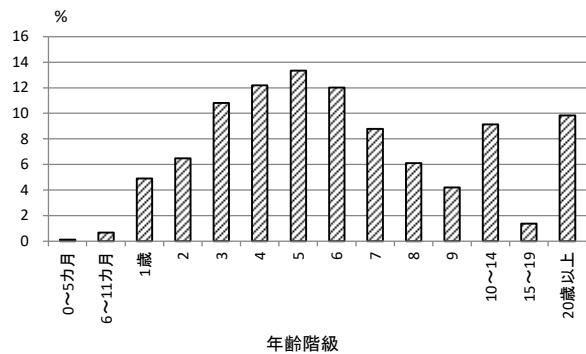
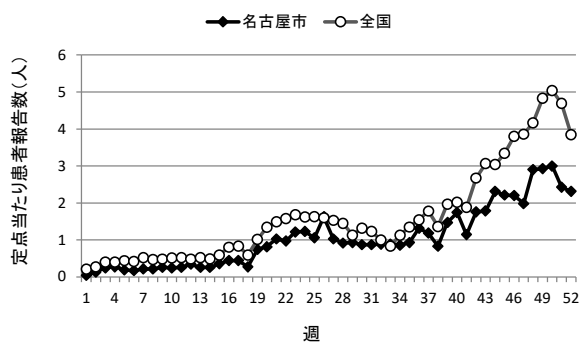
※ 年間の患者報告数は1,772人（定点・週当たり患者報告数平均0.49人）で、これまでの10年間で4番目に多かった。

・咽頭結膜熱



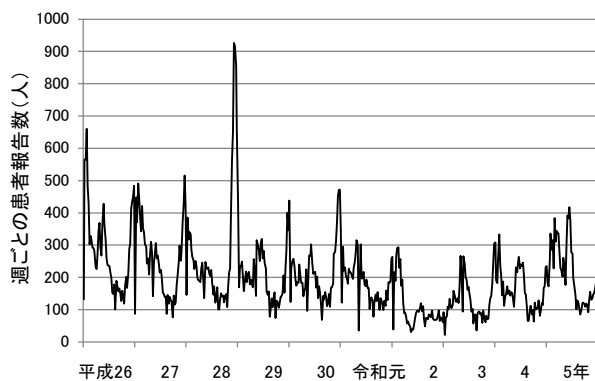
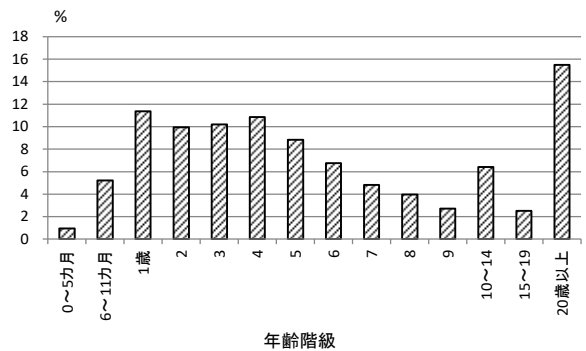
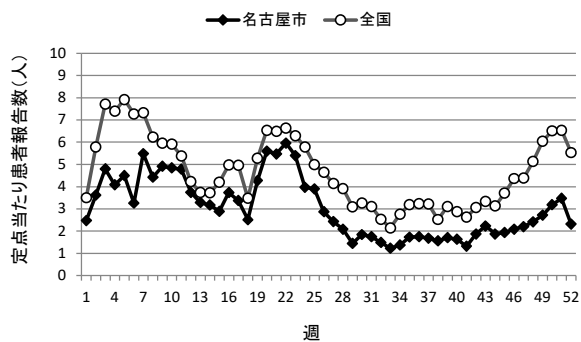
※ 年間の患者報告数は2,838人（定点・週当たり患者報告数平均0.78人）で、これまでの10年間で最も多かった。

・ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



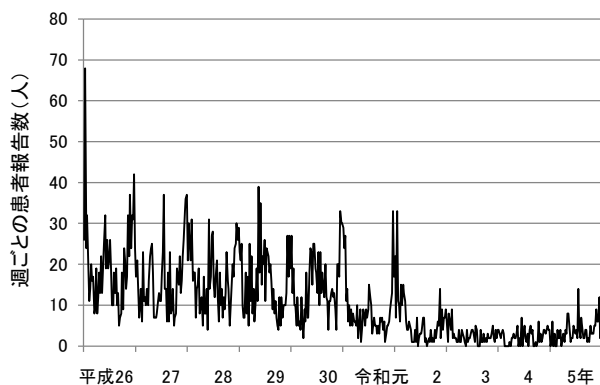
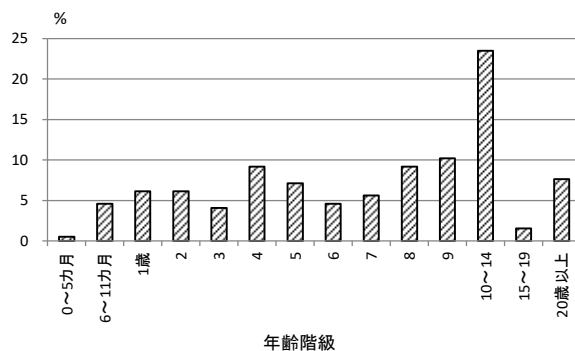
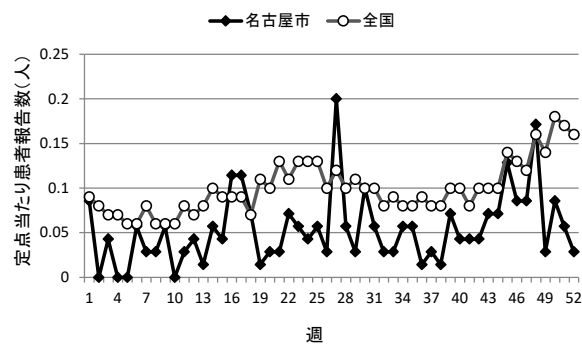
※ 年間の患者報告数は 3,848 人（定点・週当たり患者報告数平均 1.06 人）で、これまでの 10 年間で 2 番目に多かった。

・ 感染性胃腸炎



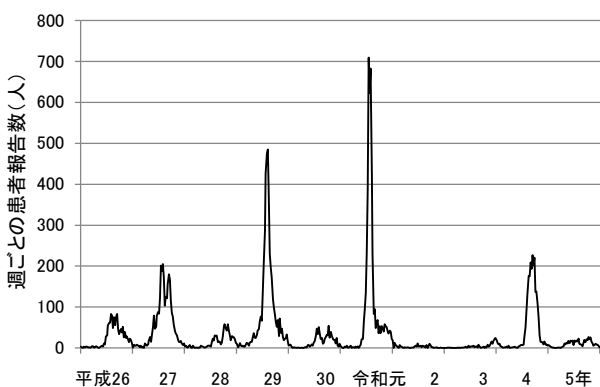
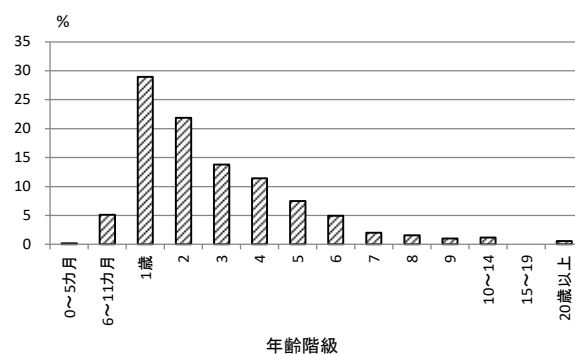
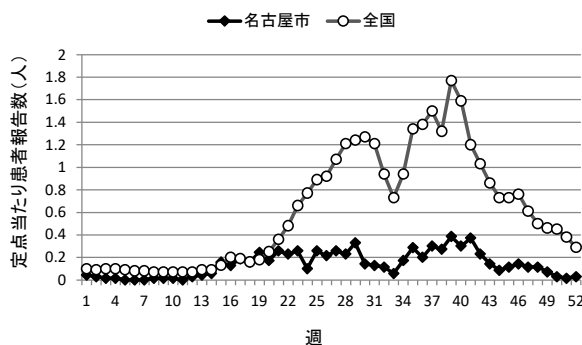
※ 年間の患者報告数は 11,102 人（定点・週当たり患者報告数平均 3.05 人）で、これまでの 10 年間で 4 番目に多かった。

・水痘



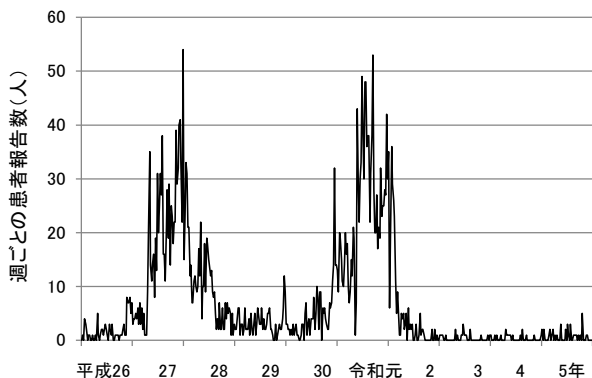
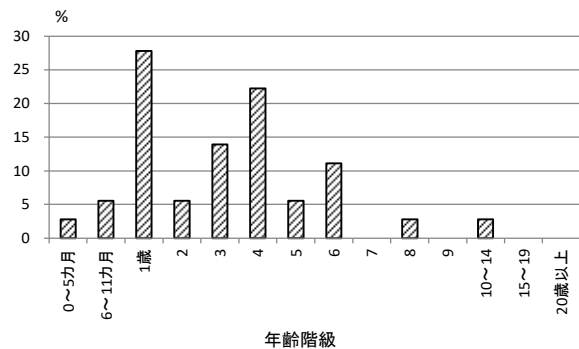
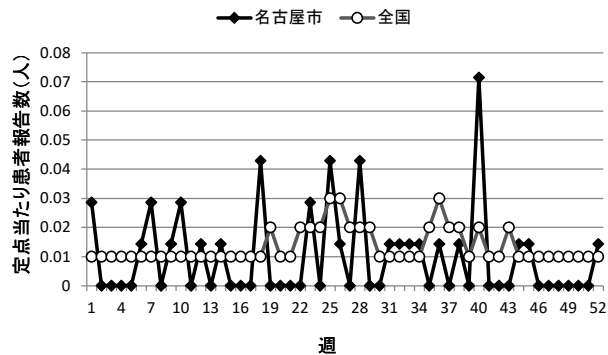
※ 年間の患者報告数は 196 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.05 人）で、これまでの 10 年間で 3 番目に少なかった。

・手足口病



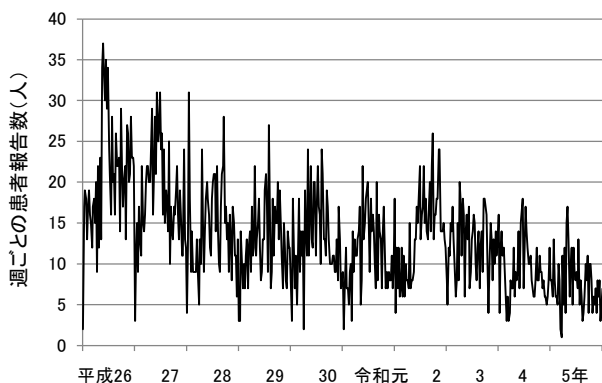
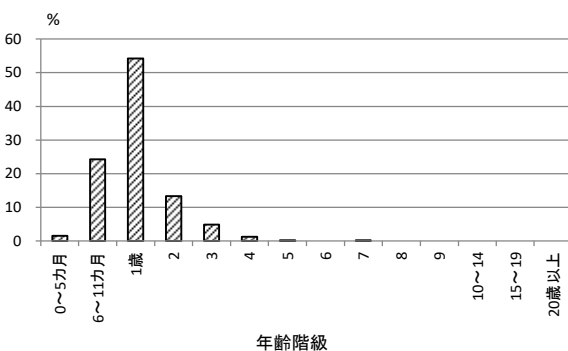
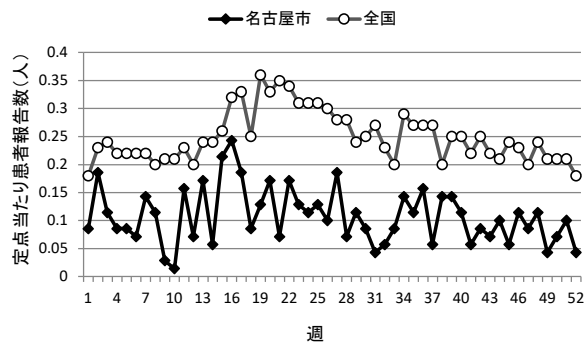
※ 年間の患者報告数は 508 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.14 人）で、これまでの 10 年間で 3 番目に少なかった。

・ 伝染性紅斑



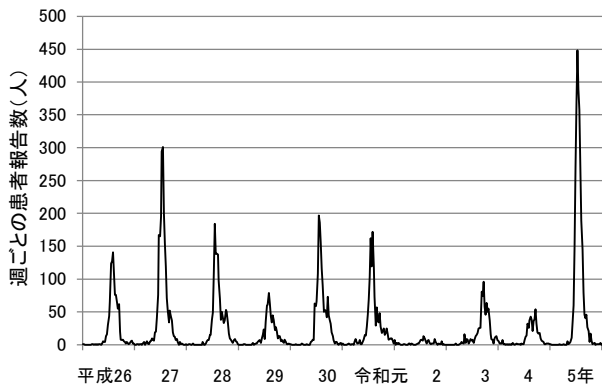
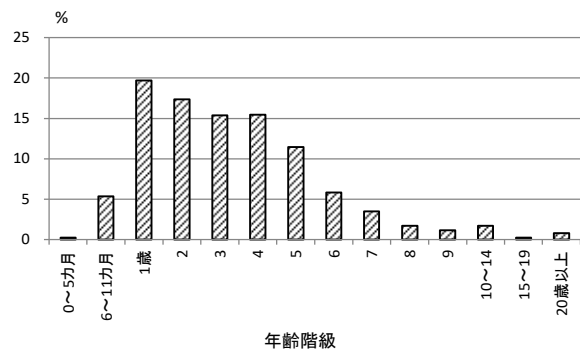
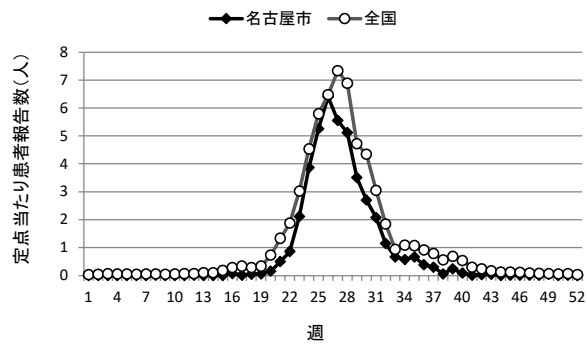
※ 年間の患者報告数は36人(定点・週当たり患者報告数平均0.01人)で、これまでの10年間で3番目に少なかった。

・ 突発性発しん



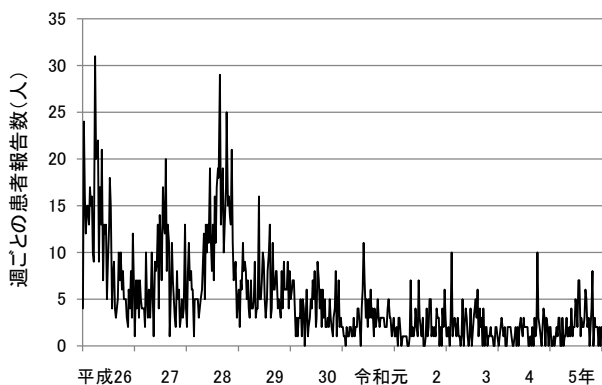
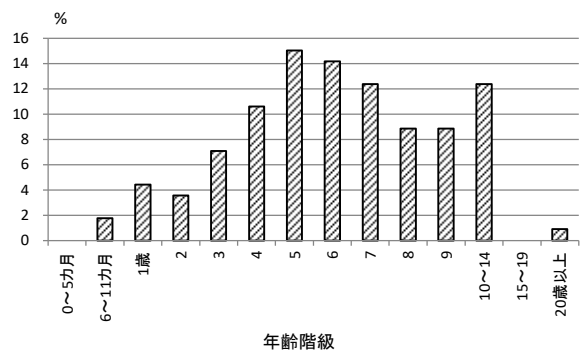
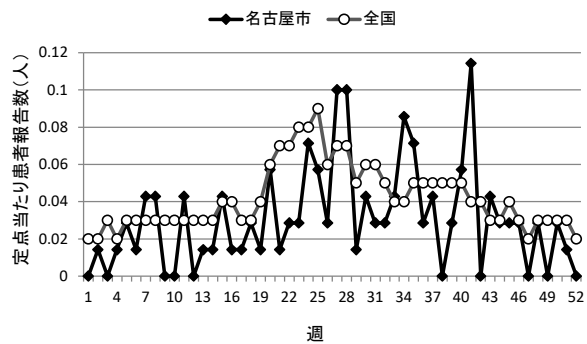
※ 年間の患者報告数は391人(定点・週当たり患者報告数平均0.11人)で、これまでの10年間で最も少なかった。

・ヘルパンギーナ



※ 年間の患者報告数は 2,982 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.82 人）で、これまでの 10 年間で最も多かった。

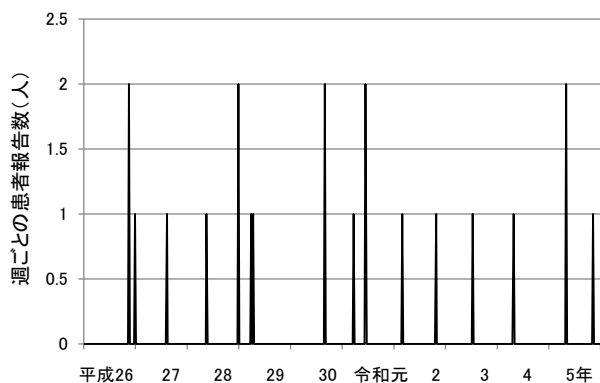
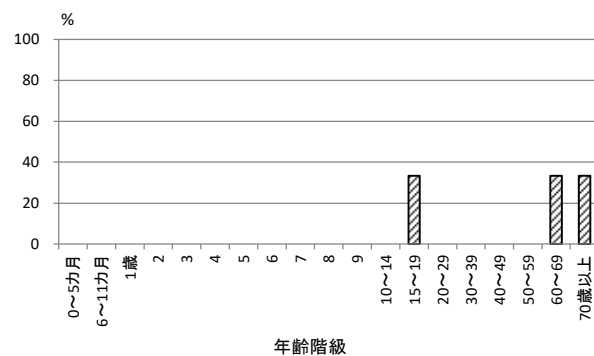
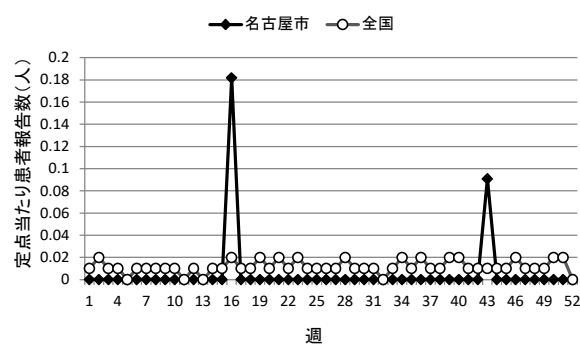
・流行性耳下腺炎



※ 年間の患者報告数は 113 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.03 人）で、これまでの 10 年間で 4 番目に少なかった。

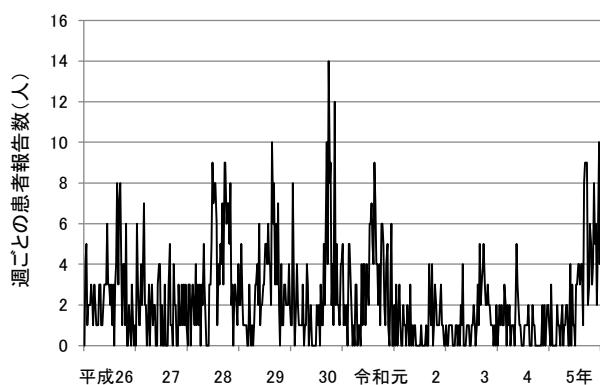
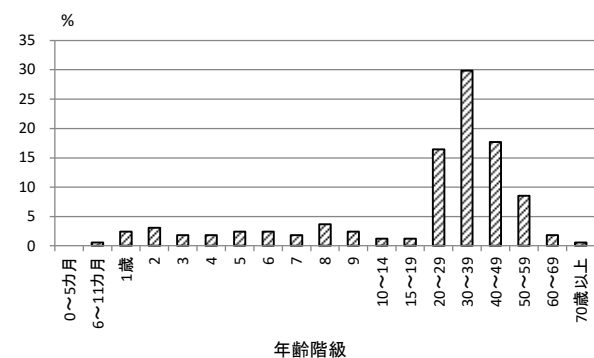
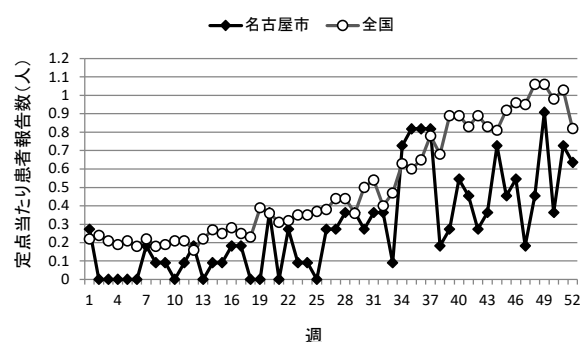
○ 眼科定点（週報）

・ 急性出血性結膜炎



※ 年間の患者報告数は3人（定点・週当たり患者報告数平均 0.005 人）であった。

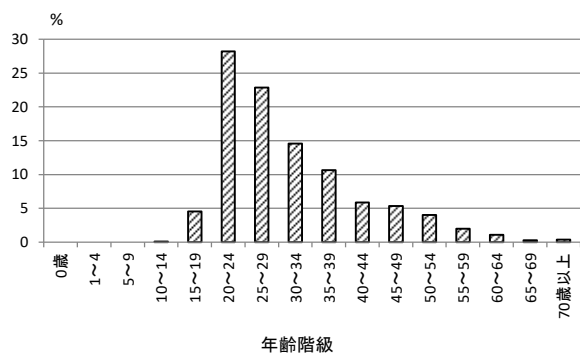
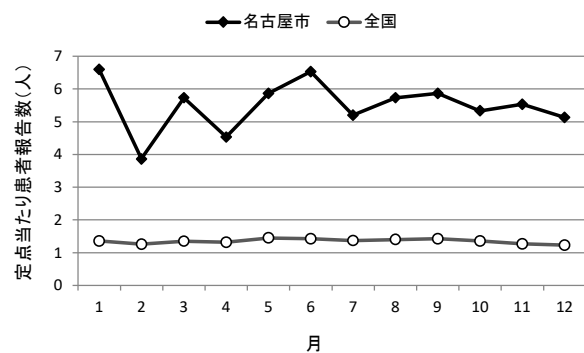
・ 流行性角結膜炎



※ 年間の患者報告数は164人（定点・週当たり患者報告数平均 0.29 人）で、これまでの10年間で2番目に多かった。

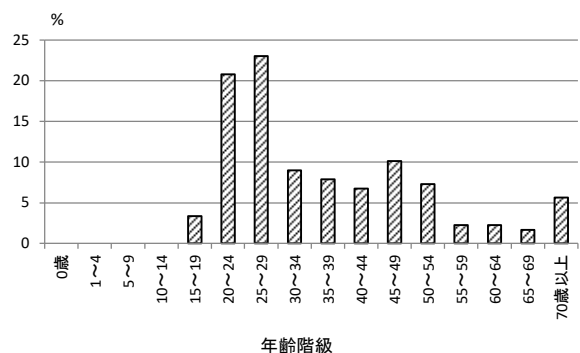
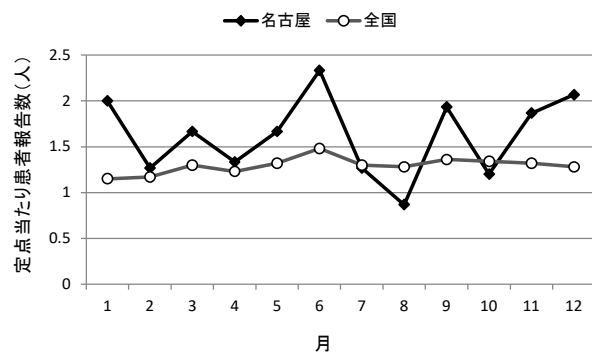
○ STD 定点（月報）

・性器クラミジア感染症
【男性】



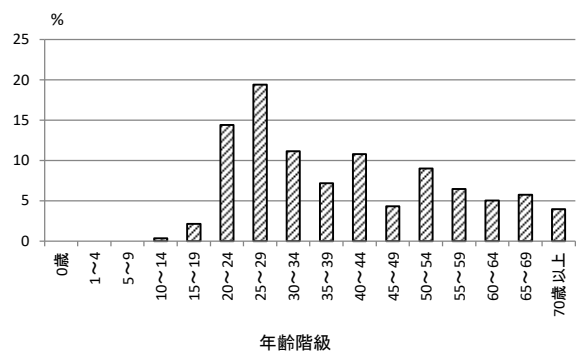
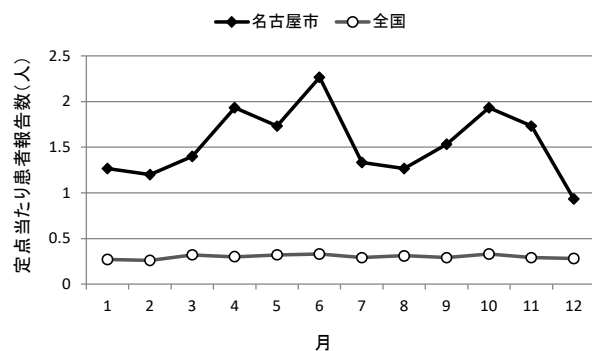
※ 年間の患者報告数は 989 人（定点・月当たり患者報告数平均 5.49 人）であった。

【女性】



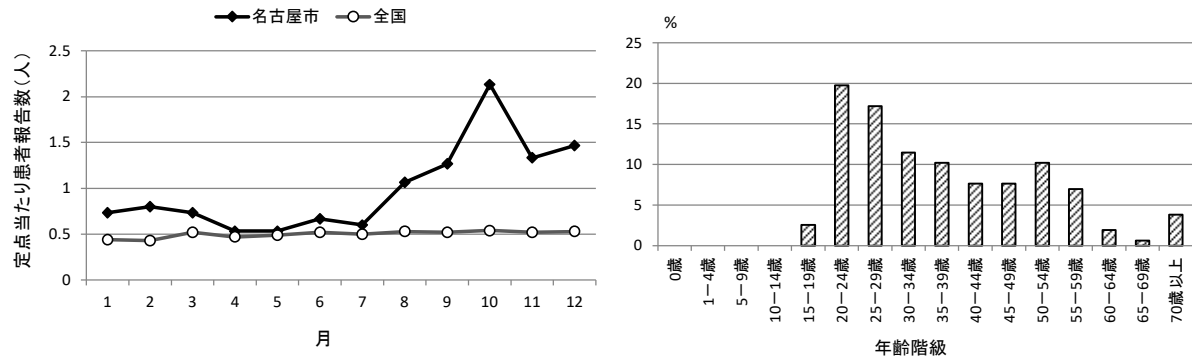
※ 年間の患者報告数は 292 人（定点・月当たり患者報告数平均 1.62 人）であった。

・性器ヘルペスウイルス感染症
【男性】



※ 年間の患者報告数は 278 人（定点・月当たり患者報告数平均 1.54 人）であった。

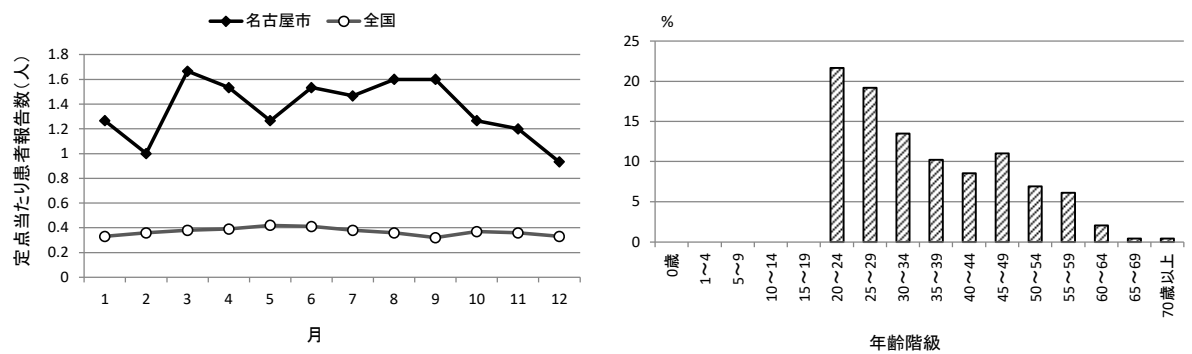
【女性】



※ 年間の患者報告数は 178 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.99 人）であった。

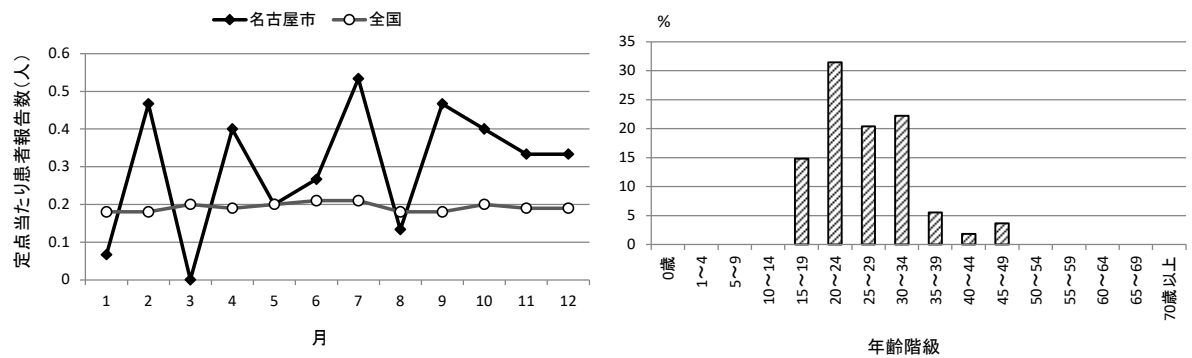
・尖圭コンジローマ

【男性】



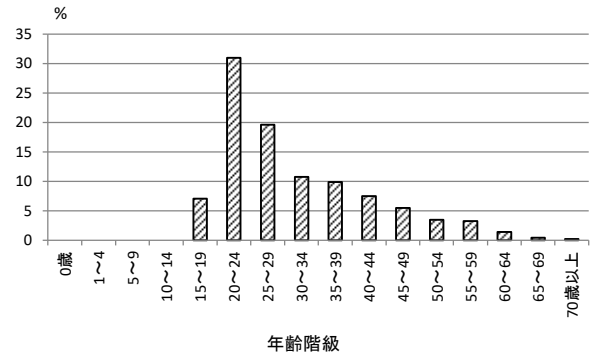
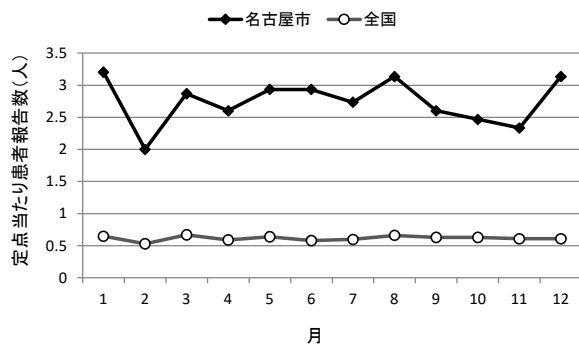
※ 年間の患者報告数は 245 人（定点・月当たり患者報告数平均 1.36 人）であった。

【女性】



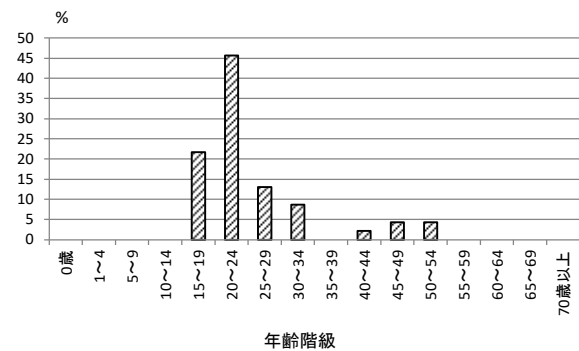
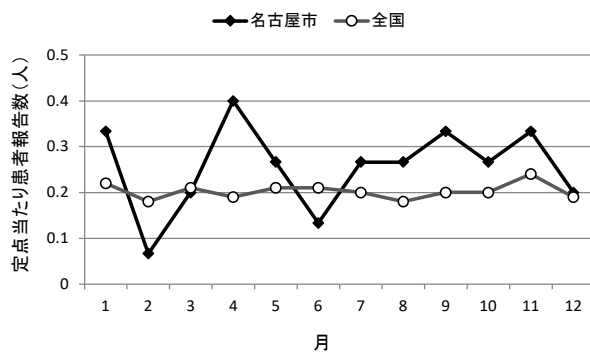
※ 年間の患者報告数は 54 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.30 人）であった。

・淋菌感染症
【男性】



※ 年間の患者報告数は 494 人（定点・月当たり患者報告数平均 2.74 人）であった。

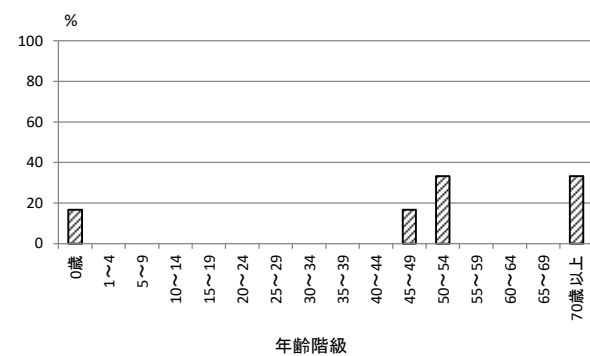
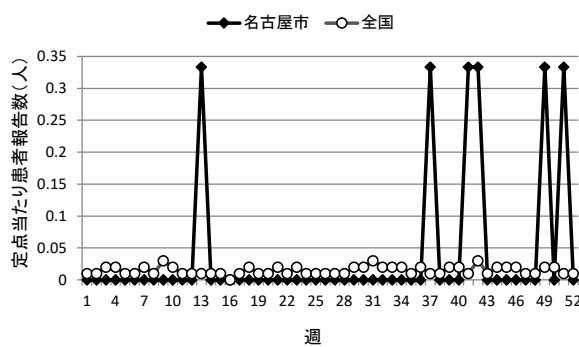
【女性】



※ 年間の患者報告数は 46 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.26 人）であった。

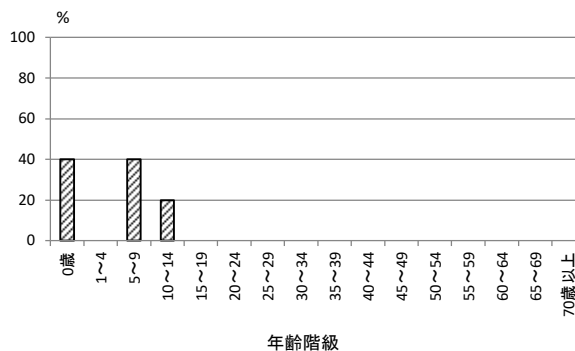
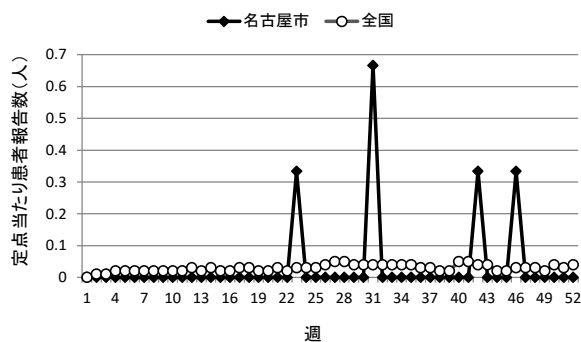
○ 基幹定点（週報）

・細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）



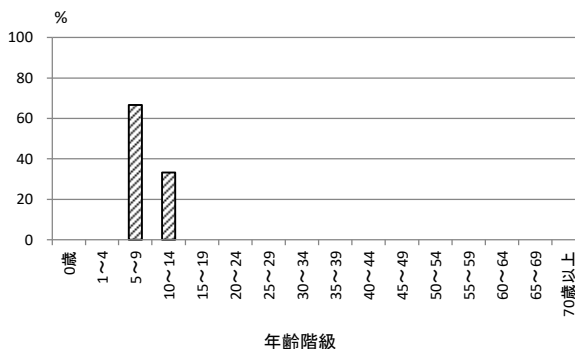
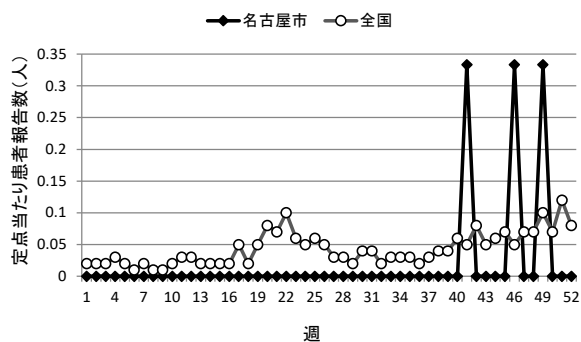
※ 年間の患者報告数は 6 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.038 人）であった。

・無菌性髄膜炎



※ 年間の患者報告数は5人（定点・週当たり患者報告数平均0.032人）であった。

・マイコプラズマ肺炎



※ 年間の患者報告数は3人（定点・週当たり患者報告数平均0.019人）であった。

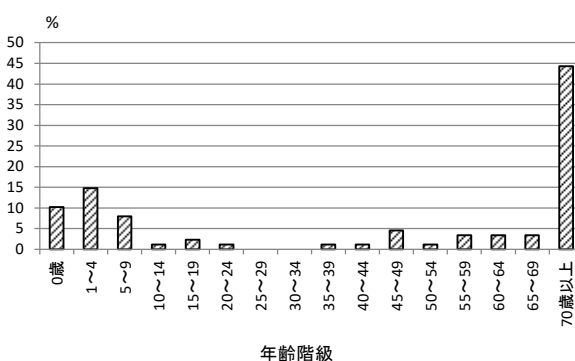
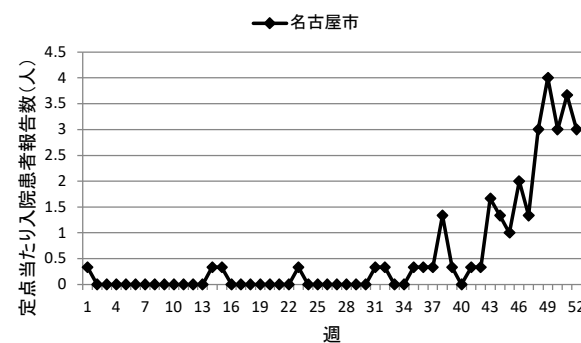
・クラミジア肺炎（オウム病を除く）

※ 報告はなかった。

・感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

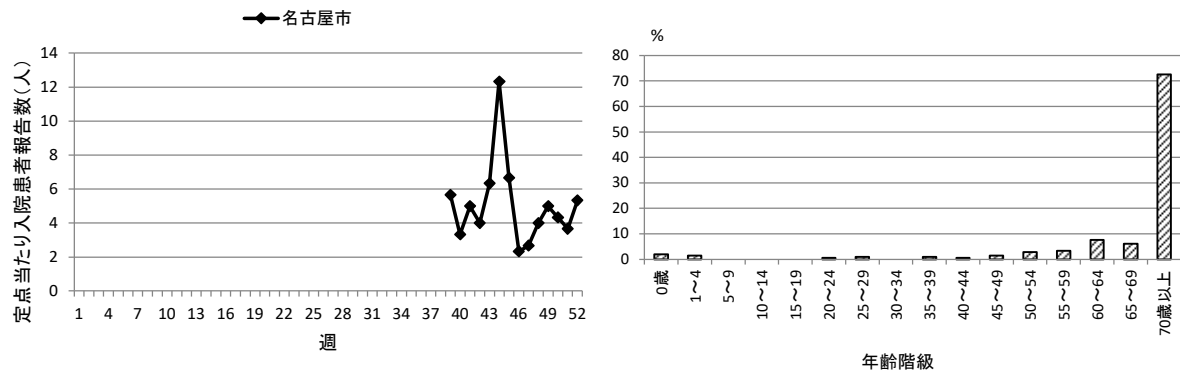
※ 報告はなかった。

・インフルエンザによる入院患者の報告



※ 年間の入院患者報告数は88人（定点・週当たり入院患者報告数平均0.56人）であった。

・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の報告

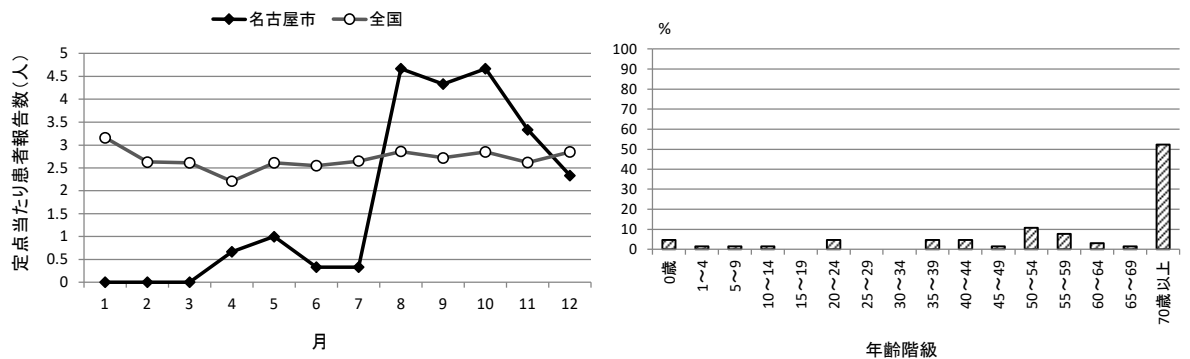


※ 年間の入院患者報告数は 212 人（定点・週当たり入院患者報告数平均 5.05 人）であった。

※ 令和 5 年 9 月 25 日（第 39 週）から入院基幹定点サーベイランス。

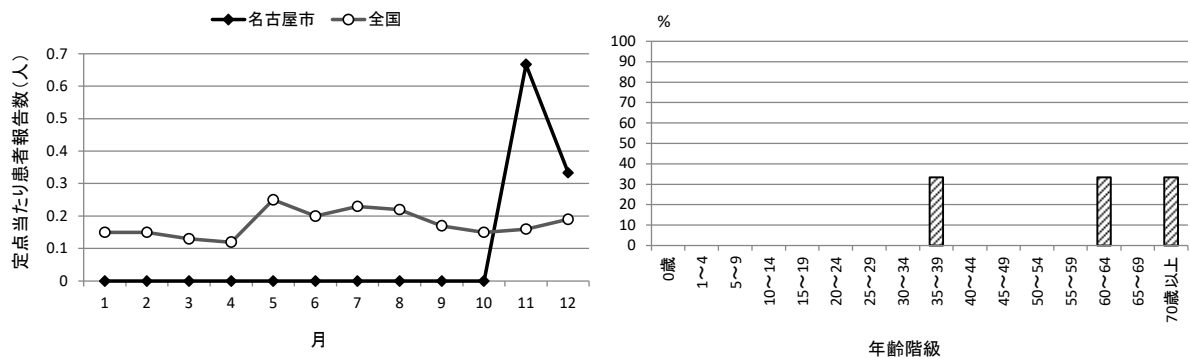
○ 基幹定点（月報）

・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



※ 年間の患者報告数は 65 人（定点・月当たり患者報告数平均 1.81 人）であった。

・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



※ 年間の患者報告数は 3 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.08 人）であった。

・薬剤耐性緑膿菌感染症

※ 報告はなかった。

表1 週報対象疾病週別患者発生状況(令和5年・名古屋市)

月	週	合計	インフル エンザ等 を除く。	新型コロナウイルス 感染症 (COVID- 19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ
1	1	556	354	・	1	5	3	173	6	3	2	6	—
	2	757	473	・	3	3	9	253	—	2	—	13	—
	3	906	533	・	4	4	17	336	3	1	—	8	—
	4	818	497	・	5	3	19	286	—	1	—	6	—
2	5	1,109	760	・	4	9	13	315	—	—	—	6	—
	6	1,035	753	・	21	10	12	228	4	—	1	5	—
	7	1,107	678	・	4	7	15	384	2	—	2	10	—
	8	940	577	・	5	17	15	310	2	1	—	8	1
3	9	982	596	・	1	14	18	344	4	1	1	2	—
	10	1,243	874	・	—	9	17	339	—	1	2	1	—
	11	1,155	769	・	—	16	18	335	2	—	—	11	—
	12	945	628	・	3	14	24	262	3	2	1	5	1
	13	632	346	・	6	14	18	230	1	3	—	12	—
4	14	560	288	・	6	11	18	222	4	4	1	4	—
	15	466	183	・	19	4	25	202	3	11	—	15	—
	16	542	161	・	34	11	31	261	8	9	—	17	5
	17	503	143	・	31	24	31	236	8	13	—	13	1
5	18	363	93	・	29	16	19	176	5	11	3	6	3
	19	785	89	253	35	25	52	299	1	17	—	9	4
	20	1,054	91	377	66	26	57	392	2	12	—	12	11
	21	1,117	87	397	82	35	72	383	2	18	—	5	35
6	22	1,246	64	433	132	34	68	417	5	16	—	12	60
	23	1,412	62	505	159	38	85	378	4	18	2	9	148
	24	1,440	63	509	168	42	86	278	3	7	—	8	270
	25	1,609	71	556	206	23	74	273	4	18	3	9	368
	26	1,651	60	604	153	41	114	201	2	15	1	7	448
7	27	1,719	56	816	140	21	72	170	14	18	—	13	389
	28	1,804	45	1,011	99	42	64	146	4	16	3	5	358
	29	1,833	46	1,229	81	28	65	101	2	23	—	8	245
	30	1,806	34	1,261	67	36	61	129	7	10	—	6	189
8	31	1,684	46	1,188	68	29	61	122	4	9	1	3	145
	32	1,515	56	1,128	38	26	62	104	2	8	1	4	80
	33	1,625	79	1,270	25	40	62	86	2	4	1	6	46
	34	1,699	110	1,314	14	24	60	96	4	12	1	10	40
	35	1,937	216	1,390	16	37	65	121	4	20	—	8	46
9	36	1,813	259	1,221	11	43	92	122	1	14	1	11	27
	37	2,065	520	1,206	6	71	83	118	2	21	—	4	21
	38	1,690	487	947	4	48	58	109	1	19	1	10	4
	39	1,711	586	753	8	78	103	119	5	27	—	10	17
10	40	1,316	503	418	4	102	122	114	3	21	5	8	6
	41	1,075	473	285	2	94	80	92	3	26	—	4	1
	42	1,416	747	282	1	100	123	131	3	16	—	6	2
	43	1,900	1,227	242	2	117	125	156	5	10	—	5	3
11	44	2,381	1,675	241	1	142	162	131	5	6	1	7	—
	45	2,025	1,382	179	1	143	155	135	9	8	1	4	1
	46	2,334	1,679	152	2	166	154	146	6	10	—	8	1
	47	2,468	1,796	185	1	170	139	154	6	8	—	6	1
	48	2,183	1,328	266	1	180	203	169	12	8	—	8	1
12	49	2,734	1,807	328	1	178	205	190	2	5	—	3	3
	50	2,698	1,674	395	1	176	210	223	6	2	—	5	—
	51	2,323	1,267	458	—	162	170	243	4	1	—	7	1
	52	2,161	1,210	481	1	130	162	162	2	2	1	3	—
計		74,848	28,601	22,280	1,772	2,838	3,848	11,102	196	508	36	391	2,982

月	週	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限り。）
1	1	—	—	3	—	—	—	—	—
	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	—	—	—	—	—	—	—
2	5	2	—	—	—	—	—	—	—
	6	1	—	—	—	—	—	—	—
	7	3	—	2	—	—	—	—	—
	8	3	—	1	—	—	—	—	—
3	9	—	—	1	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	3	—	1	—	—	—	—	—
	12	—	—	2	—	—	—	—	—
	13	1	—	—	1	—	—	—	—
4	14	1	—	1	—	—	—	—	—
	15	3	—	1	—	—	—	—	—
	16	1	2	2	—	—	—	—	—
	17	1	—	2	—	—	—	—	—
5	18	2	—	—	—	—	—	—	—
	19	1	—	—	—	—	—	—	—
	20	4	—	4	—	—	—	—	—
	21	1	—	—	—	—	—	—	—
6	22	2	—	3	—	—	—	—	—
	23	2	—	1	—	1	—	—	—
	24	5	—	1	—	—	—	—	—
	25	4	—	—	—	—	—	—	—
	26	2	—	3	—	—	—	—	—
7	27	7	—	3	—	—	—	—	—
	28	7	—	4	—	—	—	—	—
	29	1	—	4	—	—	—	—	—
	30	3	—	3	—	—	—	—	—
8	31	2	—	4	—	2	—	—	—
	32	2	—	4	—	—	—	—	—
	33	3	—	1	—	—	—	—	—
	34	6	—	8	—	—	—	—	—
	35	5	—	9	—	—	—	—	—
9	36	2	—	9	—	—	—	—	—
	37	3	—	9	1	—	—	—	—
	38	—	—	2	—	—	—	—	—
	39	2	—	3	—	—	—	—	—
10	40	4	—	6	—	—	—	—	—
	41	8	—	5	1	—	1	—	—
	42	—	—	3	1	1	—	—	—
	43	3	1	4	—	—	—	—	—
11	44	2	—	8	—	—	—	—	—
	45	2	—	5	—	—	—	—	—
	46	2	—	6	—	1	1	—	—
	47	—	—	2	—	—	—	—	—
	48	2	—	5	—	—	—	—	—
12	49	—	—	10	1	—	1	—	—
	50	2	—	4	—	—	—	—	—
	51	1	—	8	1	—	—	—	—
	52	—	—	7	—	—	—	—	—
計		113	3	164	6	5	3	—	—

表2-1 週報対象疾病(インフルエンザ／COVID-19・小児科定点)年齢階級別患者発生状況(令和5年・名古屋市)

年齢階級	疾病名	
	インフルエンザ等感染症を除外	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
ー5カ月	101	227
ー11カ月	217	286
1歳	739	461
2	858	298
3	1,165	230
4	1,485	220
5	1,878	222
6	1,837	245
7	1,639	265
8	1,529	267
9	1,419	291
10-14	4,735	1,508
15-19	2,275	1,460
20-29	2,175	2,895
30-39	2,260	2,726
40-49	2,041	2,644
50-59	1,119	2,651
60-69	539	1,764
70-79	337	1,731
80歳以上	253	1,889
計	28,601	22,280

年齢階級	疾病名									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
ー5カ月	245	20	5	105	1	1	1	6	8	ー
ー11カ月	254	111	26	577	9	26	2	95	160	2
1歳	568	455	188	1,261	12	147	10	212	587	5
2	300	406	249	1,103	12	111	2	52	517	4
3	208	467	416	1,133	8	70	5	19	459	8
4	107	428	469	1,205	18	58	8	5	461	12
5	41	364	514	981	14	38	2	1	342	17
6	18	244	462	750	9	25	4	ー	174	16
7	11	132	338	535	11	10	ー	1	104	14
8	4	59	235	440	18	8	1	ー	52	10
9	4	44	162	301	20	5	ー	ー	35	10
10-14	5	32	352	710	46	6	1	ー	52	14
15-19	1	5	53	280	3	ー	ー	ー	7	ー
20歳以上	6	71	379	1,721	15	3	ー	ー	24	1
合計	1,772	2,838	3,848	11,102	196	508	36	391	2,982	113

表2-2 週報対象疾病(眼科・基幹定点)年齢階級別患者発生状況(令和5年・名古屋市)

年齢階級	疾病名	
	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
ー5カ月	ー	ー
ー11カ月	ー	1
1歳	ー	4
2	ー	5
3	ー	3
4	ー	3
5	ー	4
6	ー	4
7	ー	3
8	ー	6
9	ー	4
10-14	ー	2
15-19	1	2
20-29	ー	27
30-39	ー	49
40-49	ー	29
50-59	ー	14
60-69	1	3
70歳以上	1	1
合計	3	164

年齢階級	疾病名				
	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア(オウム病)を除外	感染症性胃腸炎(原虫、ウイルス、細菌、寄生虫)
0歳	1	2	ー	ー	ー
1-4	ー	ー	ー	ー	ー
5-9	ー	2	2	ー	ー
10-14	ー	1	1	ー	ー
15-19	ー	ー	ー	ー	ー
20-24	ー	ー	ー	ー	ー
25-29	ー	ー	ー	ー	ー
30-34	ー	ー	ー	ー	ー
35-39	ー	ー	ー	ー	ー
40-44	ー	ー	ー	ー	ー
45-49	1	ー	ー	ー	ー
50-54	2	ー	ー	ー	ー
55-59	ー	ー	ー	ー	ー
60-64	ー	ー	ー	ー	ー
65-69	ー	ー	ー	ー	ー
70歳以上	2	ー	ー	ー	ー
合計	6	5	3	ー	ー

表3 月報対象疾病月別患者発生状況(令和5年・名古屋市)

○性感染症定点

月	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペスウイルス 感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
1	129	30	20	53	232
2	77	30	22	31	160
3	111	32	25	46	214
4	88	37	29	45	199
5	113	34	22	48	217
6	133	44	27	46	250
7	97	29	30	45	201
8	99	35	26	51	211
9	117	42	31	44	234
10	98	61	25	41	225
11	111	46	23	40	220
12	108	36	19	50	213
合計	1,281	456	299	540	2,576

○基幹定点

月	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌 感染症	合計
1	—	—	—	—
2	—	—	—	—
3	—	—	—	—
4	2	—	—	2
5	3	—	—	3
6	1	—	—	1
7	1	—	—	1
8	14	—	—	14
9	13	—	—	13
10	14	—	—	14
11	10	2	—	12
12	7	1	—	8
合計	65	3	—	68

表4-1 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階級別患者発生状況(令和5年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	4	39	42	11	9	8	11	4	1	—	—	—	129
	2	—	—	—	—	3	24	16	10	16	3	3	1	1	—	—	—	77
	3	—	—	—	—	7	31	21	21	8	5	6	9	1	2	—	—	111
	4	—	—	—	—	6	33	21	10	6	4	1	5	1	1	—	—	88
	5	—	—	—	—	8	35	30	12	13	1	6	3	4	—	—	1	113
	6	—	—	—	1	14	40	30	23	10	4	3	3	3	1	—	1	133
	7	—	—	—	—	11	33	14	12	11	7	2	2	2	2	1	—	97
	8	—	—	—	—	6	23	21	16	8	13	5	3	—	3	1	—	99
	9	—	—	—	1	14	40	25	13	10	4	3	3	2	—	—	2	117
	10	—	—	—	—	7	31	22	8	6	9	7	4	3	1	—	—	98
	11	—	—	—	—	11	30	31	10	8	4	9	4	2	1	1	—	111
	12	—	—	—	—	5	32	35	18	8	4	4	1	—	1	—	—	108
	合計	—	—	—	2	96	391	308	164	113	66	60	42	20	12	3	4	1281

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	5	5	4	2	5	2	2	1	1	1	2	30
	2	—	—	—	—	2	7	6	—	3	4	1	1	1	1	2	2	30
	3	—	—	—	—	—	4	7	8	2	3	2	1	3	—	1	1	32
	4	—	—	—	—	1	6	8	5	3	4	1	2	1	1	3	2	37
	5	—	—	—	—	1	5	8	4	2	2	1	3	4	1	2	1	34
	6	—	—	—	—	—	6	8	5	4	3	3	3	3	2	3	4	44
	7	—	—	—	—	1	8	6	—	4	1	2	2	2	—	1	2	29
	8	—	—	—	—	2	6	8	5	2	3	2	1	1	3	1	1	35
	9	—	—	—	—	2	4	11	2	2	6	4	5	2	2	1	1	42
	10	—	—	—	—	1	14	18	6	1	5	3	5	2	3	2	1	61
	11	—	—	—	1	1	8	4	7	3	4	6	7	1	1	1	2	46
	12	—	—	—	—	1	4	6	1	6	2	3	6	1	3	1	2	36
	合計	—	—	—	1	12	77	95	47	34	42	30	38	22	18	19	21	456

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	—	3	6	2	2	2	1	1	3	—	—	—	20
	2	—	—	—	—	—	8	4	2	4	3	—	1	—	—	—	—	22
	3	—	—	—	—	—	6	6	4	—	2	3	3	1	—	—	—	25
	4	—	—	—	—	—	10	6	6	—	2	2	2	1	—	—	—	29
	5	—	—	—	—	—	7	4	3	1	3	2	1	1	—	—	—	22
	6	—	—	—	—	—	2	6	10	4	3	—	1	1	—	—	—	27
	7	—	—	—	—	1	8	5	2	3	—	7	—	3	—	—	1	30
	8	—	—	—	—	2	5	4	2	5	—	4	1	2	1	—	—	26
	9	—	—	—	—	—	6	6	6	2	3	5	—	2	1	—	—	31
	10	—	—	—	—	2	7	3	3	3	1	1	3	1	1	—	—	25
	11	—	—	—	—	2	6	4	1	1	1	3	3	—	1	1	—	23
	12	—	—	—	—	1	2	4	4	3	2	1	1	—	1	—	—	19
	合計	—	—	—	—	8	70	58	45	28	22	29	17	15	5	1	1	299

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	2	12	11	10	4	4	6	3	—	1	—	—	53
	2	—	—	—	—	3	12	5	5	2	1	2	—	—	1	—	—	31
	3	—	—	—	—	2	19	3	3	5	6	3	2	1	1	1	—	46
	4	—	—	—	—	4	18	7	2	3	4	2	1	4	—	—	—	45
	5	—	—	—	—	5	17	10	3	1	4	2	4	1	—	1	—	48
	6	—	—	—	—	4	15	6	5	6	3	4	2	1	—	—	—	46
	7	—	—	—	—	6	12	10	5	6	1	2	—	3	—	—	—	45
	8	—	—	—	—	4	18	13	3	4	4	3	1	—	1	—	—	51
	9	—	—	—	—	3	14	7	6	6	1	2	4	1	—	—	—	44
	10	—	—	—	—	4	13	12	6	1	1	1	1	1	1	—	—	41
	11	—	—	—	—	5	9	10	4	3	3	2	—	3	1	—	—	40
	12	—	—	—	—	3	15	9	5	8	6	—	1	1	1	—	1	50
	合計	—	—	—	—	45	174	103	57	49	38	29	19	16	7	2	1	540

表4-2 月報対象疾病(基幹定点)月別・年齢階級別患者発生状況(令和5年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	3
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	8	3	—	1	1	—	1	—	—	1	1	—	1	—	—	—	5	14
	9	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	—	2	—	—	8	13
	10	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	2	2	1	—	7	14
	11	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	5	10
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	4	7
	合計	3	1	1	1	—	3	—	—	3	3	1	7	5	2	1	34	65

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	1	3

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表5-1 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階級別患者発生状況(男性)(令和5年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	1	23	33	10	9	8	11	3	1	—	—	—	99
	2	—	—	—	—	1	17	13	7	14	2	2	1	1	—	—	—	58
	3	—	—	—	—	4	27	14	17	6	4	3	9	1	1	—	—	86
	4	—	—	—	—	3	25	16	9	5	2	1	5	1	1	—	—	68
	5	—	—	—	—	3	25	22	11	12	1	6	3	4	—	—	1	88
	6	—	—	—	1	7	29	20	19	9	3	2	3	3	1	—	1	98
	7	—	—	—	—	9	21	10	11	11	7	2	2	2	2	1	—	78
	8	—	—	—	—	4	17	18	15	7	13	5	3	—	3	1	—	86
	9	—	—	—	—	3	29	22	11	10	3	3	3	2	—	—	2	88
	10	—	—	—	—	4	24	16	8	6	7	7	4	3	1	—	—	80
	11	—	—	—	—	3	21	21	10	8	4	8	4	2	1	1	—	83
	12	—	—	—	—	3	21	21	16	8	4	3	—	—	1	—	—	77
	合計	—	—	—	1	45	279	226	144	105	58	53	40	20	11	3	4	989

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	1	1	4	1	5	1	2	1	1	1	1	19
	2	—	—	—	—	—	4	3	—	2	3	1	1	1	1	1	1	18
	3	—	—	—	—	—	3	4	5	1	3	—	1	3	—	1	—	21
	4	—	—	—	—	1	3	6	3	3	3	1	2	1	1	3	2	29
	5	—	—	—	—	1	2	5	4	2	2	1	3	3	1	2	—	26
	6	—	—	—	—	—	4	7	4	2	3	1	2	3	2	2	4	34
	7	—	—	—	—	1	6	4	—	2	1	—	2	2	—	1	1	20
	8	—	—	—	—	1	4	3	2	1	2	1	1	1	1	1	1	19
	9	—	—	—	—	1	1	7	2	1	3	2	2	2	1	1	—	23
	10	—	—	—	—	—	6	11	5	—	1	1	1	—	3	1	—	29
	11	—	—	—	1	1	3	2	2	2	3	2	6	1	1	1	1	26
	12	—	—	—	—	—	3	1	—	3	1	1	2	—	2	1	—	14
	合計	—	—	—	1	6	40	54	31	20	30	12	25	18	14	16	11	278

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	—	3	5	2	2	2	1	1	3	—	—	—	19
	2	—	—	—	—	—	5	2	1	4	2	—	1	—	—	—	—	15
	3	—	—	—	—	—	6	6	4	—	2	3	3	1	—	—	—	25
	4	—	—	—	—	—	7	6	3	—	2	2	2	1	—	—	—	23
	5	—	—	—	—	—	6	3	2	1	3	2	1	1	—	—	—	19
	6	—	—	—	—	—	1	5	8	4	3	—	1	1	—	—	—	23
	7	—	—	—	—	—	5	4	1	2	—	6	—	3	—	—	1	22
	8	—	—	—	—	—	5	4	2	5	—	4	1	2	1	—	—	24
	9	—	—	—	—	—	4	5	4	1	3	4	—	2	1	—	—	24
	10	—	—	—	—	—	7	1	2	2	1	1	3	1	1	—	—	19
	11	—	—	—	—	—	4	3	1	1	1	3	3	—	1	1	—	18
	12	—	—	—	—	—	—	3	3	3	2	1	1	—	1	—	—	14
	合計	—	—	—	—	—	53	47	33	25	21	27	17	15	5	1	1	245

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	1	10	9	10	4	4	6	3	—	1	—	—	48
	2	—	—	—	—	3	11	5	5	2	1	2	—	—	1	—	—	30
	3	—	—	—	—	2	18	3	3	5	5	2	2	1	1	1	—	43
	4	—	—	—	—	3	14	6	2	3	4	2	1	4	—	—	—	39
	5	—	—	—	—	5	14	10	2	1	4	2	4	1	—	1	—	44
	6	—	—	—	—	4	14	6	5	6	3	4	1	1	—	—	—	44
	7	—	—	—	—	5	10	10	5	6	1	1	—	3	—	—	—	41
	8	—	—	—	—	2	17	12	3	4	4	3	1	—	1	—	—	47
	9	—	—	—	—	1	12	7	6	6	1	2	3	1	—	—	—	39
	10	—	—	—	—	3	11	12	5	1	1	1	1	1	1	—	—	37
	11	—	—	—	—	3	8	9	3	3	3	2	—	3	1	—	—	35
	12	—	—	—	—	3	14	8	4	8	6	—	1	1	1	—	1	47
	合計	—	—	—	—	35	153	97	53	49	37	27	17	16	7	2	1	494

表5-2 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階級別患者発生状況(女性)(令和5年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	3	16	9	1	—	—	—	1	—	—	—	—	30
	2	—	—	—	—	2	7	3	3	2	1	1	—	—	—	—	—	19
	3	—	—	—	—	3	4	7	4	2	1	3	—	—	1	—	—	25
	4	—	—	—	—	3	8	5	1	1	2	—	—	—	—	—	—	20
	5	—	—	—	—	5	10	8	1	1	—	—	—	—	—	—	—	25
	6	—	—	—	—	7	11	10	4	1	1	1	—	—	—	—	—	35
	7	—	—	—	—	2	12	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	19
	8	—	—	—	—	2	6	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	13
	9	—	—	—	1	11	11	3	2	—	1	—	—	—	—	—	—	29
	10	—	—	—	—	3	7	6	—	—	2	—	—	—	—	—	—	18
	11	—	—	—	—	8	9	10	—	—	—	1	—	—	—	—	—	28
	12	—	—	—	—	2	11	14	2	—	—	1	1	—	—	—	—	31
	合計	—	—	—	1	51	112	82	20	8	8	7	2	—	1	—	—	292

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	4	4	—	1	—	1	—	—	—	—	1	11
	2	—	—	—	—	2	3	3	—	1	1	—	—	—	—	1	1	12
	3	—	—	—	—	—	1	3	3	1	—	2	—	—	—	—	1	11
	4	—	—	—	—	—	3	2	2	—	1	—	—	—	—	—	—	8
	5	—	—	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—	1	—	—	1	8
	6	—	—	—	—	—	2	1	1	2	—	2	1	—	—	1	—	10
	7	—	—	—	—	—	2	2	—	2	—	2	—	—	—	—	1	9
	8	—	—	—	—	1	2	5	3	1	1	1	—	—	2	—	—	16
	9	—	—	—	—	1	3	4	—	1	3	2	3	—	1	—	1	19
	10	—	—	—	—	1	8	7	1	1	4	2	4	2	—	1	1	32
	11	—	—	—	—	—	5	2	5	1	1	4	1	—	—	—	1	20
	12	—	—	—	—	1	1	5	1	3	1	2	4	1	1	—	2	22
	合計	—	—	—	—	6	37	41	16	14	12	18	13	4	4	3	10	178

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	2	—	—	—	—	—	3	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	7
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	5	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	6	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	7	—	—	—	—	1	3	1	1	1	—	1	—	—	—	—	—	8
	8	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	9	—	—	—	—	—	2	1	2	1	—	1	—	—	—	—	—	7
	10	—	—	—	—	2	—	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	6
	11	—	—	—	—	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	12	—	—	—	—	1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	合計	—	—	—	—	8	17	11	12	3	1	2	—	—	—	—	—	54

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	1	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	3
	4	—	—	—	—	1	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	5	—	—	—	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	6	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2
	7	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4
	8	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	9	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	5
	10	—	—	—	—	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	11	—	—	—	—	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	12	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	合計	—	—	—	—	10	21	6	4	—	1	2	2	—	—	—	—	46

表5-3 月報対象疾病(基幹定点)月別・年齢階級別患者発生状況 (令和5年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症(男性)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	2
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	8	1	—	1	1	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	2	8
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	2	—	—	5	9
	10	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	2	1	1	—	6	12
	11	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	2	7
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4	5
	合計	1	1	1	1	—	2	—	—	3	2	1	5	4	2	—	23	46

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症(女性)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3	6
	9	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	2
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2
	合計	2	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	2	1	—	1	11	19

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症(男性)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症(女性)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌 感染症（男性）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌 感染症（女性）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表6 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(インフルエンザ・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		28,601	1,893	1,513	1,609	3,344	1,653	1,556	943	513	574	2,380	1,245	3,060	2,765	2,233	2,500	820
1	1	354	14	10	10	32	26	27	8	7	5	30	15	80	15	66	7	2
	2	473	33	22	5	69	28	21	26	5	8	61	23	73	27	42	25	5
	3	533	33	29	13	74	28	49	7	13	4	45	27	74	42	35	41	19
	4	497	20	28	9	62	24	51	5	3	13	61	30	51	50	36	36	18
2	5	760	63	58	20	130	45	69	25	7	17	62	42	44	55	34	65	24
	6	753	61	80	18	123	41	58	28	15	13	41	21	90	73	43	32	16
	7	678	54	99	20	85	27	56	21	8	13	36	30	49	76	57	30	17
	8	577	44	68	13	88	14	21	8	7	4	53	18	61	79	52	26	21
3	9	596	55	40	33	99	31	28	14	15	8	43	26	42	65	33	38	26
	10	874	80	50	134	79	43	38	7	6	10	101	33	76	90	39	44	44
	11	769	76	84	37	66	32	31	18	14	10	74	46	51	114	50	41	25
	12	628	49	53	25	52	46	32	13	10	11	51	57	64	61	28	41	35
	13	346	16	20	14	42	32	14	5	9	5	30	23	23	43	22	41	7
4	14	288	56	9	13	22	29	4	8	5	3	16	5	17	26	11	48	16
	15	183	23	4	13	15	14	6	6	1	3	8	4	7	13	37	27	2
	16	161	12	4	9	20	14	3	4	3	—	8	1	7	1	35	36	4
	17	143	6	2	8	16	9	4	1	—	3	11	1	11	5	39	27	—
5	18	93	4	3	2	17	7	1	1	1	—	6	4	6	5	20	16	—
	19	89	4	2	2	28	4	5	1	1	2	1	2	3	10	8	13	3
	20	91	1	5	2	27	2	4	7	1	1	1	1	9	2	8	18	2
	21	87	1	6	4	19	5	3	3	1	1	5	1	8	8	8	13	1
6	22	64	1	4	—	7	2	1	3	—	1	1	3	12	13	6	10	—
	23	62	—	2	2	4	3	6	3	1	1	4	2	15	10	5	4	—
	24	63	1	—	—	2	2	3	2	—	3	7	1	15	22	3	2	—
	25	71	4	—	3	4	1	—	1	2	3	5	—	9	26	12	1	—
	26	60	1	6	1	10	6	2	2	2	2	1	1	8	3	11	4	—
7	27	56	3	5	10	6	2	7	1	—	2	3	—	7	—	6	2	2
	28	45	1	1	2	3	3	6	1	1	—	7	1	11	—	4	4	—
	29	46	—	4	3	—	1	1	—	1	1	1	7	8	8	4	7	—
	30	34	—	2	—	—	2	2	2	5	3	—	1	6	3	5	3	—
8	31	46	—	—	7	6	5	1	1	—	—	2	2	12	3	4	3	—
	32	56	5	—	8	8	2	2	—	—	1	4	3	17	1	4	—	1
	33	79	1	1	6	9	2	1	5	12	3	1	1	24	3	6	3	1
	34	110	15	2	11	1	6	8	7	3	1	7	4	17	8	9	5	6
	35	216	21	7	27	22	14	13	10	11	2	9	12	33	13	4	13	5
9	36	259	8	7	22	25	18	14	11	7	5	22	9	40	23	17	19	12
	37	520	19	22	21	66	34	20	19	8	17	47	36	89	37	43	29	13
	38	487	27	10	22	48	39	26	9	6	10	44	32	89	24	54	40	7
	39	586	40	38	31	51	41	49	21	10	27	51	30	52	32	34	56	23
10	40	503	30	22	27	55	42	32	19	8	15	48	21	40	31	45	45	23
	41	473	30	12	31	48	42	32	15	7	18	48	11	52	34	42	35	16
	42	747	42	22	46	71	47	32	19	8	15	80	24	67	80	70	103	21
	43	1,227	57	41	89	145	70	64	40	28	21	87	52	115	133	111	150	24
11	44	1,675	95	65	113	202	85	70	60	35	24	110	57	209	194	150	157	49
	45	1,382	117	68	127	146	100	78	36	22	34	99	58	146	126	99	99	27
	46	1,679	129	82	112	200	117	84	46	19	48	128	66	142	168	111	174	53
	47	1,796	146	87	77	238	76	68	46	26	29	165	78	222	220	141	122	55
	48	1,328	71	67	75	184	75	61	45	27	30	116	46	135	104	104	153	35
12	49	1,807	110	62	121	210	107	97	65	34	27	153	80	167	162	117	249	46
	50	1,674	87	75	84	189	81	108	88	34	46	133	68	161	176	135	159	50
	51	1,267	63	63	89	120	53	89	63	25	29	106	60	112	147	90	126	32
	52	1,210	64	60	38	99	74	54	87	39	22	147	69	182	101	84	58	32

表7 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(新型コロナウイルス感染症・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		22,280	1,126	1,142	1,132	1,731	1,965	1,184	2,199	921	767	1,854	1,195	2,186	1,457	1,662	932	827
1	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	3	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	4	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
2	5	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	6	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	7	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	8	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
3	9	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	10	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	11	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	12	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	13	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
4	14	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	15	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	16	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	17	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
5	18	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	19	253	16	17	20	21	24	8	30	9	8	16	4	18	13	28	6	15
	20	377	35	26	24	29	35	13	42	13	11	38	7	39	19	19	8	19
	21	397	30	34	17	25	33	14	36	13	18	44	18	39	26	29	6	15
6	22	433	27	13	14	38	40	27	38	17	14	31	38	39	31	28	20	18
	23	505	33	24	15	20	31	22	47	34	24	42	25	51	51	41	18	27
	24	509	31	34	15	25	49	35	62	22	7	38	20	53	40	34	24	20
	25	556	31	35	22	25	56	35	71	31	21	37	31	37	35	42	24	23
	26	604	37	48	21	47	69	40	55	20	18	37	37	39	34	63	18	21
7	27	816	32	43	64	71	89	37	68	27	32	46	41	89	54	72	32	19
	28	1,011	41	39	55	78	98	67	90	30	37	64	45	151	62	69	37	48
	29	1,229	43	55	51	93	112	83	131	36	45	84	92	130	81	95	60	38
	30	1,261	48	75	73	98	116	76	117	58	42	96	101	112	102	71	44	32
8	31	1,188	53	64	64	90	104	73	126	50	39	106	82	110	63	88	38	38
	32	1,128	48	60	69	116	111	36	113	64	25	85	52	127	73	77	45	27
	33	1,270	63	66	62	120	98	64	142	41	37	57	57	128	98	114	98	25
	34	1,314	83	65	68	104	98	66	136	54	52	91	71	168	81	82	48	47
	35	1,390	78	71	79	108	124	82	104	58	45	118	77	126	86	95	74	65
9	36	1,221	51	57	47	113	93	87	122	50	51	102	59	108	90	88	66	37
	37	1,206	61	50	54	117	92	65	111	33	35	90	55	107	114	102	70	50
	38	947	57	54	35	60	85	42	106	45	27	92	32	90	48	75	52	47
	39	753	44	36	46	56	49	38	65	35	32	75	56	58	43	53	35	32
10	40	418	24	18	26	37	38	21	37	24	9	57	16	29	20	26	11	25
	41	285	11	16	17	24	29	18	37	13	6	25	13	30	9	23	7	7
	42	282	11	17	8	16	46	8	25	11	11	31	6	36	16	20	4	16
	43	242	9	13	8	24	20		27	9	3	32	14	11	36	19	7	10
11	44	241	21	11	17	12	15	8	38	10	6	37	7	14	16	14	7	8
	45	179	11	11	10	18	19	7	22	4	4	26	6	10	6	16	4	5
	46	152	5	6	10	8	11	4	15	10	8	23	7	4	15	10	8	8
	47	185	4	6	17	15	19	8	15	10	6	14	16	20	7	17	4	7
	48	266	17	13	16	11	29	9	18	11	4	34	10	38	13	23	9	11
12	49	328	13	18	17	13	37	17	31	16	13	32	25	31	10	30	12	13
	50	395	13	20	33	21	32	21	31	15	39	49	24	37	16	18	10	16
	51	458	20	10	21	38	30	29	40	32	25	44	20	44	30	35	18	22
	52	481	25	17	17	40	34	24	51	16	13	61	31	63	19	46	8	16

表8 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(RSウイルス感染症・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		1,772	196	33	153	359	160	174	3	6	4	128	3	168	123	72	177	13
1	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	3	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	4	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	4	5	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	4	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	21	2	—	—	—	—	—	—	—	—	18	1	—	—	—	—	—
	7	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	5	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
3	9	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
	13	6	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	3	—	—	—
4	14	6	—	—	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	15	19	—	—	—	3	6	—	—	—	—	—	—	1	5	1	3	—
	16	34	6	—	—	6	3	1	—	—	1	4	—	1	7	—	5	—
	17	31	6	—	—	7	3	6	—	—	—	3	—	2	1	—	3	—
5	18	29	5	—	—	6	5	2	—	—	—	6	—	1	4	—	—	—
	19	35	4	3	—	6	5	4	—	—	1	3	—	2	1	—	6	—
	20	66	5	2	5	13	8	13	—	—	—	3	—	10	4	2	1	—
	21	82	7	4	6	17	8	29	—	—	1	5	—	1	3	—	1	—
6	22	132	14	4	12	28	10	27	—	—	—	2	—	14	10	9	2	—
	23	159	27	3	12	31	12	28	1	1	—	9	—	11	9	4	10	1
	24	168	26	1	22	38	9	11	—	—	—	12	1	19	7	5	16	1
	25	206	24	3	12	41	21	14	—	1	—	10	1	19	3	13	37	7
	26	153	16	1	17	31	14	16	—	2	—	8	—	16	3	7	21	1
7	27	140	10	5	19	25	13	10	1	1	—	—	—	14	13	7	21	1
	28	99	4	1	11	38	5	3	—	1	—	7	—	14	5	3	7	—
	29	81	10	2	6	11	8	5	—	—	—	8	—	14	9	—	8	—
	30	67	12	—	4	10	6	2	1	—	1	8	—	7	5	2	8	1
8	31	68	4	1	7	11	5	3	—	—	—	4	—	4	13	2	14	—
	32	38	1	—	4	10	1	—	—	—	—	7	—	3	3	3	5	1
	33	25	2	1	1	9	1	—	—	—	—	2	—	1	4	1	3	—
	34	14	—	—	1	4	1	—	—	—	—	1	—	4	—	2	1	—
	35	16	1	—	2	2	—	—	—	—	—	4	—	4	—	2	1	—
9	36	11	—	—	5	2	1	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—
	37	6	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	38	4	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—
	39	8	—	—	—	1	3	—	—	—	—	1	—	2	—	1	—	—
10	40	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	—
	41	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	42	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	43	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	47	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	48	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
12	49	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表9 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(咽頭結膜熱・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		2,838	227	94	131	536	21	243	4	—	15	386	48	262	174	152	502	43
1	1	5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—
	2	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	3	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—
	4	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—
2	5	9	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	1	—
	6	10	1	—	1	4	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2	—
	7	7	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	2
	8	17	—	—	1	3	—	10	—	—	—	—	—	1	—	—	2	—
3	9	14	—	—	—	4	—	6	—	—	—	—	—	2	—	—	2	—
	10	9	1	—	—	2	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	11	16	—	—	—	3	—	11	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
	12	14	—	3	1	3	—	5	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	13	14	1	1	—	5	1	2	—	—	1	1	—	1	—	—	1	—
4	14	11	—	—	1	1	1	3	—	—	—	—	—	1	—	—	4	—
	15	4	—	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	16	11	—	—	1	2	—	1	—	—	1	3	—	—	1	—	1	1
	17	24	1	1	—	2	—	1	—	—	—	3	—	5	1	—	7	3
5	18	16	2	—	1	5	—	—	—	—	—	—	—	5	—	1	2	—
	19	25	1	1	5	4	—	1	—	—	—	—	—	5	2	—	6	—
	20	26	—	—	—	5	—	5	—	—	—	3	—	4	3	—	5	1
	21	35	3	—	3	8	—	3	—	—	2	3	—	6	2	—	5	—
6	22	34	—	—	5	12	—	6	—	—	—	3	2	1	1	—	2	2
	23	38	1	—	1	20	—	2	—	—	—	2	1	7	2	—	2	—
	24	42	—	—	—	10	—	4	—	—	—	4	2	3	1	16	1	1
	25	23	—	1	—	4	—	—	—	—	—	2	7	2	1	2	2	2
	26	41	2	—	—	12	3	—	—	—	—	6	1	7	1	4	5	—
7	27	21	—	—	1	2	—	4	—	—	—	4	2	5	—	—	2	1
	28	42	2	—	3	4	—	1	1	—	—	4	1	17	1	6	—	2
	29	28	—	—	—	2	—	3	—	—	—	1	1	14	—	3	3	1
	30	36	3	1	5	8	—	2	—	—	—	4	1	8	—	3	1	—
8	31	29	—	—	2	7	—	6	—	—	—	1	—	6	—	3	4	—
	32	26	—	—	5	6	—	1	—	—	—	1	—	6	1	5	—	1
	33	40	2	—	3	5	—	3	—	—	—	6	—	6	—	8	7	—
	34	24	1	—	—	2	—	6	—	—	—	6	—	5	—	2	2	—
	35	37	2	4	3	8	—	7	—	—	—	3	—	3	—	2	5	—
9	36	43	3	1	2	10	—	5	1	—	—	8	—	3	1	3	4	2
	37	71	8	5	4	8	—	2	—	—	—	14	—	2	10	3	13	2
	38	48	3	2	2	8	1	1	—	—	—	12	1	6	4	3	5	—
	39	78	10	5	4	8	—	6	1	—	—	9	1	1	3	13	14	3
10	40	102	8	7	4	4	—	13	—	—	1	22	—	5	5	6	27	—
	41	94	9	2	2	14	—	6	—	—	—	30	—	4	1	3	23	—
	42	100	12	6	—	11	—	5	—	—	—	16	1	5	6	4	33	1
	43	117	4	5	2	14	2	11	1	—	1	14	—	6	7	5	43	2
11	44	142	12	8	11	27	1	9	—	—	1	24	—	8	7	12	20	2
	45	143	17	5	2	12	1	13	—	—	—	23	2	11	11	3	41	2
	46	166	15	5	7	23	—	10	—	—	1	19	3	8	13	6	55	1
	47	170	15	11	11	38	2	6	—	—	1	21	7	7	19	4	26	2
	48	180	11	6	8	42	2	12	—	—	1	40	1	10	13	7	25	2
12	49	178	15	4	9	38	3	14	—	—	2	23	4	8	16	10	30	2
	50	176	7	2	13	47	1	14	—	—	—	17	9	17	17	5	24	3
	51	162	38	—	5	40	2	10	—	—	—	8	—	13	18	7	20	1
	52	130	15	8	2	32	1	7	—	—	1	18	1	15	6	3	20	1

表10 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		3,848	265	142	124	730	104	577	37	3	7	203	53	183	255	195	819	151
1	1	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	2	9	1	—	—	5	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—
	3	17	1	1	1	5	—	—	5	—	—	—	1	1	—	—	—	2
	4	19	1	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	5
2	5	13	—	1	2	6	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	1
	6	12	1	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4
	7	15	2	—	1	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	1	4
	8	15	2	—	—	9	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
3	9	18	—	—	—	13	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2
	10	17	1	—	1	7	1	—	—	1	—	1	—	—	1	1	—	3
	11	18	—	—	—	12	2	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	1
	12	24	2	—	—	15	—	—	—	—	—	1	—	1	3	1	—	1
	13	18	1	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	—	1	9	—	2
4	14	18	2	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	4	1
	15	25	4	—	—	5	—	—	—	—	—	1	—	—	2	11	1	1
	16	31	2	1	2	16	1	1	—	—	1	2	—	—	—	3	1	1
	17	31	4	—	—	15	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	5	3
5	18	19	—	1	3	4	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	4	5
	19	52	2	—	1	19	2	4	1	—	—	—	1	2	—	1	14	5
	20	57	—	—	—	16	3	8	—	—	—	2	1	2	4	1	18	2
	21	72	2	1	1	24	4	14	—	—	—	2	—	3	7	4	6	4
6	22	68	1	1	5	18	4	16	—	—	—	—	2	7	3	4	6	1
	23	85	—	—	4	18	3	16	—	—	—	—	1	5	5	6	25	2
	24	86	5	1	5	12	6	14	—	—	—	3	2	6	9	4	19	—
	25	74	—	—	5	14	4	4	1	—	—	3	5	2	9	4	18	5
	26	114	13	—	7	19	12	22	—	—	—	12	1	4	5	1	15	3
7	27	72	2	1	2	12	5	17	1	—	—	6	5	1	7	3	7	3
	28	64	8	1	2	9	—	7	—	—	2	2	2	2	5	2	14	8
	29	65	1	—	—	12	1	15	3	—	—	2	—	8	6	5	11	1
	30	61	2	—	1	15	—	14	—	—	1	4	1	2	4	6	5	6
8	31	61	3	1	1	14	3	9	—	—	—	1	3	1	4	4	15	2
	32	62	5	2	1	19	3	6	—	—	1	1	1	4	10	2	6	1
	33	62	6	—	2	14	1	12	—	—	—	13	—	5	4	3	1	1
	34	60	4	1	2	7	—	19	—	—	—	1	—	5	7	2	11	1
	35	65	3	5	1	2	2	15	—	—	—	1	1	5	5	2	23	—
9	36	92	6	6	3	13	—	21	—	—	—	1	1	2	8	5	26	—
	37	83	11	2	—	13	1	19	—	—	—	4	2	5	1	—	23	2
	38	58	8	2	—	8	—	11	—	—	—	—	—	4	5	5	14	1
	39	103	5	3	4	19	2	14	—	—	—	5	—	6	13	4	27	1
10	40	122	7	8	3	19	2	19	2	—	2	5	1	8	9	4	31	2
	41	80	6	3	1	15	—	9	1	—	—	8	—	5	7	5	17	3
	42	123	3	5	1	20	3	20	2	1	—	6	5	7	6	6	27	11
	43	125	6	17	2	10	3	22	—	—	—	4	—	4	7	2	42	6
11	44	162	15	6	4	10	2	28	1	—	—	15	1	11	8	5	42	14
	45	155	9	15	6	32	—	19	1	—	—	5	3	4	5	8	46	2
	46	154	12	16	4	25	4	14	1	—	—	9	2	3	11	4	46	3
	47	139	11	7	3	21	4	18	2	—	—	10	—	10	6	4	41	2
	48	203	24	3	6	39	4	14	6	—	—	6	1	8	9	20	56	7
12	49	205	17	19	14	23	2	23	1	—	—	15	3	6	15	17	47	3
	50	210	16	9	11	31	6	43	4	—	—	14	5	7	13	13	33	5
	51	170	15	1	7	23	2	31	4	1	—	10	1	15	15	5	39	1
	52	162	13	2	5	19	4	36	1	—	—	25	—	7	10	6	30	4

表11 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(感染性胃腸炎・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		11,102	1,348	140	857	1,271	763	1,017	307	—	2	918	431	257	955	1,407	854	575
1	1	173	14	4	10	22	9	15	1	—	—	18	5	2	16	34	10	13
	2	253	22	5	12	32	23	23	5	—	—	20	4	3	30	30	35	9
	3	336	38	11	32	70	14	27	1	—	—	30	12	5	18	36	27	15
	4	286	30	5	29	55	14	26	8	—	—	24	13	4	21	34	14	9
2	5	315	31	9	28	53	12	30	7	—	—	20	8	7	27	35	27	21
	6	228	25	2	28	47	8	23	2	—	—	2	5	10	22	19	24	11
	7	384	37	4	30	61	16	36	9	—	—	34	8	9	40	32	46	22
	8	310	29	2	23	41	29	23	12	—	—	34	7	6	13	28	47	16
3	9	344	32	6	30	48	28	51	8	—	—	28	10	6	20	25	42	10
	10	339	45	4	29	50	25	32	12	—	—	27	9	6	17	33	34	16
	11	335	44	1	17	39	28	60	14	—	2	29	9	4	20	37	22	9
	12	262	27	—	12	39	26	36	8	—	—	18	10	4	16	36	13	17
	13	230	26	—	15	30	24	30	11	—	—	17	14	8	22	9	16	8
4	14	222	22	2	24	39	14	33	1	—	—	14	11	5	14	27	9	7
	15	202	32	1	11	29	18	29	1	—	—	18	6	7	12	12	16	10
	16	261	26	4	14	48	15	41	5	—	—	16	8	6	25	26	13	14
	17	236	22	5	13	29	20	41	1	—	—	15	6	7	23	22	14	18
5	18	176	20	3	13	10	10	21	7	—	—	21	3	13	27	15	7	6
	19	299	37	7	16	36	14	29	8	—	—	24	7	3	36	40	18	24
	20	392	56	2	29	19	23	60	14	—	—	47	10	10	36	40	37	9
	21	383	48	3	27	46	29	36	17	—	—	42	12	5	30	46	31	11
6	22	417	60	—	24	32	21	68	8	—	—	36	17	8	42	44	34	23
	23	378	69	3	29	32	17	50	8	—	—	28	5	5	32	58	26	16
	24	278	34	6	56	9	12	12	3	—	—	34	6	5	36	40	15	10
	25	273	45	4	24	22	18	10	7	—	—	18	12	5	18	55	19	16
	26	201	29	2	16	11	6	9	3	—	—	25	11	4	10	50	16	9
7	27	170	30	—	11	5	7	10	7	—	—	17	6	2	14	29	14	18
	28	146	22	2	5	3	7	7	4	—	—	18	5	2	25	30	6	10
	29	101	14	1	4	1	10	4	6	—	—	10	7	5	9	18	2	10
	30	129	15	2	15	—	13	9	5	—	—	11	9	2	6	26	11	5
8	31	122	7	—	10	14	16	8	10	—	—	11	5	3	5	23	4	6
	32	104	19	2	5	5	15	8	3	—	—	4	4	5	10	15	5	4
	33	86	13	—	2	7	8	7	2	—	—	2	4	5	5	15	7	9
	34	96	11	1	10	3	11	3	4	—	—	11	5	3	9	17	—	8
	35	121	18	—	6	9	11	5	7	—	—	13	6	2	10	25	1	8
9	36	122	13	—	8	2	18	7	5	—	—	12	18	1	13	5	8	12
	37	118	9	5	10	2	10	12	6	—	—	11	9	3	9	20	4	8
	38	109	17	2	5	4	13	5	4	—	—	7	5	1	17	17	6	6
	39	119	18	4	9	6	9	4	6	—	—	16	14	1	4	15	3	10
10	40	114	6	1	12	14	13	3	2	—	—	9	7	5	7	19	11	5
	41	92	3	—	6	13	6	3	2	—	—	7	3	3	8	18	12	8
	42	131	15	—	7	19	5	2	4	—	—	9	12	5	13	21	5	14
	43	156	12	5	8	34	11	4	1	—	—	17	13	3	13	19	6	10
11	44	131	14	2	9	22	10	8	3	—	—	14	6	7	4	21	1	10
	45	135	17	1	14	20	7	2	2	—	—	13	12	6	13	15	8	5
	46	146	15	3	17	12	12	7	2	—	—	7	9	7	8	27	15	5
	47	154	20	2	11	13	12	4	3	—	—	15	6	2	14	24	24	4
	48	169	17	3	23	18	10	4	7	—	—	8	14	4	21	22	16	2
12	49	190	23	1	18	25	12	4	7	—	—	12	9	4	26	21	18	10
	50	223	23	3	8	38	11	13	7	—	—	11	8	7	38	27	16	13
	51	243	53	2	23	19	20	9	11	—	—	11	4	5	15	30	25	16
	52	162	24	3	10	14	13	14	6	—	—	3	3	7	16	25	14	10

表12 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(水痘・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		196	22	9	18	20	14	13	5	—	5	10	6	7	15	26	24	2
1	1	6	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	3	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	4	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	1	—	—
	7	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	8	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	4	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	12	3	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
4	14	4	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	15	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	16	8	2	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—
	17	8	—	2	1	—	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	1	—
5	18	5	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
	19	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	20	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	21	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	5	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	23	4	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	24	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
	25	4	—	1	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	26	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
7	27	14	1	—	—	—	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1
	28	4	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	29	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	30	7	—	—	—	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	2	—
8	31	4	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	32	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—
	35	4	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
9	36	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	37	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	39	5	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—
10	40	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—
	41	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	42	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—
	43	5	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	1	—	—
11	44	5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	3	—
	45	9	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	1	2	2	1	—
	46	6	1	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	47	6	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	48	12	1	1	1	—	—	1	—	—	—	2	1	—	3	1	1	—
12	49	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	6	4	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	51	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	52	2	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表13 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(手足口病・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		508	69	15	18	102	20	24	1		5	101	1	19	59	30	36	8
1	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—
	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	3	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
3	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	10	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	3	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	4	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	15	11	—	—	—	10	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	9	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	1	—
	17	13	—	—	—	5	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	5	—
5	18	11	—	—	1	3	—	1	—	—	—	—	—	4	—	2	—	—
	19	17	—	1	—	8	1	1	—	—	—	2	—	1	—	2	1	—
	20	12	1	—	2	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—
	21	18	2	—	—	5	1	—	—	—	—	7	—	—	1	1	1	—
6	22	16	1	—	1	3	3	—	—	—	—	2	—	—	2	2	—	2
	23	18	—	—	—	2	2	5	—	—	—	3	—	2	—	4	—	—
	24	7	2	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—
	25	18	3	—	2	2	5	—	—	—	—	4	1	—	1	—	—	—
	26	15	1	1	—	6	—	1	—	—	—	1	—	1	2	2	—	—
7	27	18	1	—	—	4	—	3	—	—	—	—	—	1	1	1	7	—
	28	16	3	—	3	7	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—
	29	23	2	—	—	11	—	—	—	—	—	6	—	—	1	—	2	1
	30	10	1	—	1	3	1	—	—	—	—	3	—	—	—	1	—	—
8	31	9	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	4	—
	32	8	1	—	—	5	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	33	4	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	12	3	—	1	2	—	—	—	—	—	3	—	—	1	—	1	1
	35	20	—	—	—	4	1	—	—	—	2	10	—	—	1	—	2	—
9	36	14	1	2	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	3	—	1	1
	37	21	3	1	—	1	1	—	—	—	—	9	—	—	1	2	2	1
	38	19	5	—	1	—	2	—	—	—	—	7	—	1	3	—	—	—
	39	27	7	1	2	—	1	—	—	—	—	7	—	—	5	4	—	—
10	40	21	6	1	—	—	—	1	—	—	2	3	—	1	4	1	2	—
	41	26	12	—	1	—	—	5	—	—	1	2	—	—	3	2	—	—
	42	16	5	—	—	—	1	3	—	—	—	3	—	—	3	1	—	—
	43	10	3	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2	1	1	1
11	44	6	—	—	—	1	—	1	—	—	—	2	—	—	1	—	1	—
	45	8	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	4	—	—	—
	46	10	2	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	5	—	—	—
	47	8	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—
	48	8	1	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—
12	49	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—
	50	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	51	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	52	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表14 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(伝染性紅斑・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		36	2	5	1	3	—	6	—	—	—	2	—	1	3	11	2	—
1	1	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	10	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	26	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
7	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	3	1	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	31	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	32	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	33	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	34	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	36	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	40	5	—	2	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	45	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—

表15 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(突発性発しん・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		391	37	18	28	88	6	38	1	—	6	26	2	15	40	40	31	15
1	1	6	—	1	—	1	—	1	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—
	2	13	2	2	2	—	—	1	—	—	—	1	—	—	1	1	2	1
	3	8	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	4	—	1
	4	6	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—	—
2	5	6	—	—	—	1	1	—	—	—	2	—	—	1	1	—	—	—
	6	5	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	7	10	2	—	1	1	—	3	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1
	8	8	1	1	1	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	—
3	9	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	11	11	1	1	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	1	1	2	1
	12	5	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	13	12	2	—	—	4	—	2	—	—	—	1	—	—	1	1	1	—
4	14	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1
	15	15	2	1	—	3	—	—	—	—	1	3	—	1	3	1	—	—
	16	17	—	—	1	4	—	1	—	—	—	2	1	1	5	—	2	—
	17	13	1	—	2	3	—	2	—	—	—	1	—	—	2	1	1	—
5	18	6	—	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—
	19	9	1	1	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	—	1
	20	12	—	—	—	1	—	2	—	—	—	1	—	—	4	2	1	1
	21	5	—	1	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
6	22	12	—	—	3	4	—	1	—	—	—	1	—	—	2	1	—	—
	23	9	—	1	—	3	1	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—
	24	8	1	1	—	4	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	25	9	—	—	1	3	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	2
	26	7	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	—	—
7	27	13	2	2	1	1	1	3	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
	28	5	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	29	8	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—
	30	6	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—
8	31	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	32	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	1	—
	33	6	1	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	34	10	1	—	1	4	—	2	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	35	8	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—
9	36	11	—	—	—	2	—	3	—	—	—	2	—	1	1	—	1	1
	37	4	1	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	38	10	1	—	—	3	—	2	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—
	39	10	—	—	—	6	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	1	—
10	40	8	2	—	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—	1	1	1	—
	41	4	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	42	6	1	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	43	5	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—
11	44	7	—	—	1	2	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
	45	4	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	46	8	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
	47	6	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—
	48	8	1	1	2	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
12	49	3	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	50	5	1	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—
	51	7	1	1	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	52	3	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—

表16 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(ヘルパンギーナ・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		2,982	246	124	106	936	35	155	15	1	16	467	28	30	72	228	469	54
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	5	2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	3	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	11	—	1	1	2	—	—	1	—	—	4	—	2	—	—	—	—
	21	35	5	8	3	3	1	2	—	—	—	2	—	—	—	1	10	—
6	22	60	4	11	6	9	1	3	—	—	—	9	2	1	1	1	11	1
	23	148	8	11	9	32	1	17	1	—	—	23	1	—	6	12	26	1
	24	270	18	13	10	76	1	34	1	—	—	34	3	4	5	30	39	2
	25	368	28	14	18	109	8	19	—	—	1	47	1	2	5	48	63	5
	26	448	52	13	14	162	11	15	3	—	—	54	5	2	16	26	70	5
7	27	389	28	16	13	112	—	12	3	—	9	80	8	5	11	26	54	12
	28	358	28	9	6	95	5	28	—	1	2	58	2	5	8	20	83	8
	29	245	19	7	8	81	1	10	1	—	—	35	1	3	5	20	46	8
	30	189	15	6	3	48	3	6	1	—	1	30	1	3	10	14	41	7
8	31	145	12	2	5	64	1	4	—	—	—	26	1	1	1	12	14	2
	32	80	1	1	1	45	—	—	—	—	—	20	—	1	2	4	4	1
	33	46	2	1	—	27	—	1	—	—	—	5	1	—	—	7	2	—
	34	40	6	—	1	17	1	2	—	—	1	9	1	—	—	1	1	—
	35	46	8	2	2	19	1	—	—	—	1	10	—	—	—	1	2	—
9	36	27	3	4	2	10	—	2	—	—	—	5	—	—	1	—	—	—
	37	21	1	3	1	6	—	—	1	—	—	9	—	—	—	—	—	—
	38	4	1	—	1	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	39	17	2	—	1	3	—	—	1	—	—	3	—	—	—	5	2	—
10	40	6	—	—	—	3	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
	41	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	43	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
11	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	48	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	49	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—
	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	51	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表17 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(流行性耳下腺炎・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		113	8	5	9	25	4	9	—	—	1	11	1	5	9	14	7	5
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
2	5	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	7	3	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2	—	—
3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	16	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	19	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	4	1	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
	21	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
6	22	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	23	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	24	5	2	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	4	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	26	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
7	27	7	1	—	—	1	2	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	—
	28	7	—	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	29	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	30	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
8	31	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	32	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	33	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	34	6	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	1
	35	5	—	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
9	36	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
10	40	4	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	41	8	—	—	1	3	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—
	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
11	44	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	45	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	46	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	48	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
12	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	51	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表18 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(急性出血性結膜炎・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		3	—	・	—	—	—	—	—	3	—	・	・	—	・	—	—	—
1	1	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	2	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	3	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	4	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
2	5	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	6	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	7	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	8	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
3	9	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	10	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	11	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	12	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	13	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
4	14	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	15	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	16	2	—	・	—	—	—	—	—	2	—	・	・	—	・	—	—	—
	17	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
5	18	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	19	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	20	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	21	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
6	22	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	23	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	24	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	25	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	26	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
7	27	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	28	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	29	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	30	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
8	31	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	32	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	33	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	34	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	35	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
9	36	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	37	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	38	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	39	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
10	40	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	41	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	42	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	43	1	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
11	44	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	45	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	46	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	47	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	48	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
12	49	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	50	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	51	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	52	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—

表19 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(流行性角結膜炎・令和5年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		164	34	・	10	5	1	—	1	23	23	・	・	1	・	46	7	13
1	1	3	2	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	2	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	3	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	4	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
2	5	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	6	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	7	2	—	・	—	—	—	—	—	—	2	・	・	—	・	—	—	—
	8	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
3	9	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	10	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	11	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	12	2	1	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	13	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
4	14	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	15	1	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	16	2	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	1
	17	2	1	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
5	18	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	19	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	20	4	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	3	—	—
	21	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
6	22	3	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	2	—	—
	23	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	24	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	25	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	26	3	—	・	1	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	1	—	—
7	27	3	1	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	—
	28	4	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	3	—	1
	29	4	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	3	—	1
	30	3	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	2	—	—
8	31	4	—	・	—	—	—	—	—	1	1	・	・	—	・	2	—	—
	32	4	—	・	1	—	—	—	—	—	2	・	・	—	・	1	—	—
	33	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	34	8	4	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	3	—	—
	35	9	1	・	3	—	—	—	—	2	1	・	・	—	・	2	—	—
9	36	9	1	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	1	・	5	—	1
	37	9	—	・	—	—	—	—	—	3	—	・	・	—	・	2	—	4
	38	2	2	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	39	3	—	・	1	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	1	—	—
10	40	6	2	・	—	—	—	—	1	—	—	・	・	—	・	3	—	—
	41	5	1	・	1	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	2	—	—
	42	3	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	1
	43	4	2	・	—	—	1	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
11	44	8	—	・	—	1	—	—	—	—	1	・	・	—	・	3	3	—
	45	5	3	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	46	6	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	3	1	1
	47	2	1	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	48	5	1	・	—	—	—	—	—	2	—	・	・	—	・	1	1	—
12	49	10	1	・	1	—	—	—	—	3	5	・	・	—	・	—	—	—
	50	4	2	・	—	—	—	—	—	—	2	・	・	—	・	—	—	—
	51	8	2	・	—	—	—	—	—	2	2	・	・	—	・	—	2	—
	52	7	—	・	—	1	—	—	—	4	1	・	・	—	・	1	—	—

表20-1 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(性器クラミジア感染症・令和5年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	129	6	・	24	1	3	43	20	—	・	20	2	1	・	7	—	2
2	77	4	・	10	—	2	35	4	2	・	12	2	2	・	4	—	—
3	111	1	・	19	2	8	31	22	5	・	11	3	1	・	5	3	—
4	88	2	・	13	2	6	46	8	1	・	7	1	1	・	1	—	—
5	113	3	・	12	2	7	51	10	—	・	19	4	—	・	2	2	1
6	133	5	・	19	1	9	60	8	3	・	12	5	1	・	9	—	1
7	97	1	・	15	1	1	46	12	1	・	10	3	—	・	7	—	—
8	99	3	・	14	1	—	38	11	1	・	18	2	1	・	8	1	1
9	117	4	・	25	—	4	42	5	—	・	21	8	—	・	6	2	—
10	98	7	・	14	3	10	33	8	1	・	12	2	—	・	7	—	1
11	111	2	・	19	2	3	54	8	1	・	9	2	—	・	8	1	2
12	108	4	・	17	2	5	51	7	4	・	6	6	—	・	5	1	—
合計	1281	42	・	201	17	58	530	123	19	・	157	40	7	・	69	10	8

表20-2 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(性器ヘルペスウイルス感染症・令和5年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	30	—	・	5	2	2	10	3	3	・	1	1	—	・	1	—	2
2	30	—	・	4	3	1	10	2	2	・	—	3	—	・	—	—	5
3	32	—	・	7	1	2	11	—	—	・	—	4	—	・	3	—	4
4	37	—	・	10	—	—	12	4	2	・	—	2	—	・	—	—	7
5	34	—	・	4	2	2	13	2	1	・	—	2	—	・	2	1	5
6	44	—	・	14	—	5	12	2	2	・	1	2	—	・	2	—	4
7	29	—	・	4	2	1	13	5	1	・	1	—	—	・	—	—	2
8	35	—	・	4	4	—	14	2	1	・	4	1	—	・	—	—	5
9	42	—	・	6	1	—	22	6	1	・	2	2	—	・	—	—	2
10	61	—	・	6	2	1	37	7	2	・	1	2	1	・	—	—	2
11	46	—	・	3	2	3	26	5	1	・	—	1	—	・	1	—	4
12	36	—	・	5	1	1	23	4	1	・	—	—	1	・	—	—	—
合計	456	—	・	72	20	18	203	42	17	・	10	20	2	・	9	1	42

表20-3 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(尖圭コンジローマ・令和5年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	20	—	・	8	—	1	4	1	—	・	5	—	1	・	—	—	—
2	22	—	・	7	—	2	5	3	1	・	2	1	—	・	1	—	—
3	25	—	・	4	—	2	6	3	—	・	7	—	—	・	1	—	2
4	29	—	・	6	—	5	8	3	—	・	6	—	—	・	—	—	1
5	22	—	・	4	—	2	4	5	—	・	5	—	—	・	—	—	2
6	27	—	・	7	—	3	5	5	—	・	6	—	—	・	—	—	1
7	30	—	・	10	—	3	7	2	—	・	3	4	—	・	—	—	1
8	26	—	・	4	—	—	8	2	1	・	10	—	—	・	—	—	1
9	31	—	・	6	—	5	10	2	—	・	8	—	—	・	—	—	—
10	25	—	・	7	1	4	5	5	1	・	2	—	—	・	—	—	—
11	23	—	・	9	—	1	5	3	—	・	4	—	—	・	—	—	1
12	19	—	・	7	1	—	5	1	—	・	5	—	—	・	—	—	—
合計	299	—	・	79	2	28	72	35	3	・	63	5	1	・	2	—	9

表20-4 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(淋菌感染症・令和5年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	53	2	・	9	—	1	15	12	—	・	11	—	—	・	2	—	1
2	31	1	・	7	—	2	12	4	—	・	4	—	—	・	1	—	—
3	46	5	・	10	—	5	13	6	—	・	3	1	—	・	2	—	1
4	45	1	・	10	—	1	16	4	1	・	10	—	—	・	1	—	1
5	48	2	・	8	—	2	14	3	1	・	13	1	—	・	4	—	—
6	46	—	・	10	—	1	17	6	—	・	5	—	—	・	3	—	4
7	45	1	・	11	—	—	16	4	—	・	10	—	—	・	3	—	—
8	51	1	・	12	—	—	14	1	—	・	16	2	1	・	4	—	—
9	44	2	・	9	—	6	8	2	—	・	14	1	—	・	1	1	—
10	41	1	・	9	—	2	17	2	—	・	9	—	—	・	—	—	1
11	40	—	・	13	—	1	17	1	—	・	7	—	—	・	1	—	—
12	50	1	・	12	—	5	18	1	—	・	10	—	—	・	1	1	1
合計	540	17	・	120	—	26	177	46	2	・	112	5	1	・	23	2	9

表21 週報対象疾病年次別発生状況(名古屋市)

年次 疾病名	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
インフルエンザ	18,199	14,735	21,920	17,589	22,231	22,832	7,554	25	172	28,601
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	22,280
R S ウイルス感染症	1,393	1,327	1,353	1,662	1,294	1,828	185	2,613	2,547	1,772
咽頭結膜熱	1,281	1,096	731	1,100	762	1,049	608	461	370	2,838
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,259	4,943	3,279	3,417	3,753	3,466	1,993	1,007	811	3,848
感染性胃腸炎	14,616	13,361	14,270	10,619	10,947	9,350	5,398	6,945	8,361	11,102
水痘	1,036	838	861	808	757	443	296	137	116	196
手足口病	1,270	2,936	788	4,348	748	4,657	139	213	2,396	508
伝染性紅斑	99	956	520	168	261	1,296	235	20	19	36
突発性発しん	1,095	949	746	664	684	602	711	645	475	391
百日咳	39	30	40	19	・	・	・	・	・	・
ヘルパンギーナ	1,101	2,167	1,428	689	1,511	1,389	125	858	510	2982
流行性耳下腺炎	562	353	567	333	197	149	106	102	86	113
急性出血性結膜炎	3	1	3	2	2	3	2	1	1	3
流行性角結膜炎	131	97	187	148	150	153	51	67	54	164
細菌性髄膜炎	5	1	2	1	-	-	-	-	2	6
無菌性髄膜炎	4	5	3	4	2	3	3	2	1	5
マイコプラズマ肺炎	29	103	205	104	46	92	28	1	-	3
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	1	-	-	2	2	-	1	-	-	-
感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	23	13	31	31	31	44	-	-	-	-

3 検査情報

患者定点のうち、名古屋市立大学病院、東部医療センター、西部医療センター、中京病院、日本赤十字社名古屋第二病院、名古屋掖済会病院の小児科、くつなこどもクリニック及びまじま眼科を病原体定点として、ウイルス感染及びそれが疑われる感染症を対象として検査を実施した。その結果、患者94名のうち延べ92名からウイルスを分離・検出した。

アデノウイルスは33名より分離・検出され、2型が1名、3型が14名、8型が2名、37型が1名、53型が6名、54型が1名、56型が6名、型不明が2名であった。

ピコルナウイルス科ウイルスは32名より分離・検出され、Cox-A2が1名、Cox-A4が1名、Cox-B5が13名、Echo-9が2名、Echo-11が1名、HPeV-1が1名、HPeV-3が2名、HPeV型不明が3名、HRV-Aが6名、HRV-Cが2名であった。

ヘルペスウイルス科ウイルスは13名より検出され、EBVが3名、CMVが4名、HHV-6Bが3名、HHV-7が3名であった。

オルソミクソウイルス科ウイルスは9名より分離・検出され、Inf-AH1pdm09が3名、Inf-AH3が6名であった。

ニューモウイルス科ウイルスは4名より検出され、hMPV-A2が3名、RSV-Aが1名であった。

コロナウイルス科ウイルスは1名より検出され、SARS-CoV-2であった。

	患者数	検体数	鼻咽頭材料	便	髄液	尿	眼材料	血液	その他
名古屋市立大学病院	5	7	2	1	1			2	1
東部医療センター	13	13	13						
西部医療センター	8	27	5	7	6	4		5	
中京病院	2	2	2						
日赤名古屋第二病院	17	35	8	5	12	8		2	
名古屋掖済会病院	14	19	14	1		2		2	
くつなこどもクリニック	9	9	9						
まじま眼科	26	26					26		
合 計	94	138	53	14	19	14	26	11	1

(1) 月別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和5年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アデノウイルス科													
AdV-2									1				1
AdV-3								2	1	4	3	4	14
AdV-8							1				1		2
AdV-37			1										1
AdV-53			1		3		1		1				6
AdV-54										1			1
AdV-56				2	2	1					1		6
AdV-NT			1							1			2
ヒコルナウイルス科													
Cox-A2							1						1
Cox-A4								1					1
Cox-B5									4	7	2		13
Echo-9										2			2
Echo-11										1			1
HPeV-1								1					1
HPeV-3						2							2
HPeV-NT					1					2			3
HRV-A			1		1			2	1	1			6
HRV-C						1			1				2
ヘルペスウイルス科													
EBV						1		1	1				3
CMV			1		1				1	1			4
HHV-6B										3			3
HHV-7									1	1	1		3
オルソミクソウイルス科													
Inf-AH1pdm09										2	1		3
Inf-AH3	1		2						1	1	1		6
ニューモウイルス科													
hMPV-A2								2		1			3
RSV-A								1					1
コロナウイルス科													
SARS-CoV-2						1							1
延べウイルス検出人数	1	0	7	2	8	6	3	10	13	28	10	4	92
患者数	2	0	5	3	10	4	7	10	10	25	11	7	94

※同一患者での重複感染あり。

AdV:アデノウイルス, Cox:コクサッキーウイルス, Echo:エコーウイルス, HPeV:ヒトパレコウイルス, HRV:ヒトライノウイルス

EBV:Epstein-Barrウイルス, CMV:サイトメガロウイルス, HHV:ヒトヘルペスウイルス, Inf:インフルエンザウイルス

hMPV:ヒトメタニューモウイルス, RSV:RSウイルス, SARS-CoV-2:新型コロナウイルス

(2) 年齢別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和5年）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳～	合計
アデノウイルス科																		
AdV-2		1																1
AdV-3		1		1		3		1	1								7	14
AdV-8																	2	2
AdV-37																	1	1
AdV-53	1																5	6
AdV-54																	1	1
AdV-56																	6	6
AdV-NT		1		1														2
ヒトコルナウイルス科																		
Cox-A2					1													1
Cox-A4			1															1
Cox-B5	8	1		2					1	1								13
Echo-9	2																	2
Echo-11							1											1
HPeV-1	1																	1
HPeV-3	2																	2
HPeV-NT	2	1																3
HRV-A	2	2		1				1										6
HRV-C	1	1																2
ヘルペスウイルス科																		
EBV		1			1												1	3
CMV	2	2																4
HHV-6B		2		1														3
HHV-7							1			1			1					3
オルミコサウイルス科																		
Inf-AH1pdm09							1				1		1					3
Inf-AH3		1							1	1			1				2	6
ニューモウイルス科																		
hMPV-A2		3																3
RSV-A									1									1
コロナウイルス科																		
SARS-CoV-2																	1	1
延べウイルス検出人数	21	17	1	6	2	3	3	2	4	3	1	0	3	0	0	0	26	92
患者数	24	11	2	4	4	4	3	5	3	2	1	2	3	0	0	0	26	94

※同一患者での重複感染例あり。

AdV:アデノウイルス, Cox:コクサッキーウイルス, Echo:エコーウイルス, HPeV:ヒトヘルペスウイルス, HRV:ヒトライノウイルス, EBV:Epstein-Barrウイルス, CMV:サイトメガロウイルス, HHV:ヒトヘルペスウイルス

Inf:インフルエンザウイルス, hMPV:ヒトメタニューモウイルス, RSV:RSウイルス, SARS-CoV-2:新型コロナウイルス

(3) 診断名別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和5年）

	インフル エンザ 様疾患	感 染 性 胃 腸 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	急 性 脳 炎 ・ 急 性 脳 症	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	不 明 発 疹 症	上 気 道 炎	下 気 道 炎	そ の 他	不 詳	合 計
アデノウイルス科														
AdV-2					1									1
AdV-3							2	10		2		2		16
AdV-8								2						2
AdV-37								1						1
AdV-53								6						6
AdV-54								1						1
AdV-56								6						6
AdV-NT	1									1				2
ヒコルナウイルス科														
Cox-A2										1				1
Cox-A4												1		1
Cox-B5	1					3		1		2	1	5		13
Echo-9												2		2
Echo-11												1		1
HPeV-1											1			1
HPeV-3												2		2
HPeV-NT											1	1	1	3
HRV-A	1				1					3	1	1		7
HRV-C										1		1		2
ヘルペスウイルス科														
EBV											2	2		4
CMV	1									1	1	1		4
HHV-6B										2	1			3
HHV-7	2											1		3
オルソミクソウイルス科														
Inf-AH1pdm09	3													3
Inf-AH3	5											1		6
ニューモウイルス科														
hMPV-A2											3	2		5
RSV-A						1								1
コロナウイルス科														
SARS-CoV-2												1		1
延べウイルス検出人数	14	0	0	0	2	4	2	27	0	13	11	24	1	98
延べ患者数	8	0	0	0	4	10	3	26	1	11	8	29	2	102

※同一患者での重複感染あり。

※同一患者での複数の臨床診断名あり。

AdV:アデノウイルス, Cox:コクサッキーウイルス, Echo:エコーウイルス, HPeV:ヒトパレコウイルス, HRV:ヒトライノウイルス, EBV:Epstein-Barrウイルス, CMV:サイトメガロウイルス
 HHV:ヒトヘルペスウイルス, Inf:インフルエンザウイルス, hMPV:ヒトメタニューモウイルス, RSV:RSウイルス, SARS-CoV-2:新型コロナウイルス

エイズ対策

Ⅱ エイズ対策

1 概況

本市における令和5年の新規報告件数（受理日で集計）は、H I V感染者57件、A I D S患者19件の計76件で、前年から19件増加した。

全国状況は、H I V感染者が669件、A I D S患者が291件の計960件で、前年から76件増加した。

エイズ治療の進歩により、H I V感染を早期に発見することが益々重要になってきている。

本市においては、市民にとって利便性が高い夜間や休日（土曜日・日曜日）にもH I V検査を定例実施する等、検査機会の拡大を図ってきた。

令和5年度に本市が実施したH I V検査件数は7,164件（陽性件数27件）となっている。

エイズに関する市民の理解促進を図るため、普及啓発事業として、地下鉄車両広告の作成・掲示、インターネット広告の掲載等を実施した。

2 名古屋市におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数等（受理日で集計）

(1) H I V感染者報告件数（令和5年）

7 H I V感染者報告件数

区分	男性	女性	計
H I V	54 (15)	3 (2)	57 (17)

注1：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく報告件数

注2：以下（ ）内は外国人（不明を含む）の再掲。

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	7 (2)	46 (13)	- (-)	1 (-)	54 (15)
女性	3 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)
計	10 (4)	46 (13)	- (-)	1 (-)	57 (17)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	7 (3)	43 (12)	- (-)	- (-)	50 (15)
海外	- (-)	2 (1)	- (-)	- (-)	2 (1)
不明	3 (1)	1 (-)	- (-)	1 (-)	5 (1)
計	10 (4)	46 (13)	- (-)	1 (-)	57 (17)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20～29歳	3 (1)	15 (6)	- (-)	- (-)	18 (7)
30～39歳	5 (3)	23 (6)	- (-)	1 (-)	29 (9)
40～49歳	2 (-)	4 (1)	- (-)	- (-)	6 (1)
50歳～	4 (1)	2 (1)	- (-)	- (-)	6 (2)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	14 (4)	42 (13)	- (-)	1 (-)	57 (17)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	- (-)	17 (6)	28 (8)	5 (1)	4 (-)	- (-)	54 (15)
女性	- (-)	1 (1)	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	3 (2)
計	- (-)	18 (7)	29 (9)	6 (1)	4 (-)	- (-)	57 (17)

(2) A I D S患者報告件数（令和5年）

7 A I D S患者報告件数

区分	男性	女性	計
A I D S	18 (3)	1 (-)	19 (3)

注：以下（ ）内は外国人（不明を含む）の再掲。

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	2 (1)	14 (2)	- (-)	2 (-)	18 (3)
女性	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
計	3 (1)	14 (2)	- (-)	2 (-)	19 (3)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	- (-)	13 (1)	- (-)	1 (-)	14 (1)
海外	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
不明	3 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	4 (1)
計	3 (1)	14 (2)	- (-)	2 (-)	19 (3)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20～29歳	- (-)	3 (2)	- (-)	- (-)	3 (2)
30～39歳	1 (1)	7 (-)	- (-)	- (-)	8 (1)
40～49歳	1 (-)	3 (-)	- (-)	- (-)	4 (-)
50歳～	1 (-)	1 (-)	- (-)	2 (-)	4 (-)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	3 (1)	14 (2)	- (-)	2 (-)	19 (3)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	- (-)	3 (2)	8 (1)	3 (-)	4 (-)	- (-)	18 (3)
女性	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
計	- (-)	3 (2)	8 (1)	4 (-)	4 (-)	- (-)	16 (5)

(3) HIV感染者・AIDS患者累積報告件数（令和5年）

7 HIV感染者・AIDS患者報告件数

区分	男性	女性	計
HIV	1,141 (147)	119 (65)	1,260 (212)
AIDS	490 (56)	28 (13)	518 (69)
計	1,631 (203)	147 (78)	1,778 (281)

注1：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく報告件数

平成11年3月31日以前は、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律に基づく報告件数

注2：平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告件数4件を含む。

注3：以下（ ）内は外国人（不明を含む。）の再掲。

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	268 (68)	1,240 (99)	16 (7)	114 (32)	1,638 (206)
女性	112 (53)	- (-)	6 (3)	22 (19)	140 (75)
計	380 (121)	1,240 (99)	22 (10)	136 (51)	1,778 (281)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	253 (45)	1,183 (79)	13 (3)	47 (1)	1,496 (128)
海外	88 (52)	38 (13)	8 (6)	24 (22)	158 (93)
不明	39 (24)	19 (7)	1 (1)	65 (28)	124 (60)
計	380 (121)	1,240 (99)	22 (10)	136 (51)	1,778 (281)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	3 (1)	6 (-)	- (-)	- (-)	9 (1)
20～29歳	86 (42)	346 (35)	6 (4)	33 (24)	471 (105)
30～39歳	126 (49)	453 (43)	8 (5)	39 (19)	626 (116)
40～49歳	74 (14)	263 (13)	6 (1)	23 (5)	366 (33)
50歳～	91 (15)	172 (8)	2 (-)	40 (2)	305 (25)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)
計	380 (121)	1,240 (99)	22 (10)	136 (51)	1,778 (281)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	6 (-)	413 (60)	581 (91)	348 (27)	283 (21)	- (-)	1,631 (199)
女性	3 (1)	58 (45)	45 (25)	18 (6)	22 (4)	1 (1)	147 (82)
計	9 (1)	471 (105)	626 (116)	366 (33)	305 (25)	1 (1)	1,778 (281)

(4) HIV感染者・AIDS患者報告件数の推移

※（ ）内は外国人（不明を含む。）の再掲。

7 HIV感染者+AIDS患者

区分	平成元年 ～6年まで	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
異性間	15 (9)	4 (3)	4 (1)	4 (1)	3 (2)	2 (-)	7 (2)	12 (3)	16 (7)	8 (2)	4 (1)	9 (3)	22 (7)	19 (10)	18 (5)
同性間	9 (1)	8 (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	6 (-)	8 (-)	22 (1)	24 (1)	26 (2)	38 (2)	39 (-)	55 (2)	69 (5)	55 (4)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	2 (1)	1 (-)	1 (1)
不明	14 (14)	3 (2)	4 (3)	4 (3)	2 (2)	4 (2)	3 (1)	4 (3)	8 (5)	10 (1)	8 (2)	7 (1)	3 (-)	10 (4)	9 (1)
計	28 (19)	15 (5)	8 (4)	10 (4)	7 (4)	13 (2)	18 (3)	39 (8)	48 (13)	44 (5)	51 (5)	56 (4)	82 (10)	99 (19)	83 (11)

区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
異性間	12 (3)	23 (3)	10 (3)	16 (4)	19 (4)	19 (5)	19 (6)	21 (2)	10 (2)	13 (4)	15 (3)	17 (6)	10 (5)	16 (10)	13 (5)
同性間	46 (2)	80 (2)	90 (1)	83 (5)	60 (2)	55 (6)	60 (6)	50 (2)	38 (2)	71 (9)	54 (5)	41 (11)	52 (5)	37 (9)	60 (15)
その他	- (-)	3 (1)	1 (-)	2 (1)	4 (3)	- (-)	1 (1)	2 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)
不明	5 (1)	2 (-)	4 (2)	- (-)	3 (2)	8 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	2 (1)	4 (-)	4 (-)	3 (-)
計	63 (6)	108 (6)	105 (6)	101 (10)	86 (11)	82 (11)	81 (13)	75 (4)	50 (5)	85 (13)	71 (8)	60 (18)	67 (10)	57 (19)	76 (20)

イ HIV感染者

区分	平成元年 ～6年まで	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
異性間	13 (8)	1 (1)	1 (-)	4 (1)	3 (2)	- (-)	5 (2)	10 (3)	13 (7)	7 (2)	2 (1)	5 (3)	17 (6)	12 (5)	9 (3)
同性間	6 (-)	4 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	5 (-)	7 (-)	19 (1)	22 (1)	22 (1)	32 (1)	31 (-)	43 (2)	52 (4)	42 (4)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	2 (1)	1 (-)	- (-)
不明	13 (13)	2 (1)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	3 (3)	6 (3)	7 (-)	3 (1)	3 (-)	1 (-)	7 (3)	- (-)
計	24 (17)	7 (2)	5 (3)	7 (2)	5 (3)	10 (2)	15 (3)	33 (8)	41 (11)	36 (3)	38 (3)	39 (3)	63 (9)	72 (12)	51 (7)

区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
異性間	6 (1)	11 (2)	6 (1)	11 (4)	13 (4)	10 (3)	9 (3)	16 (2)	4 (1)	6 (3)	9 (3)	13 (5)	7 (4)	11 (6)	10 (4)
同性間	27 (-)	54 (2)	56 (1)	60 (5)	42 (2)	42 (5)	39 (4)	38 (-)	30 (1)	58 (9)	45 (5)	35 (8)	37 (4)	29 (8)	46 (13)
その他	- (-)	1 (1)	1 (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
不明	4 (1)	2 (-)	4 (2)	- (-)	1 (1)	5 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)
計	37 (2)	68 (5)	67 (4)	72 (9)	57 (8)	57 (8)	49 (7)	55 (2)	35 (3)	64 (12)	55 (8)	48 (13)	44 (8)	41 (14)	57 (17)

ウ AIDS患者

区分	平成元年 ～6年まで	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
異性間	2 (1)	3 (2)	3 (1)	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	2 (-)	3 (-)	1 (-)	2 (-)	4 (-)	5 (1)	7 (5)	9 (2)
同性間	3 (1)	4 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	3 (-)	2 (-)	4 (1)	6 (1)	8 (-)	12 (-)	17 (1)	13 (-)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
不明	1 (1)	1 (1)	- (-)	3 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	2 (2)	3 (1)	5 (1)	4 (1)	2 (-)	3 (1)	9 (1)
計	4 (2)	8 (3)	3 (1)	3 (2)	2 (1)	3 (-)	3 (-)	6 (-)	7 (2)	8 (2)	13 (2)	17 (1)	19 (1)	27 (7)	32 (4)

区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
異性間	6 (2)	12 (1)	4 (2)	5 (-)	6 (-)	9 (2)	10 (3)	5 (-)	6 (1)	7 (1)	6 (-)	4 (1)	3 (1)	5 (4)	3 (1)
同性間	19 (2)	26 (-)	34 (-)	23 (-)	18 (-)	13 (1)	21 (2)	12 (2)	8 (1)	13 (-)	9 (-)	6 (3)	15 (1)	8 (1)	14 (2)
その他	- (-)	2 (-)	- (-)	1 (1)	3 (2)	- (-)	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)
不明	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	3 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (1)	4 (-)	3 (-)	2 (-)
計	26 (4)	40 (1)	38 (2)	29 (1)	29 (3)	25 (3)	32 (6)	20 (2)	15 (2)	21 (1)	16 (-)	12 (5)	23 (2)	16 (5)	19 (3)

(5) A I D S 患者指標疾病別内訳（令和5年）

指標疾病名	件数	割合
ニューモシスティス肺炎	10	35.7%
カンジダ症（食道、気管、気管支、肺）	7	25.0%
非ホジキンリンパ腫	3	10.7%
サイトメガロウイルス感染症（生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外）	3	10.7%
トキソプラズマ脳症（生後1か月以後）	1	3.6%
活動性結核（肺結核又は肺外結核）	1	3.6%
進行性多巣性白質脳症	1	3.6%
リンパ性間質性肺炎／肺リンパ過形成：L I P／P L H complex（13歳未満）	1	3.6%
H I V脳症（認知症又は亜急性脳炎）	1	3.6%
計	28	100.0%

注：件数は延べ件数

3 日本におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数（累計）

（令和5年エイズ発生動向委員会発表）

(1) H I V感染者

	男 性	女 性	合 計
異性間性的接触	3,985 (549)	1,801 (920)	5,786 (1,469)
同性間性的接触 *1	15,132 (1,217)	5 (1)	15,137 (1,218)
静注薬物濫用	79 (31)	7 (5)	86 (36)
母子感染	27 (9)	19 (9)	46 (18)
その他 *2	604 (112)	77 (35)	681 (147)
不 明	2,071 (534)	725 (584)	2,796 (1,118)
合 計	21,898 (2,452)	2,634 (1,554)	24,532 (4,006)

(2) A I D S患者

	男 性	女 性	合 計
異性間性的接触	2,848 (342)	546 (253)	3,394 (595)
同性間性的接触 *1	4,698 (272)	5 (2)	4,703 (274)
静注薬物濫用	63 (30)	7 (3)	70 (33)
母子感染	11 (1)	9 (6)	20 (7)
その他 *2	357 (42)	44 (18)	401 (60)
不 明	1,963 (464)	298 (181)	2,261 (645)
合 計 *3	9,940 (1,151)	909 (463)	10,849 (1,614)

注：（ ）内は外国国籍の再掲。

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血等に伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

(3) 死亡者報告数

ア 感染症法施行後の任意報告数（平成11年4月1日～令和5年末） 484名

イ エイズ予防法に基づく法定報告数（平成元年2月17日～平成11年3月31日）596名

(4) 血液凝固因子製剤による感染者数 *4

1,440名（男性1,422名、女性18名）

*4 「血液凝固異常症全国調査」による、令和5年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

(5) H I V感染者・A I D S患者報告件数感染経路別年次推移

(単位: 件)

区 分		60年	61年	62年	63年	平成 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	31年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	累計
総 数	異性間の性的接触	-	-	26	12	40	34	123	253	170	194	227	287	312	283	372	331	352	336	309	335	337	363	375	367	342	322	330	294	310	299	291	284	248	246	192	153	144	153	134	9,180
	同性間の性的接触	6	4	33	18	47	30	43	58	61	122	108	151	156	180	256	291	405	413	452	609	664	768	886	968	904	974	984	962	1,053	1,047	941	976	935	875	831	733	693	570	633	19,840
	静注薬物濫用	-	-	-	-	1	2	3	3	2	3	2	5	4	7	4	2	3	3	6	5	10	7	6	10	8	7	5	8	5	7	5	2	4	2	3	8	1	1	2	156
	母子感染	-	-	-	-	-	3	1	1	4	4	3	9	4	2	3	5	2	3	1	2	1	1	-	-	-	3	1	-	1	2	1	-	4	1	1	1	1	1	-	66
	その他・不明	-	1	8	6	7	6	1	7	6	6	5	9	11	4	19	22	23	14	29	31	20	55	54	42	49	55	47	26	37	35	27	39	44	35	62	54	71	46	69	1,082
	不明	-	-	2	1	6	22	67	171	120	105	101	149	160	177	177	140	168	153	179	183	167	164	179	170	149	183	162	159	184	156	169	147	154	158	147	146	147	113	122	5,057
	合 計	6	5	69	37	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	884	960	35,381
H I V	異性間の性的接触	-	-	21	6	36	26	114	232	136	148	147	169	186	179	207	169	213	203	178	200	203	223	221	220	210	195	206	180	194	179	196	170	149	157	136	96	91	100	90	5,786
	同性間の性的接触	-	-	25	12	35	20	25	44	45	77	68	102	121	134	201	218	314	329	356	468	529	604	729	779	694	744	722	724	780	789	691	735	709	670	651	543	531	443	476	15,137
	静注薬物濫用	-	-	-	-	1	1	3	3	1	1	1	1	2	5	3	1	3	1	4	3	3	4	3	5	5	3	4	5	2	3	2	1	3	-	2	5	-	-	2	86
	母子感染	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	3	8	2	1	2	3	1	3	-	1	1	1	-	-	-	3	1	-	1	1	1	-	3	1	-	1	1	1	-	46
	その他	-	-	7	5	5	4	1	6	4	2	3	4	8	2	13	10	12	5	18	20	11	40	25	29	34	38	32	18	23	24	21	23	22	24	38	34	41	32	43	681
	不明	-	-	2	-	3	13	57	156	90	68	55	92	78	101	104	61	78	73	84	88	85	80	104	93	78	92	91	75	106	95	95	82	90	88	76	71	78	56	58	2,796
	合 計	-	-	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	632	669	24,532
A I D S	異性間の性的接触	-	-	5	6	4	8	9	21	34	46	80	118	126	104	165	162	139	133	131	135	134	140	154	147	132	127	124	114	116	120	95	114	99	89	56	57	53	53	44	3,394
	同性間の性的接触	6	4	8	6	12	10	18	14	16	45	40	49	35	46	55	73	91	84	96	141	135	164	157	189	210	230	262	238	273	258	250	241	226	205	180	190	162	127	157	4,703
	静注薬物濫用	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	4	2	2	1	1	-	2	2	2	7	3	3	5	3	4	1	3	3	4	3	1	1	2	1	3	1	1	-	70
	母子感染	-	-	-	-	-	1	1	-	3	2	-	1	2	1	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	20
	その他	-	1	1	1	2	2	-	1	2	4	2	5	3	2	6	12	11	9	11	11	9	15	29	13	15	17	15	8	14	11	6	16	22	11	24	20	30	14	26	401
	不明	-	-	-	1	3	9	10	15	30	37	46	57	82	76	73	79	90	80	95	95	82	84	75	77	71	91	71	84	78	61	74	65	64	70	71	75	69	57	64	2,261
	合 計	6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291	10,849

4 本市のエイズ対策（令和5年度）

(1) エイズ対策の概要

種別	事業内容	対象	時期	説明
相談・検査	相談と無料匿名検査の実施	一般市民	通年	昼間検査（即日・通常検査） 即日：2保健センターで週1回 通常：14保健センターで月1回
		一般市民	通年	夜間検査（即日検査） ※中村保健センター（8月29日） 中保健センター（第3木）で各月1回
		一般市民	通年	土曜日検査（即日検査・委託） ※（一財）公衆保健協会（中村区）で月2回 （第1・第3土曜）
		一般市民	通年	日曜日検査（即日検査・委託） ※国際デザインセンター（中区）で月2回 （第2・第4日曜）
		一般市民	通年	平日昼間HIV通常検査に併せて梅毒検査、性器クラミジア感染症検査を無料匿名で実施
		一般市民	通年	平日昼間HIV即日検査、夜間検査（8月のみ）、土曜日検査、日曜日検査に併せて梅毒検査を無料匿名で実施
		一般市民	6月、9月、12月	国際デザインセンターにてITを活用したHIV等臨時検査会（iTesting@Nagoya）の実施 日時：6月25日（日）、9月3日（日）、12月10日（日）各10：00～16：00
	検査時におけるカウンセリングの実施	一般市民	通年	平日昼間即日HIV検査時等において、HIV相談員によるカウンセリングを実施 （平成28年度から配置）
啓発・普及	市公式サブサイト「なごやHIV・性感染症ガイド」の運営	一般市民	通年	HIV・性感染症に関する市公式サブサイトにHIV・性感染症の検査情報、基礎知識等を掲載
	リーフレット（外国語版）配布	一般市民	通年	保健センター・国際センター等で配布 ※英語、ポルトガル語等7カ国語
	リーフレット（中学生向け）配布	中学生	3月	市内全中学3年生に配布
	インターネットを利用した予防啓発	一般市民	6月	Yahoo!を利用したインターネットバナー広告等を実施
	地下鉄への予防啓発ステッカーの掲載	一般市民	8月、11月	名古屋市営地下鉄へのステッカーの掲出
	世界エイズデー関連事業 レッドリボンライブの実施	一般市民	11月	アスナル金山（中区）において、HIV/エイズの予防啓発にかかるトークライブを開催 日時：11月23日（木・祝）12：00～13：30
	デジタルサイネージでの啓発動画配信	一般市民	10月～3月	大型商業施設のデジタルサイネージで啓発動画「まずは検査、HIV」を配信 場所：イオンモール大高 及び イオンそよら上飯田 期間：R5年10月1日～R6年3月31日
	中学生向け講演会の開催	中学生	12月	市立中学校の3年生を対象にHIV/エイズや性感染症に関する講演会を開催
人材育成	HIV／エイズ基礎研修会	保健センター職員	4月	基礎知識について研修（Web開催）
	医療従事者向け講演会の実施	医療従事者等	2月	市医師会共催（Web開催）
その他	エイズ対策懇談会の開催	医療従事者・学識経験者等	3月	本市エイズ対策に関する情報提供（書面開催）

(2) エイズ相談件数・ＨＩＶ検査採血件数

	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総 数	3,606 (7,164)	320 (485)	289 (545)	320 (843)	282 (550)	395 (623)	278 (828)	301 (507)	302 (501)	310 (799)	280 (480)	260 (492)	269 (511)
千 種	52 (216)	4 (24)	5 (26)	3 (17)	6 (30)	5 (19)	6 (11)	5 (19)	2 (18)	3 (10)	4 (12)	3 (16)	6 (14)
東	87 (205)	10 (22)	6 (17)	3 (17)	7 (15)	8 (10)	6 (20)	5 (21)	8 (18)	10 (19)	6 (11)	9 (15)	9 (20)
北	52 (218)	2 (22)	5 (20)	5 (13)	2 (12)	7 (17)	5 (16)	5 (18)	5 (16)	4 (20)	4 (19)	6 (25)	2 (20)
西	78 (250)	13 (20)	7 (23)	8 (26)	8 (19)	10 (35)	4 (26)	4 (12)	7 (21)	9 (21)	4 (14)	3 (14)	1 (19)
中 村	672 (578)	48 (44)	50 (48)	56 (50)	54 (48)	92 (67)	46 (45)	50 (42)	66 (56)	65 (51)	53 (46)	51 (46)	41 (35)
中	1,373 (1,050)	113 (89)	114 (97)	117 (89)	98 (80)	124 (106)	83 (59)	139 (104)	125 (82)	115 (78)	113 (87)	103 (73)	129 (106)
昭 和	38 (238)	6 (24)	4 (29)	8 (21)	3 (21)	3 (22)	2 (21)	3 (19)	2 (24)	2 (14)	2 (14)	1 (15)	2 (14)
瑞 穂	236 (201)	23 (21)	20 (10)	26 (25)	20 (17)	27 (24)	24 (21)	18 (15)	8 (6)	20 (18)	21 (17)	13 (13)	16 (14)
熱 田	54 (242)	3 (19)	3 (16)	4 (34)	7 (25)	7 (28)	3 (13)	3 (19)	6 (17)	3 (19)	4 (14)	7 (19)	4 (19)
中 川	42 (214)	3 (17)	2 (21)	2 (20)	- (15)	6 (17)	5 (31)	4 (12)	2 (17)	5 (21)	6 (12)	4 (16)	3 (15)
港	49 (159)	6 (10)	7 (11)	4 (17)	4 (16)	5 (17)	3 (10)	2 (12)	3 (11)	3 (15)	8 (13)	2 (16)	2 (11)
南	70 (187)	5 (12)	2 (9)	4 (20)	7 (19)	11 (17)	7 (28)	4 (15)	10 (12)	5 (13)	5 (9)	6 (9)	4 (24)
守 山	31 (144)	4 (9)	4 (7)	7 (15)	1 (13)	- (6)	1 (15)	4 (18)	2 (12)	3 (15)	1 (11)	2 (11)	2 (12)
緑	374 (149)	36 (13)	31 (15)	36 (14)	33 (9)	37 (16)	48 (22)	36 (16)	24 (6)	25 (9)	22 (8)	24 (12)	22 (9)
名 東	293 (212)	33 (23)	22 (19)	24 (16)	27 (20)	42 (29)	27 (22)	13 (8)	22 (17)	24 (20)	19 (13)	19 (12)	21 (13)
天 白	38 (161)	5 (16)	2 (14)	2 (16)	2 (18)	5 (13)	5 (14)	3 (7)	3 (12)	2 (9)	3 (14)	2 (11)	4 (17)
夜 間 (中 村)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)	・ (17)
夜 間 (中)	・ (178)	・ (20)	・ (16)	・ (13)	・ (18)	・ (25)	・ (10)	・ (8)	・ (15)	・ (18)	・ (14)	・ (14)	・ (7)
日曜日	・ (770)	・ (39)	・ (74)	・ (34)	・ (77)	・ (68)	・ (70)	・ (71)	・ (73)	・ (41)	・ (79)	・ (77)	・ (67)
土曜日	・ (841)	・ (41)	・ (73)	・ (71)	・ (78)	・ (70)	・ (71)	・ (71)	・ (68)	・ (72)	・ (73)	・ (78)	・ (75)
臨時検査	・ (934)	・ (934)	・ (934)	・ (315)	・ (934)	・ (934)	・ (303)	・ (934)	・ (934)	・ (316)	・ (934)	・ (934)	・ (934)
感染症対策室	67 (934)	6 (934)	5 (934)	11 (934)	3 (934)	6 (934)	3 (934)	3 (934)	7 (934)	12 (934)	5 (934)	5 (934)	1 (934)

注： 1. () 内はエイズ検査のための採血件数

2. 中村保健センターの夜間検査は試行実施

(3) HIV検査採血件数年度別（次記(4)を除く。）

期間	採血件数		うち夜間 採血件数		うち土曜日 採血件数		うち日曜日 採血件数	
昭和62年度	42	(1)						
63年度	154	(-)						
平成元年度	140	(-)						
2年度	194	(-)						
3年度	860	(-)						
4年度	3,885	(1)						
5年度	2,936	(2)						
6年度	2,231	(2)						
7年度	1,763	(2)						
8年度	2,311	(2)						
9年度	1,617	(2)						
10年度	1,999	(1)						
11年度	1,740	(-)						
12年度	1,709	(5)						
13年度	2,506	(8)						
14年度	2,042	(9)						
15年度	2,551	(10)	609	(2)				
16年度	3,286	(12)	341	(3)			874	(2)
17年度	3,185	(14)	301	(1)			886	(5)
18年度	3,385	(16)	259	(2)			894	(4)
19年度	4,244	(14)	459	(1)			957	(4)
20年度	4,934	(21)	822	(5)			984	(5)
21年度	3,937	(14)	422	(2)	229	(1)	996	(3)
22年度	4,510	(33)	366	(6)	1,212	(7)	874	(5)
23年度	4,671	(16)	531	(3)	1,283	(3)	934	(4)
24年度	4,630	(19)	849	(5)	1,306	(1)	777	(3)
25年度	5,042	(21)	946	(3)	1,289	(2)	836	(6)
26年度	4,998	(30)	1,033	(7)	1,342	(6)	878	(8)
27年度	4,787	(15)	996	(2)	1,210	(7)	928	(3)
28年度	4,516	(14)	867	(1)	1,164	(6)	888	(2)
29年度	5,653	(13)	798	(2)	1,090	(4)	898	(4)
30年度	6,459	(23)	694	(3)	1,080	(4)	811	(8)
令和元年度	6,155	(21)	650	(2)	763	(5)	595	(1)
2年度	858	(3)	60	(-)	30	(-)	470	(3)
3年度	2,703	(8)	209	(-)	569	(3)	683	(1)
4年度	4,902	(12)	205	(1)	709	(3)	809	(4)
5年度	6,230	(20)	195	(1)	841	(2)	770	(2)

注1：（）内は陽性件数

注2：抗体検査開始は昭和63年2月（各区保健所）

注3：夜間検査は平成15年4月から千種保健所、平成19年11月から中保健所において毎月1回実施、平成24年4月から即日検査で実施

注4：千種保健センターにおける夜間検査は令和5年1月から休止（庁舎移転に伴うもの）

注5：土曜日検査は平成22年1月から中保健所において毎月2回、即日検査で実施、令和3年度から（財）公衆保健協会に委託

注6：日曜日検査は平成16年7月から青少年文化センターにおいて開始
平成17年10月から事前予約制、平成25年3月より携帯サイト予約を導入
NPO法人HIVと人権・情報センターに運営委託

注7：日曜日検査は令和元年12月から令和2年8月まで休止
令和2年9月から（財）公衆保健協会に委託して再開

(4) 臨時検査実施状況（同性愛者等対象検査会）

	令和4年度		令和5年度	
	採血件数	陽性件数	採血件数	陽性件数
iTesting@Nagoya	802	8	934	7
計	802	8	934	7

注1：名古屋医療センターに委託し実施（会場は国際デザインセンター）

注2：令和4年度、令和5年度ともに3回（6月、9月、12月）実施

(5) HIV啓発事業

ア なごやHIV・性感染症ガイド

令和3年4月からHIV・性感染症にかかる本市公式サブサイトを運用。

イ リーフレット

- ・外国人向け 英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、ハングル、及びやさしい日本語の計7ヶ国語のリーフレットを作製し、保健センター、国際センター等に設置。
- ・中学生向け 市内全中学校の3年生を対象に、エイズに関する理解促進を目的としたリーフレットを作製し配布。

ウ インターネット広告

令和5年6月にYahoo! バナー広告とテキスト広告を掲出し、臨時検査会の広報と、検査予約定員到達後は保健センター等でのHIV等検査について周知。

エ 地下鉄車両広告

令和5年8月にツインステッカーを、11月に扉ステッカーを各1か月間、全線の地下鉄（上飯田線、広告貸切電車、女性専用車両を除く）に掲出し、検査広報を実施。

オ RED RIBBON LIVE 2023

11月23日（木・祝）にアスナル金山・明日なる！広場で（株）エフエム愛知との共催により開催されたイベントにおいて、予防啓発資材の配布及び来場者アンケートを実施。

カ 成人式チラシ

成人式で配布されるチラシに、梅毒及び性器クラミジア感染症の予防啓発に関する記事を掲載。

インフルエンザ対策

Ⅲ インフルエンザ対策

令和5年/令和6年シーズンにおいては、令和5年9月4日、熱田区の南養護学校を初発として、16区、延べ1,795施設で学級閉鎖等の措置が取られた。

インフルエンザウイルスの分離については、シーズン中に措置された6施設の患者からAH3型(A 香港型)、A(H1N1)pdm09、A 亜型及びB型のウイルス遺伝子が分離された。

1 区別措置状況

区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
初 発 月 日	9/11	9/11	9/25	9/11	9/15	9/11	9/8	9/12
延べ措置施設数	125	108	102	118	78	50	97	97
区	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
初 発 月 日	9/4	9/6	9/20	9/14	9/20	9/11	9/11	9/8
延べ措置施設数	65	137	96	93	156	211	128	134

2 施設別患者数等

	延べ施設数	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	在籍者数	患者数	うち欠席者数
保育園	2	0	2	0	61	27	27
幼稚園	42	2	12	28	1,285	506	468
小学校	1,302	1	166	1,135	49,109	21,446	16,598
中学校	288	3	28	257	19,589	6,867	5,591
高 校	127	8	11	108	19,566	5,241	5,032
その他	34	0	13	21	784	298	254
計	1,795	14	232	1,549	90,394	34,385	27,970
全 国	97,037	1,633	20,095	75,309	5,299,450	1,566,913	1,356,333

注) 全国の数値は、厚生労働省のインフルエンザ様疾患発生報告(最終報: 令和6年5月17日)による。

3 検査結果

施設名	区	検査数	検体 採取日	ウイルス検出数		結果
				PCR 法	ウイルス分離	
八杜小学校	中村	8	10/5	7	7	AH3 型(A 香港型)
西山小学校	名東	3	11/1	3	1	AH3 型(A 香港型)
苗代小学校	守山	5	12/4	4	—	A(H1N1)pdm09 A 亜型
有松小学校	緑	5	1/15	4	—	A(H1N1)pdm09
原小学校	天白	4	2/1	4	—	B 型
船方小学校	熱田	5	3/4	4	—	B 型

4 過去の集団かぜ発生状況

			26年～27年		27年～28年		28年～29年		29年～30年		30年～31年		
初発			H26.10.28		H27.10.6		H28.10.13		H29.10.23		H30.9.10		
			名東区		西区		北区		名東区		北区		
			高針台中学校		山田小学校		清水小学校		高針台中学校		名北小学校		
ウイルス検査	検査実施施設	(守山区)			(西区)			(名東区)			(守山区)	(北区)名北小学校	
		白沢小学校			枇杷島小学校			藤森中学校			志段味東小学校	(名東区)平和が丘小学校	
		(南区)			(緑区)			(瑞穂区)			(南区)	(南区)大磯小学校	
		新郊中学校			南陵小学校			中根小学校			宝南小学校	(西区)中小田井小学校	
		(中川区)			(中川区)			(港区)			(北区)	(守山区)大森北小学校	
		荒子小学校			篠原小学校			中川小学校			楠西小学校	(昭和区)伊勝小学校	
		(西区)			(千種区)			(中川区)			(西区)	(中村区)諏訪小学校	
	那古野小学校			上野小学校			春田小学校			名塚中学校	(天白区)平針小学校		
							(守山区)			(北区)	(西区)山田小学校		
							二城小学校			杉村小学校			
									(昭和区)				
									松栄小学校				
分離型			インフルエンザウイルス AH3型(A香港型)		インフルエンザウイルス A(H1N1)pdm09/B型		インフルエンザウイルス AH3型(A香港型)		インフルエンザウイルス AH3型(A香港型)/ A(H1N1)pdm09/B型		インフルエンザウイルス A(H1N1)pdm09/B型		
措置発生区			16 区		16 区		16 区		16 区		16 区		
			施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	
措置数	学年・学級閉鎖	高 校	3	4	5	5	21	30	15	16	5	7	
		中学校	38	77	102	166	70	114	69	88	33	53	
		小学校	355	454	592	788	381	497	559	706	339	449	
		幼稚園	45	56	56	63	38	42	68	76	60	75	
		保育園	-	-	-	-			-	-	-	-	
		その他	1	1	6	9	5	9	2	2	4	6	
		計	442	592	761	1031	515	692	713	888	441	590	
	休校（休園）	高 校	-	-	-	-			-	-	-	-	
		中学校	-	-	-	-			-	-	-	-	
		小学校	-	-	-	-			-	-	-	-	
		幼稚園	2	10	6	34	1	6	3	14	5	23	
		保育園	-	-	-	-			-	-	-	-	
		その他	-	-	-	-			2	7	1	4	
		計	2	10	6	34	1	6	5	21	6	27	
欠席者数(人)			5,854		9,944		6,686		8,723		5,822		
最終年月日			H27.4.30		H28.4.12		H29.7.3		H30.5.14		R1.7.8		

			31年～令和2年	2年～3年		3年～4年		4年～5年		5年～6年		
初発			R1.9.9	－		－		R5.1.16		R5.9.4		
			天白区	－		－		千種区 自由ヶ丘小学校 西区 栄生小学校 瑞穂区 萩山中学校 名東区 猪子石小学校		熱田区		
			山根小学校	－		－				南養護学校		
ウイルス検査	検査実施施設	(天白区) 山根小学校 (南区) 呼続小学校 (中川区) 八熊小学校 (守山区) 瀬古小学校	新型コロナウイルス感染症発生のため、中止		新型コロナウイルス感染症発生のため、中止		新型コロナウイルス感染症発生のため、中止		(中村区) 八杜小学校 (名東区) 西山小学校 (守山区) 苗代小学校 (緑区) 有松中学校 (天白区) 原小学校 (熱田区) 船方小学校			
	分離型	インフルエンザウイルス A(H1N1)pdm09/B型							インフルエンザウイルス AH3型(A香港型)/ A(H1N1)pdm09/A亜型/B型			
措置発生区			16 区		－		－		16 区		16 区	
			施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数
措置数	学年・学級閉鎖	高 校	3	3	－	－	－	－	18	22	119	226
		中学校	42	76	－	－	－	－	22	37	285	410
		小学校	328	415	－	－	－	－	220	254	1,301	1,683
		幼稚園	34	40	－	－	－	－	20	28	40	50
		保育園	－	－	－	－	－	－	1	1	2	2
		その他	－	－	－	－	－	－	13	31	34	37
		計	407	534	0	0	0	0	294	373	1,781	2,408
	休校（休園）	高 校	－	－	－	－	－	－	－	－	8	24
		中学校	－	－	－	－	－	－	－	－	3	10
		小学校	－	－	－	－	－	－	－	－	1	6
		幼稚園	2	4	－	－	－	－	－	－	2	6
		保育園	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	2	4	0	0	0	0	0	0	14	46
欠席者数(人)			5,422		－		－		3,371		27,970	
最終年月日			R2.6.25		－		－		R5.7.18		R6.7.17	

そ の 他

IV その他

1 感染性胃腸炎の集団発生（令和5年度・感染症対策室把握分・食中毒を除く。）

(1) 施設区分別・月別（件数及び有症者数）

区分	高齢者施設		障害者福祉施設		児童・保育施設		医療機関		学校		計	
	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者
4 月	1	12	－	－	－	－	－	－	1	21	2	33
5 月	－	－	－	－	2	58	－	－	4	136	6	194
6 月	1	22	－	－	3	167	－	－	1	16	5	205
7 月	－	－	－	－	1	26	－	－	－	－	1	26
8 月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9 月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
10 月	－	－	－	－	－	－	－	－	1	18	1	18
11 月	－	－	1	10	－	－	－	－	－	－	1	10
12 月	1	17	－	－	1	15	－	－	－	－	2	32
1 月	5	142	－	－	2	62	－	－	－	－	7	204
2 月	8	152	－	－	0	0	1	9	1	10	10	171
3 月	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	2	－
計	16	345	1	10	9	328	1	9	10	201	37	893

(2) 施設区分別・区別（件数）

区分	高齢者施設	障害者福祉施設	児童・保育施設	医療機関	学校	計
千種	1	－	－	－	1	2
東	－	－	－	－	－	－
北	1	－	－	1	－	－
西	2	－	1	－	1	－
中村	2	－	1	－	－	3
中	－	－	－	－	1	1
昭和	－	－	1	－	－	1
瑞穂	1	－	1	－	－	－
熱田	－	－	1	－	－	1
中川	－	－	－	－	1	1
港	1	－	1	－	1	3
南	2	1	－	－	3	6
守山	2	－	1	－	－	－
緑	3	－	－	－	1	－
名東	－	－	1	－	1	2
天白	1	－	1	－	－	2
計	16	－	9	－	10	22

2 浸水被害発生状況（令和5年度）

令和5年度は、本市内の公共的な場所において浸水被害の発生はなかった。

3 疫学調査等実施件数（令和5年度）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症等の発生に伴う疫学調査の実施状況等を示したものである。

			千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
三類感染症関係疫学調査実施状況（人数）	コ レ ラ	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	国内	3	4	6	4	3	2	9	-	1	10	1	1	7	9	2	4	66
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸チフス	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パラチフス	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	国内	3	4	6	4	3	2	9	-	1	10	1	1	7	9	2	4	66
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四類感染症	件数		14	2	1	3	8	1	3	4	3	8	9	4	-	7	2	2	71
五類感染症	件数		4	3	-	1	5	3	3	3	1	6	5	7	3	4	2	3	53

注1：感染症法上の届出が提出された事例又は疑い事例で実施した疫学調査件数を計上（五類感染症は感染性胃腸炎等の調査件数を含む）。

注2：令和5年度は一類感染症及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。

参 考 資 料

感染症発生動向調査事業の月別主要トピックス

令和5年2月分《麻しん・風しん～予防には予防接種が効果的、早めに接種して感染を防ぎましょう～》

★麻しん（はしか）について

麻しんは、発しんや発熱を主な症状とする病気です。通常の風邪とは異なり、肺炎や脳炎などを起こして重症化する確率が高く、昔は多くの方が亡くなっていました。現在でも、麻しんにかかると、500～1000人に1人が亡くなるといわれています。多くの人が予防接種を受けているため、麻しんにかかる人は少なくなっていますが、感染力はインフルエンザよりもずっと強く、免疫が無い状態で患者と接触すると、ほとんどの人が感染してしまいます。大学入学や海外への留学などの際に、麻しんに対する免疫をもっていることの証明書が必要となることもあります。

★風しん（三日ばしか）について

風しんは、発しん、リンパ節腫脹、発熱を主な症状とする病気です。大人になってからかかると重症化しやすく、また、妊娠中の方が妊娠早期にかかると、子どもに白内障、心疾患、難聴などの先天異常が起こる可能性が高くなります（先天性風しん症候群）。近年、免疫を持っていない成人男性の間に風しんが流行することがあり、妊婦へ感染させてしまうことが問題となっています。

（1）麻しん・風しん（MR第1期・第2期）定期予防接種について

区 分	対 象 年 齢
第1期	1歳以上2歳未満（2歳の誕生日の前日まで）
第2期	小学校就学前年度（令和5年4月に小学校入学予定の方） ※令和4年度は平成28年4月2日から平成29年4月1日生まれの方 ＊接種期間：令和5年3月31日まで＊

（2）風しん（第5期）抗体検査及び予防接種について

第5期	抗 体 検 査	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（1回のみ）
	予 防 接 種	抗体検査の結果、風しんに対する抗体値が不十分だと判断された、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（1回のみ）

※いずれの定期予防接種（第5期の抗体検査含む）も無料で接種することができます。

（参考）過去4年間の麻しん・風しん報告数

年 次	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年※	
	麻しん	風しん	麻しん	風しん	麻しん	風しん	麻しん	風しん
本 市	10	27	0	7	0	0	0	0
全 国	744	2,298	10	101	6	12	6	15

※令和4年第1週～52週診断分の暫定値

令和5年5月分《ヘルパンギーナ（水疱性咽頭炎） ～報告数増加～》

ヘルパンギーナ（水疱性咽頭炎）は、コクサッキーウイルスA群を主な原因とする感染症です。潜伏期間は3～5日であり、乳幼児に多く、例年、夏から初秋にかけて流行するため注意が必要です。

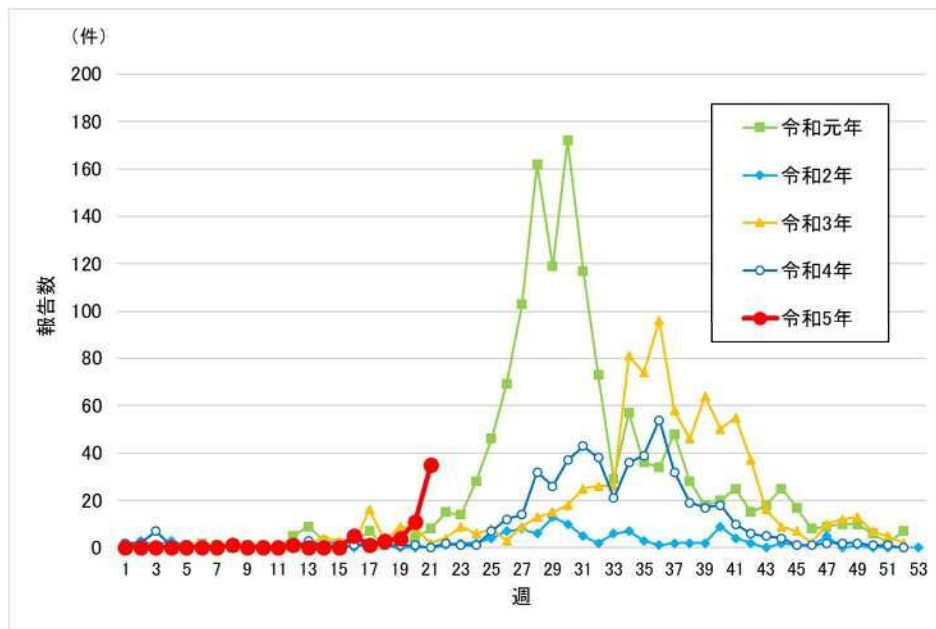
感染経路は、くしゃみ等の飛沫による感染のほか、汚染された手や飲食物を介して感染することもあります。

主な症状は、口腔内の水疱、発熱及び咽頭痛です。水疱が破れると痛みが生じ、食事や水分が十分にとれず、脱水症になることがあるため、食事がとりにくい場合は、熱いものや固いものは避け、水分補給を心がけましょう。

令和5年第18週から第21週までの市内報告数は53件で、過去5年間の中で最も多い報告数となっています。引き続き、今後の発生動向を注視する必要があります。

治療は対症療法が中心となるため、予防が重要です。症状がおさまった後も、2～4週間程度は便などにウイルスが排泄されるため、患者との接触を避け、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前などの手洗いを徹底しましょう。

ヘルパンギーナ報告数の推移（名古屋市）



《RS ウイルス感染症 ～報告数増加～》

RS ウイルス感染症は、RS ウイルスによる呼吸器の感染症です。感染後、典型的には4～5日間の潜伏期間を経て発症し、発熱、鼻汁、咳等の症状が1週間程度続きます。特に生後数週から数か月の期間は重症化リスクの高い感染症です。1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%が初感染するとされています。RS ウイルスは生涯にわたって感染を繰り返し、幼児期や成人の再感染はよくみられます。成人では通常は感冒様症状のみですが、RS ウイルスに感染した小児を看護する保護者等では、一度に大量のウイルスに曝露して感染することによって、症状が重くなる場合があります。

令和5年第1週～第21週の市内報告数は、3歳以下の割合が約87%となっています。5月期の市内報告数は212件で前月期の約2.4倍に増加しており、注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染や、ウイルスがついた手指や物品（ドアノブ等）を触ることによる接触感染です。

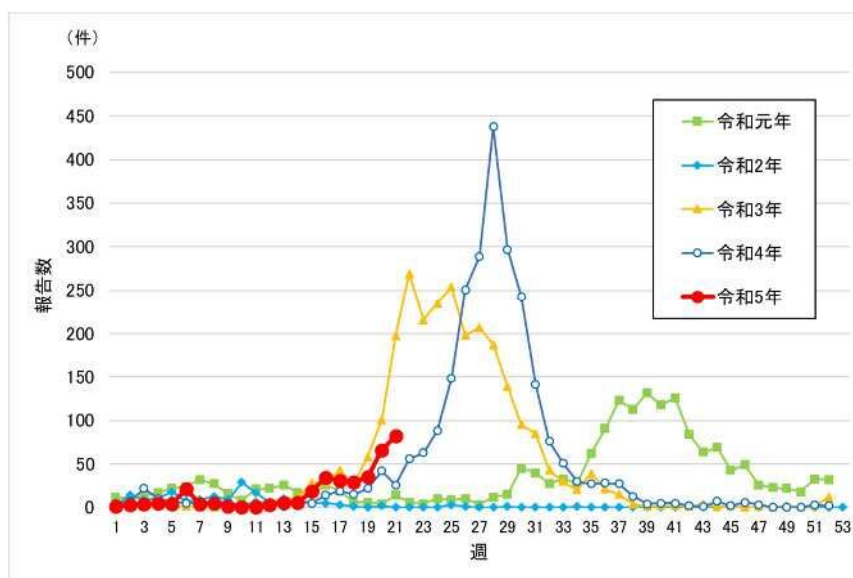
RS ウイルス感染症には特効薬はなく、対症療法を行います。咳等の呼吸器症状のある場合は、マスクを着用して周囲への感染を防ぎましょう。おもちゃや手すり等はこまめにアルコール等で消毒し、流水と石けんによる手洗いをを行い、感染を防ぎましょう。

なお、新生児、乳児及び幼児に対する予防方法として、モノクローナル抗体製剤であるパリビズマブの投与があります。RS ウイルス感染症の流行初期に投与し始めて流行期も引き続き1か月毎に筋肉注射することにより、重篤な下気道炎症状の発症の抑制が期待できます。投与対象患者は以下の方です。

- ・ 在胎期間 28 週以下の早産で、12 カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・ 在胎期間 29～35 週の早産で、6 カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・ 過去 6 カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた 24 カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
- ・ 24 カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児
- ・ 24 カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児
- ・ 24 カ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児及び幼児*
- ・ 24 カ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児及び幼児*

*本剤の添付文書では、投与に際しては学会等から提唱されているガイドライン等を参考とし、個々の症例ごとに本剤の適用を考慮すること、とされています。

RS ウイルス感染症報告数の推移（名古屋市）



令和5年9月分《インフルエンザ ～予防と早めの治療を心がけましょう～》

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。感染すると、1～3日間の潜伏期間を経て、38℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛などの症状が出現します。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴です。

高齢者や幼児、妊婦、持病のある方は重症化する場合があるので特に注意が必要です。該当する方はかかりつけ医と相談のうえ、インフルエンザの予防接種をご検討ください。

今シーズンは例年の同時期よりも患者報告数が多く、名古屋市内でも患者報告数の増加が見られますので、予防と早めの治療を心がけましょう。また、感染を広げないためにも、咳エチケットを守りましょう。

名古屋市内におけるインフルエンザの流行状況や学級閉鎖の実施状況等の情報は、本市ウェブサイトに掲載していますので、ご参照ください。

(URL : <https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0-0-0.html>)

○予防するには

- ・人ごみ等への不要不急な外出を控え、帰宅時には手洗いをしましょう。
- ・バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠をとり、体調を整えましょう。

○早めの治療

- ・かかったかなと思ったら、かかりつけの医療機関に相談しましょう。
- ・安静にして、十分な休養をとり、水分を補給しましょう。

○感染を広げないために

- ・感染を広げないためにも、『咳エチケット』を守りましょう。

～『咳エチケット』とは～

◎咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。

◎鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにフタ付きのゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。

◎症状のある人はマスクを正しく着用し、周囲への感染防止に努めましょう。

《参考》

○インフルエンザの出席停止期間の基準（学校保健安全法）

- ・発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで。
- ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。

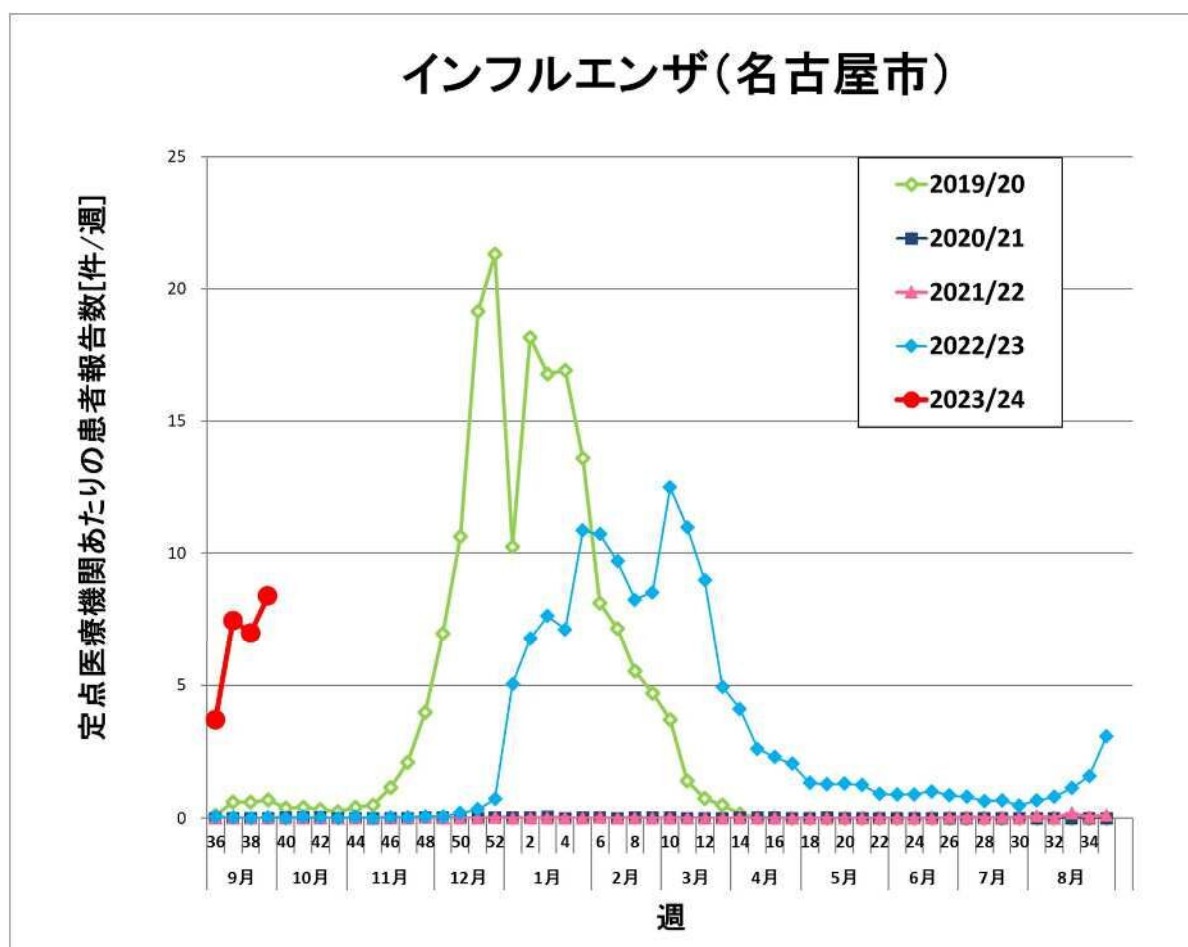
(1) 定点医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数（過去3週分）

	名古屋市	愛知県 (本市を含む)	全国 (愛知県を含む)
定点医療機関数	70	195	約 5,000
2023 年第 37 週 (9/11-9/17)	7.43	9.55	7.03
2023 年第 38 週 (9/18-9/24)	6.96	8.54	7.09
2023 年第 39 週 (9/25-10/1)	8.37	9.51	9.57

※ 定点医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数が「1」を超えると**流行入り**、「10」を超えると**注意報**、「30」を超えると**警報**の基準となっています。

※ **注意報**または**警報**の基準を超えると愛知県が「インフルエンザ注意報」または「インフルエンザ警報」を発令します。

(2) 名古屋市の定点医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数（直近5年分）



《咽頭結膜熱（プール熱）～例年同時期よりも報告数が増加しています～》

咽頭結膜熱は、アデノウイルスにより引き起こされる感染症です。潜伏期間は5～7日で、幼児から学童に多く流行します。水遊びやプールを介して流行することが多いため「プール熱」とも呼ばれています。しかし、飛沫感染や接触感染でも感染するので、プールに入らない子どもでも注意が必要です。例年、夏季にかけて感染のピークとなる傾向がありますが、今年は例年同時期よりも患者報告数が増加しています。

主な症状は、発熱、のどの痛み、扁桃炎、結膜炎、鼻炎です。通常の風邪に比べて、発熱期間が長く、4～5日間高熱（39～40度）が続くことがあります。

感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染や、感染した人が使用したタオル（目やに・涙液を含むため）を共用することによる接触感染で、プールを介した場合は、汚染した水により結膜から感染することがあります。

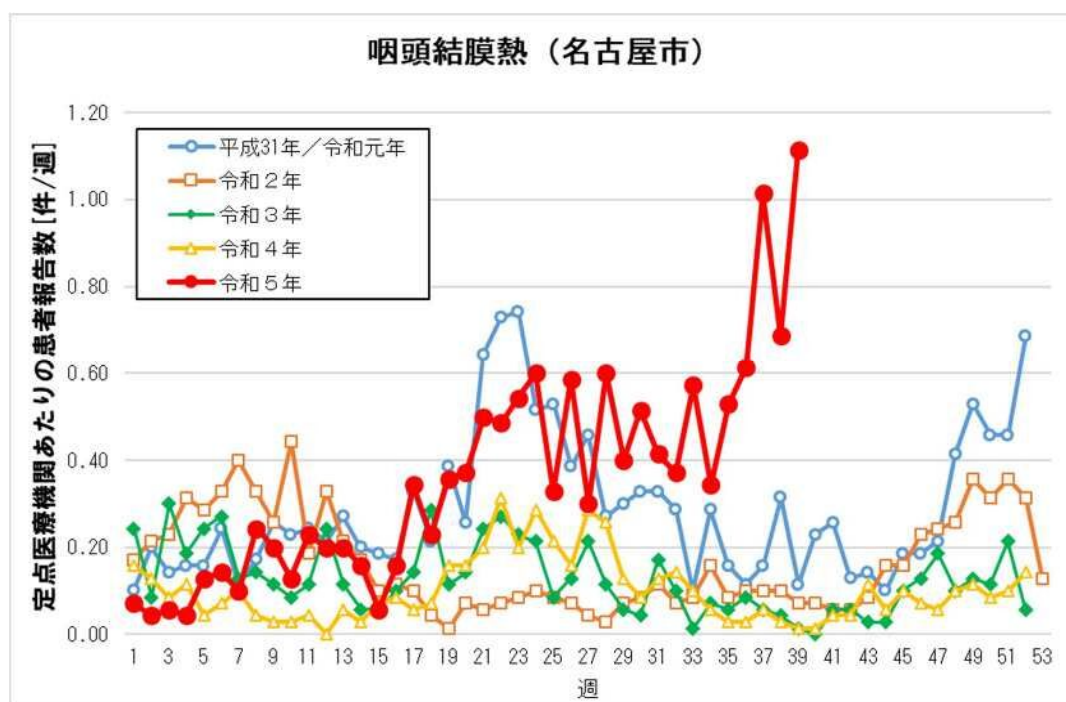
予防法としては、流水とせっけんによる手洗い・うがいを行い、感染した人との密接な接触は避けましょう（タオルなどは別に使いましょう）。また、プールからあがったときは、シャワーをよく浴びましょう。

アデノウイルスは他にも、流行性角結膜炎などを引き起こす場合があります。流行性角結膜炎は、主に目の充血・痛み、目やにがよく出るなど、結膜炎症状を起こすことが特徴です。感染経路や予防法は咽頭結膜熱と同様です。

○咽頭結膜熱の出席停止期間の基準（学校保健安全法）

発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後2日を経過するまで。

ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。



令和5年10月分《ダニ媒介感染症 ～山や草むらでの野外活動の際は、マダニに注意しましょう～》

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことです。人が野外作業、農作業やレジャー等で、ダニの生息場所に立ち入ると、ダニに刺されることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、刺された人が病気を発症することがあるため注意が必要です。主なダニ媒介感染症は、以下のとおりです。

（１）日本紅斑熱

日本紅斑熱はリケッチアの一種であるリケッチア・ジャポニカ (*Rickettsia japonica*) を保有するマダニに刺されることで感染します。潜伏期は2～8日で、症状は頭痛、発熱、倦怠感があります。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。後述するつつが虫病との臨床的な鑑別は困難ですが、発疹が体幹部より四肢末端部に比較的強く出現する（つつが虫病では主に体幹部にみられる）、つつが虫病に比べ、刺し口の中心の痂皮（かさぶた）部分が小さいなどの特徴があります。検査所見としてCRPの上昇、血清酵素（AST、ALT）の上昇、血小板の減少などが挙げられます。感染した場合は、早期にテトラサイクリン系などの抗菌薬を投与することが極めて重要です。

日本紅斑熱の報告件数（件）

	令和3年	令和4年	令和5年 (11月1日までの速報値)
名古屋市	2	0	1
愛知県 (名古屋市を含む)	7	5	8
全国	490	457	452

（２）重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

主に重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS）ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。感染すると6～14日で発熱や消化器症状（食欲低下、嘔吐、腹痛、下痢など）を生じ、ときに頭痛、筋肉痛、神経症状や出血症状などを伴います。血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素（AST、ALT、LDH）の上昇が認められます。致死率は10～30%程度とされていますが、有効な薬剤やワクチンはなく、治療は対症療法を取ります。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告件数（件）

	令和3年	令和4年	令和5年 (11月1日までの速報値)
名古屋市	0	1	0
愛知県 (名古屋市を含む)	1	1	1
全国	110	118	127

(3) つつが虫病

つつが虫病はつつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を保有するツツガムシ (ダニの一種) に刺されることによって感染します。潜伏期は5～14日で、発症すると全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などが出現します。体温は段階的に上昇し、数日で40℃に達することもあります。刺し口は皮膚の柔らかい隠れた部分に多く、刺し口の所属リンパ節は発熱する前頃から次第に腫脹します。第3～4病日より不定型の発疹が出現しますが、発疹は顔面、体幹に多く四肢にはあまりみられません。テトラサイクリン系の有効な抗菌薬による治療が適切に行われると劇的に症状の改善がみられます。一方で、重症になると肺炎や脳炎症状を起こします。北海道を除く全国で発生がみられます。発生時期は春から初夏及び晩秋から冬ですが、媒介ツツガムシの生息地域によって異なります。

つつが虫病の報告件数 (件)

	令和3年	令和4年	令和5年 (11月1日までの速報値)
名古屋市	1	3	0
愛知県 (名古屋市を含む)	16	17	2
全国	544	492	127

(4) その他のダニ媒介感染症

その他のダニ媒介感染症には、一類感染症のクリミア・コンゴ出血熱や四類感染症の回帰熱、ダニ媒介脳炎、ライム病などがありますが、いずれも名古屋市内での発生事例はありません。

○予防するには

- ・マダニの活動は春から秋にかけて盛んになりますが、寒い時期でも注意しましょう。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン (シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴 (サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが重要です。
- ・服は、明るい色のもの (マダニを目視で確認しやすい) がおすすめです。
- ・屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認して下さい。特に、脇の下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部 (髪の毛の中) などがポイントです。

○マダニに刺された場合

- ・マダニの多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間 (数日から、長いものは10日間以上) 吸血しますが、刺されたことに気が付かない場合も多いと言われています。吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医療機関 (皮膚科) で処置 (マダニの除去、洗浄など) をしてもらってください。
- ・マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

HIV／性感染症検査アンケート結果 令和5(2023)年度実施分

<方法>

令和5年度に実施された平日昼間検査（各区保健センター）、平日夜間検査（中村、中保健センター）、土曜日検査及び日曜日検査の各 HIV／性感染症検査（平日夜間検査は HIV 検査のみを実施）において調査票が回収された延べ6,340人を対象として集計を行った。集計は検査時間帯別に、平日昼間、平日夜間、土曜日、日曜日の4区分で行い、平日夜間については中村及び中保健センターの集計結果を再掲した。各検査時間帯のアンケート回答者数、検査件数及び回収割合は表1の通りである。回答者数はすべて延べ人数である。アンケートに回答したが検査を受けなかった者も存在するため、アンケート回答者数が検査件数を上回る場合がある。

表1. 検査時間帯・性別－回答者数（延べ人数）

	回答者数（人）					検査件数	回収割合（%）
	全体	男性	女性	その他	無回答		
平日昼間	4,529	3,256	1,221	21	31	4,424	100.0
平日夜間	196	146	48	1	—	195	100.0
（再掲）中村夜間	17	13	3	—	1	17	100.0
（再掲）中夜間	179	133	45	4	2	178	100.0
土曜日	845	719	120	4	7	841	100.0
日曜日	770	626	133	30	41	770	100.0
全体	6,340	4,747	1,522	30	41	6,230	100.0

※アンケート回答者の中に検査を受けなかった者が存在するため、回答者数が検査件数を上回る場合がある。

なお、回収割合が100%を超える場合も「100%」と表示している。

※一部の検査会場では実施しなかった質問がある。そのため、回答者数が上表とは異なる質問が存在する。

<結果>

1. 各質問の集計結果

問1. 性別

回答者全体の性別内訳は、男性74.9%、女性24.0%、その他0.5%であった。検査時間帯別にみると、男性の割合は土曜日が85.1%で最も高く、以下は日曜日が81.3%、平日夜間が74.5%、平日昼間が71.9%の順であった。

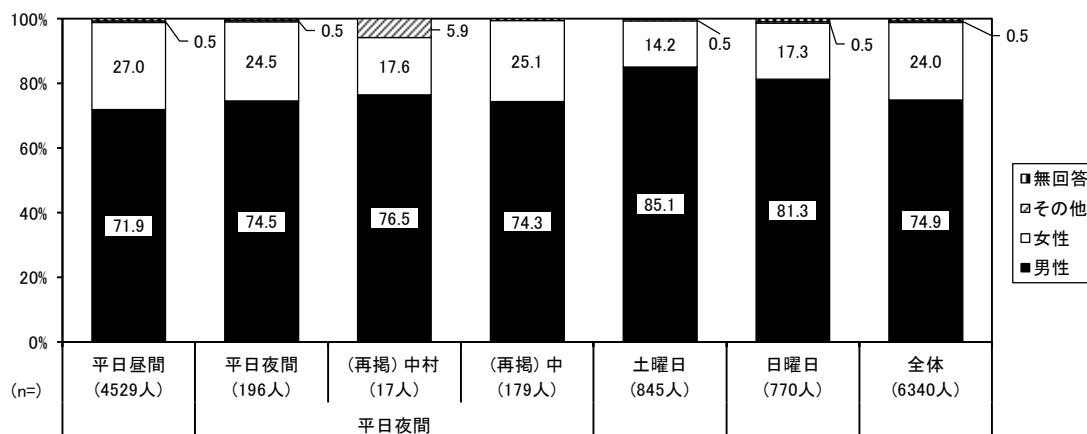


図1. 検査時間帯別－回答者の性別

問 2. 年齢層

30 歳代以下の割合は、回答者全体の 64.1%であった。検査時間帯別にみると、30 歳代以下の割合は平日夜間が 78.1%で最も高く、以下は土曜日が 66.4%、日曜日が 64.8%、平日昼間が 63.0%の順であった。

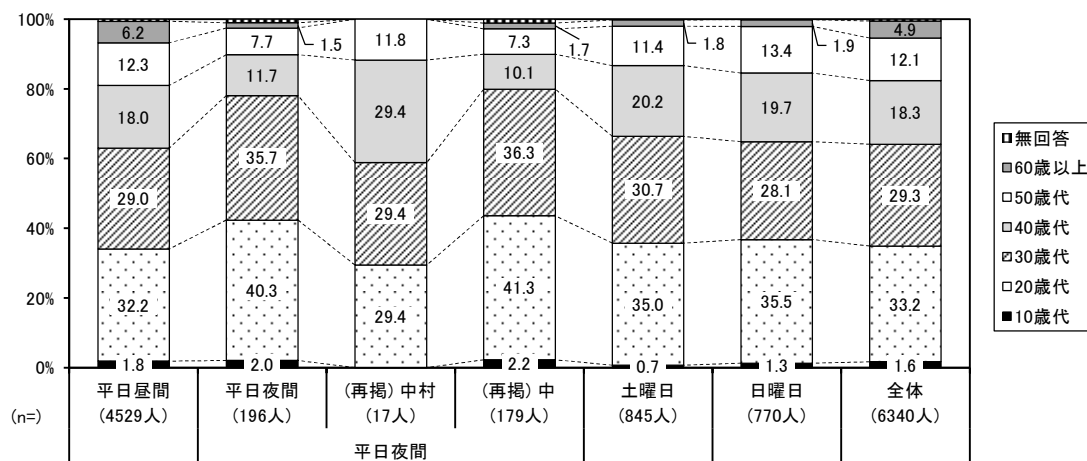


図 2. 検査時間帯別－回答者の年齢層

回答者の年齢層について、経年変化を図 3 に示した。30 歳代以下の割合は、平成 30 年度から 4 年連続で上昇していたが、令和 4 年度・令和 5 年度と 2 年連続で低下した。令和 5 年度における 30 歳代以下の割合は 64.1%であり、前年度の 66.5%と比べて 2.4 ポイント低下した。

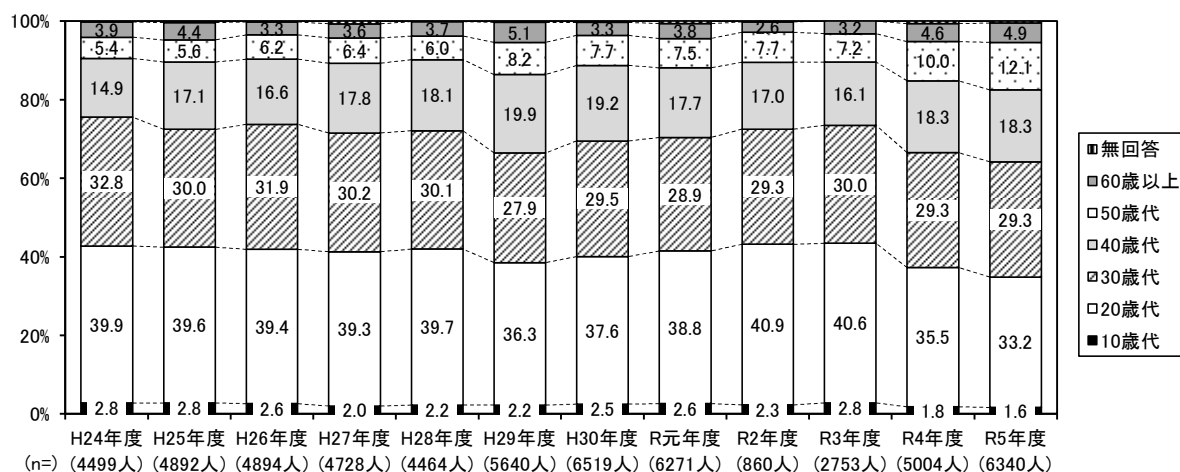


図 3. 経年変化－回答者の年齢層

(年齢層別にみた性別構成割合)

年齢層別に回答者の性別構成割合をみると、10歳代では男性の割合が51.5%であったが、年齢層が高くなるにつれて男性の割合が上昇し、60歳以上では92.3%が男性であった。

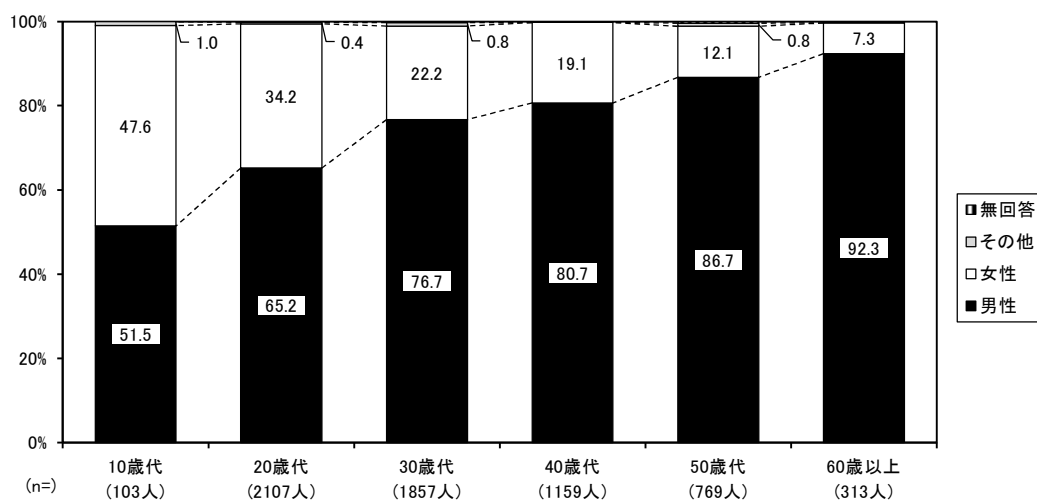


図 4. 年齢層別－回答者の性別構成割合

(性・年齢層別にみた令和5年度と令和4年度の回答者数)

令和5年度のアンケート回答者数は6,340人であり、前年度の5,004人より1,336人(26.7%)増加した。年齢層別にみると、回答者数はすべての年齢層において前年度より増加した。男女別にみても、回答者数はすべての年齢層において前年度より増加した。

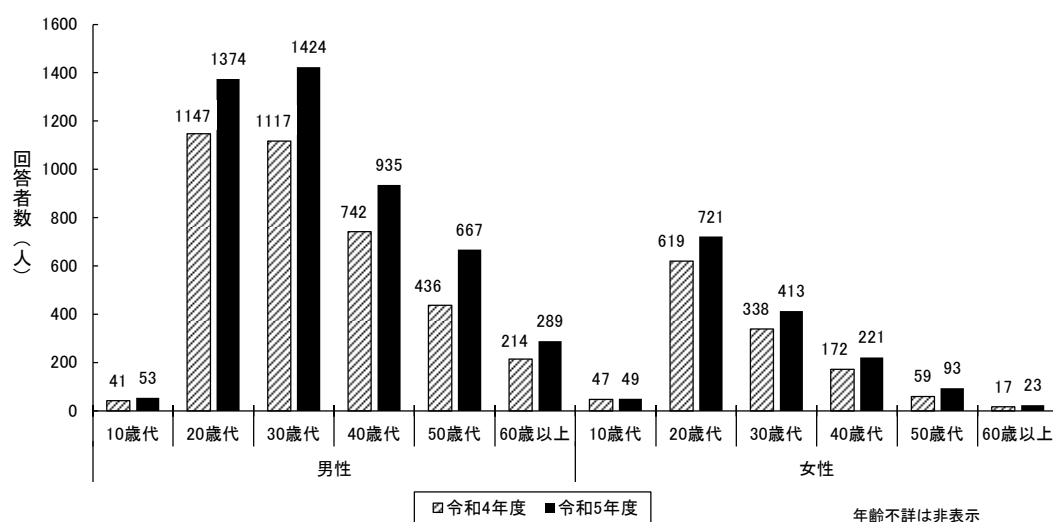


図 5. 性・年齢層別－令和5年度と令和4年度の回答者数

問 3. 居住地

回答者全体に占める名古屋市内在住者の割合は 68.0%で、前年度の 66.4%から 1.6 ポイント上昇した。検査時間帯別にみると、市内在住者の割合は平日昼間が 72.1%で最も高く、以下は平日夜間が 65.3%、日曜日が 60.4%、土曜日が 53.6%の順であった。愛知県外在住者の割合は、土曜日が 11.1%で最も高く、以下は日曜日が 7.9%、平日夜間が 7.7%、平日昼間が 3.7%の順であった。

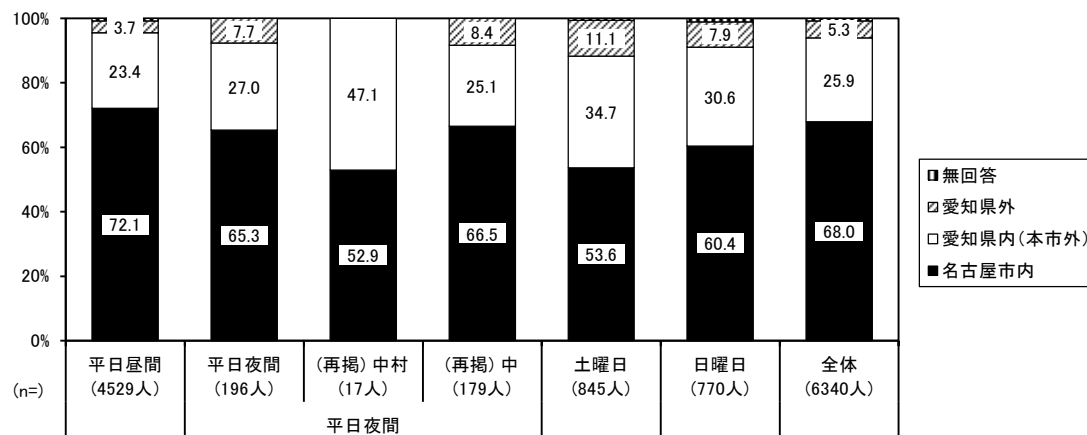


図 6. 検査時間帯別－回答者の居住地

問 4. 今回の検査を知った情報源

回答者全体では、「名古屋市ホームページ」と回答した人が 76.5%で最も多く、以下は「友人・知人」が 7.0%、「市役所等への電話照会」が 5.5%の順であった。各検査時間帯とも「名古屋市ホームページ」が最も多かった。

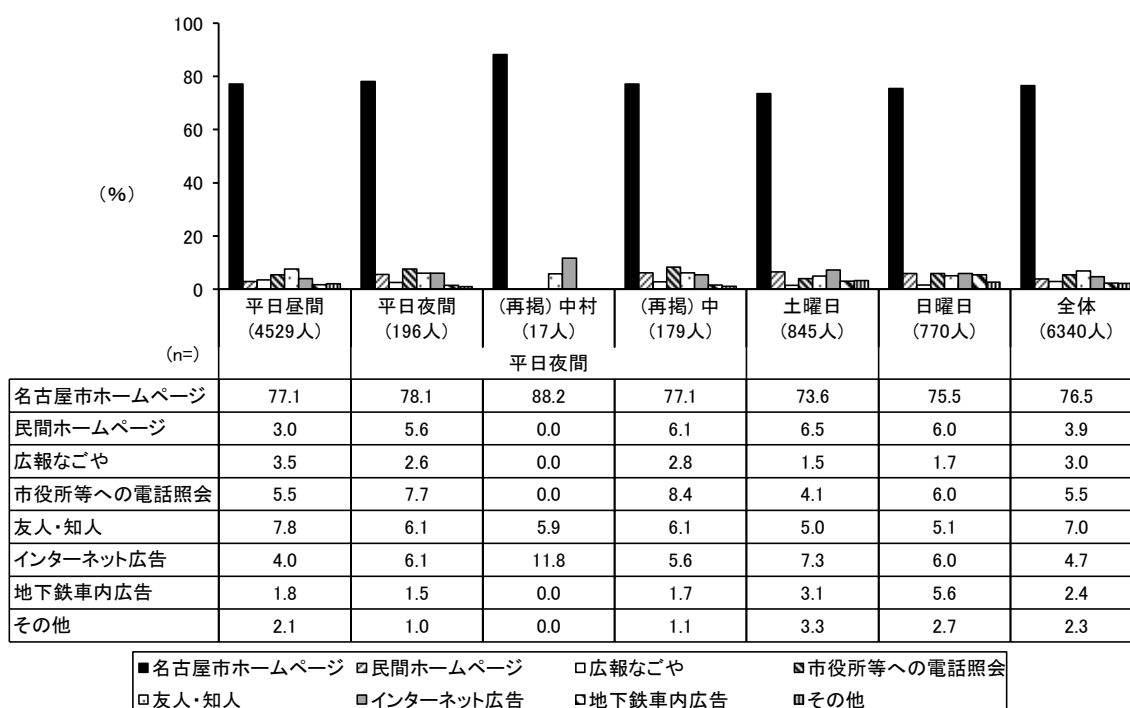


図 7. 検査時間帯別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

今回の検査を知った情報源を年齢層別にみると、すべての年齢層で「名古屋市ホームページ」が最も多かった。2番目に多かった情報源は、10～30歳代では「友人・知人」、40歳代では「民間ホームページ」、50歳代では「インターネット広告」、60歳以上では「広報なごや」であった。

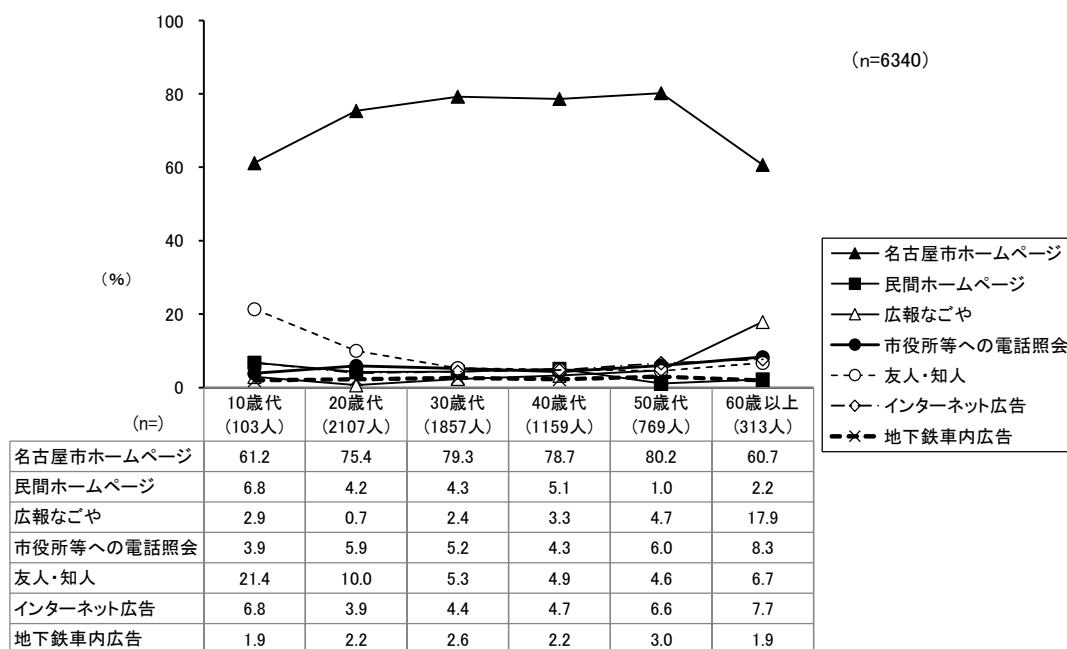


図 8. 年齢層別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

問 5. 今回の検査を受けた理由

回答者全体をみると、「ただ単に感染の有無を知りたいから」が 70.3%で最も多く、以下は「HIV*の情報に触れて感染が心配になったから」が 23.2%、「定期的に検査を受けているから」が 18.5%の順であった。「身近な人（パートナーなど）が HIV*に感染していることがわかったから」は 4.3%であった。

*：平日夜間検査以外の調査票では「HIV／性感染症」という表記になっている。

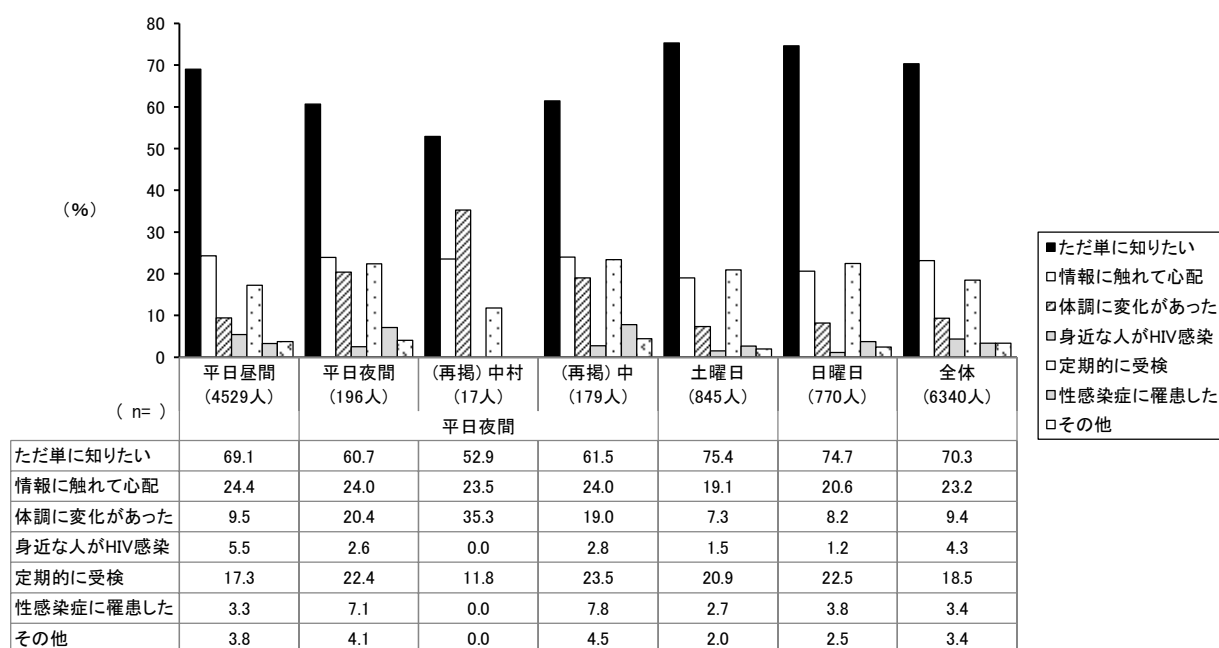


図 9. 検査時間帯別－今回の検査を受けた理由（複数選択可）

問 6. 感染が心配な出来事

回答者全体をみると、感染が心配な出来事は「異性間性的接触」が 82.2% で最も多く、次いで「同性間性的接触」が 15.4% であった。「同性間性的接触」の割合を検査時間帯別にみると、平日夜間が 25.5% で最も高く、以下は土曜日が 23.6%、日曜日が 21.6%、平日昼間が 12.4% の順であった。

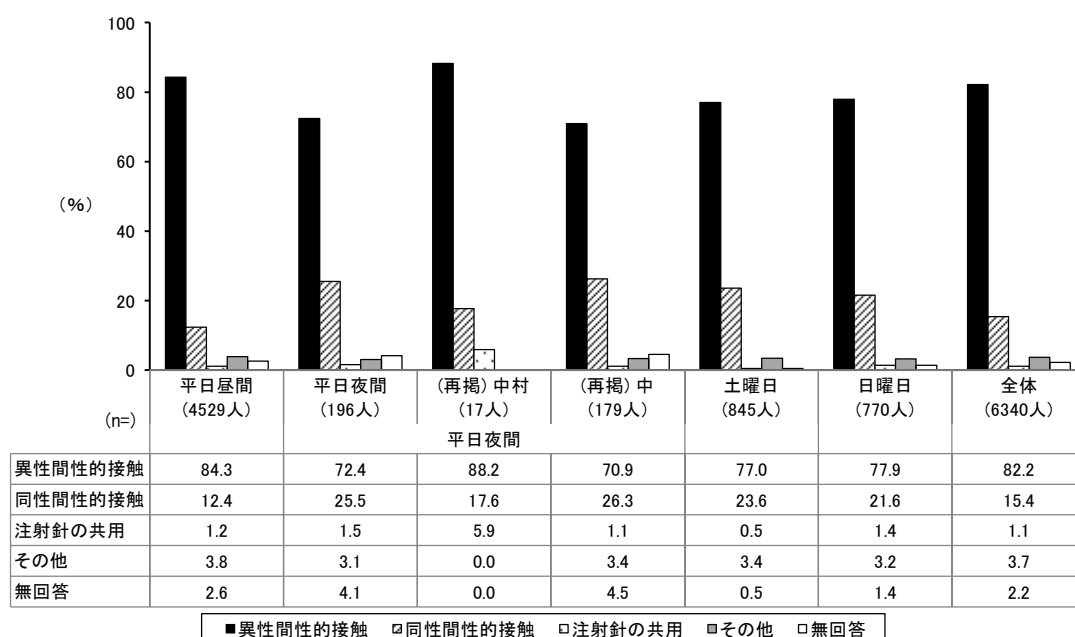


図 10. 検査時間帯別－感染が心配な出来事（複数選択可）

男性を対象に、「異性間性的接触」・「同性間性的接触」のそれぞれに回答した割合を年齢層別に集計した。「同性間性的接触」と回答した割合は男性の 19.6% であった。「同性間性的接触」と回答した割合を年齢層別にみると、10 歳代が 34.0% で最も高く、高齢になるほど割合が低下していた。

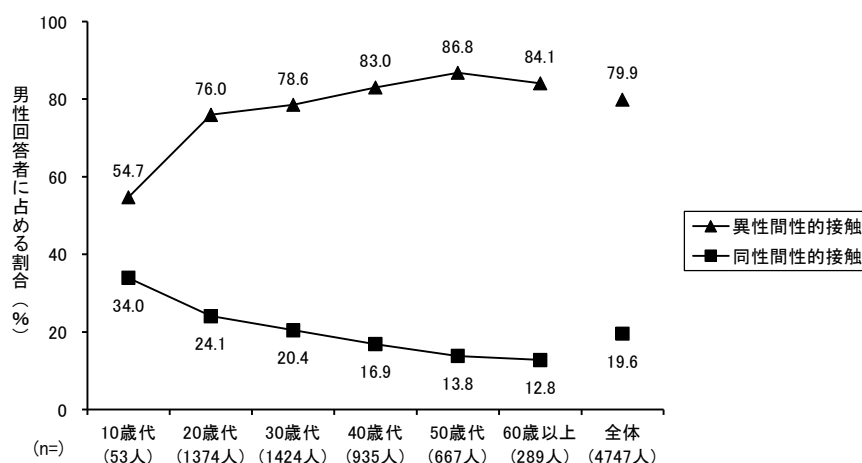


図 11. 男性の年齢層別－感染が心配な出来事（複数選択可）

(回答者に占める男性同性愛者の割合)

性別で「男性」を選択し、かつ感染が心配な出来事として「同性間性的接触」を選択した者を男性同性愛者（MSM: men who have sex with men）と定義し、集計を行った。令和5年度の回答者全体のうちMSM該当者は929人であり、前年度より257人増加した。回答者全体に占めるMSMの割合は14.7%で、前年度より1.3ポイント上昇した。

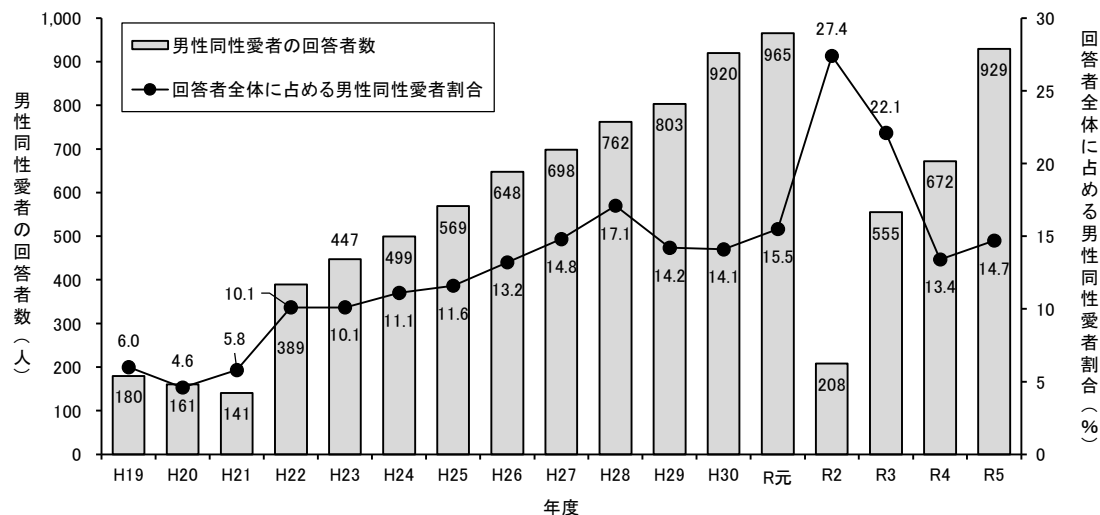


図 12. 回答者全体に占める男性同性愛者の人数及び割合

問 7. 感染が心配な出来事を経験した場所

回答者全体でみると、感染が心配な出来事を経験した場所は、「国内」が 93.6%、「国外」が 3.7%、「わからない」が 1.3%であった。「国外」の割合は、平日夜間が 5.6%で最も高く、以下は平日昼間が 3.8%、日曜日が 3.1%、土曜日が 2.8%の順であった。

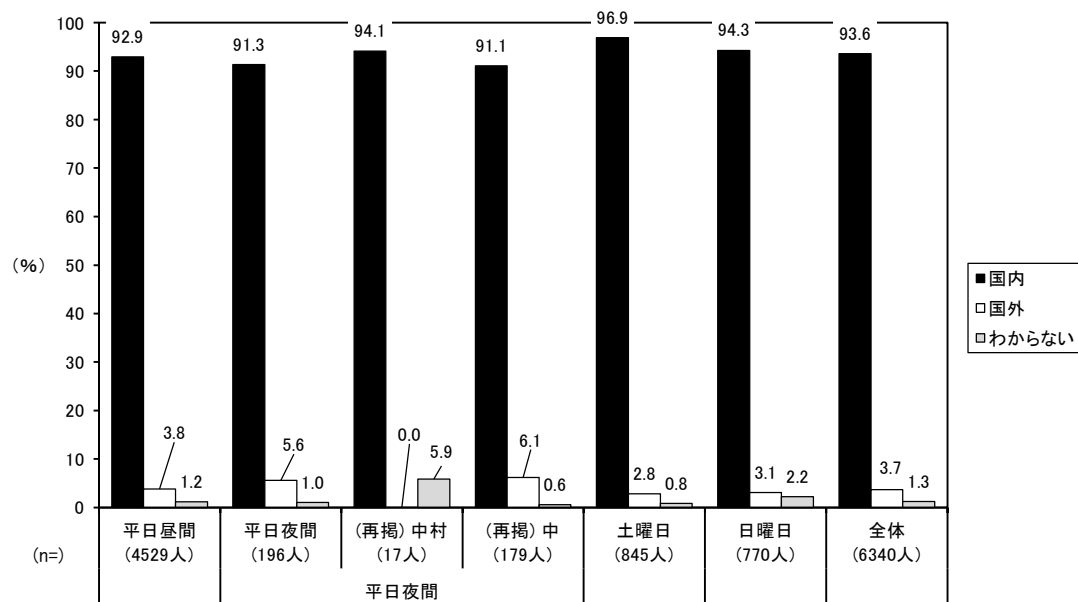


図 13. 検査時間帯別－感染が心配な出来事を経験した場所

問 8. 感染が心配な出来事からの経過期間

回答者全体でみると、「2 か月以内」は 29.7%、「2 か月～3 か月」は 21.4%、「3 か月以上」は 46.1%であった。ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満に該当した人（「2 か月以内」または「2 か月～3 か月」と回答した人）は回答者全体の 51.0%であった。3 か月未満の割合を検査時間帯別にみると、平日昼間が 52.9%で最も高く、以下は土曜日が 49.6%、日曜日が 45.5%、平日夜間が 36.7%の順であった。

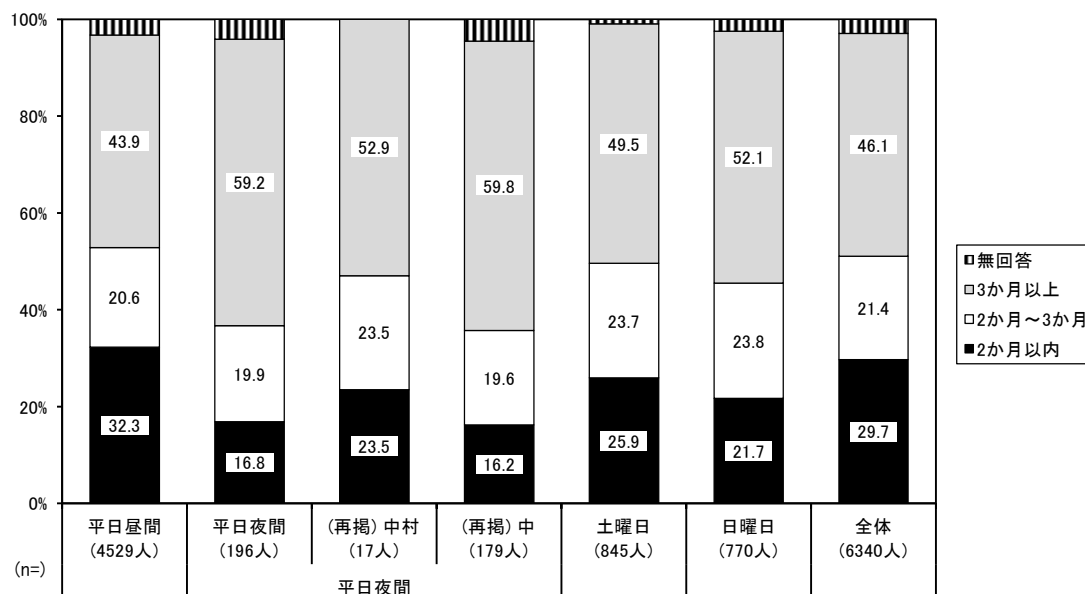


図 14. 検査時間帯別－感染が心配な出来事からの経過期間

感染が心配な出来事からの経過期間を年齢層別にみると、ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満の割合は 10 歳代が 55.3%で最も高く、以下は 20 歳代が 53.9%、40 歳代が 50.9%の順であった。

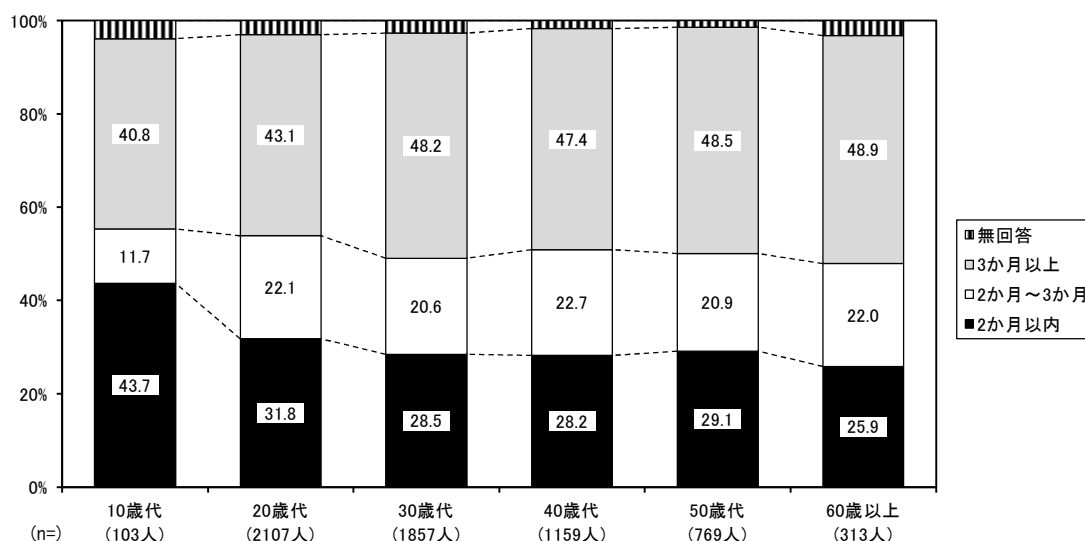


図 15. 年齢層別－感染が心配な出来事からの経過期間

問 9. 過去の HIV／性感染症検査の受検経験

過去（今回を含まない）の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、回答者全体では、受検経験が「ない」人は 41.5%、「ある」人は 57.5%であった。受検経験が「ない」人の割合は、平日昼間が 43.4%で最も高く、以下は平日夜間と土曜日が 37.2%、日曜日が 35.7%の順であった。

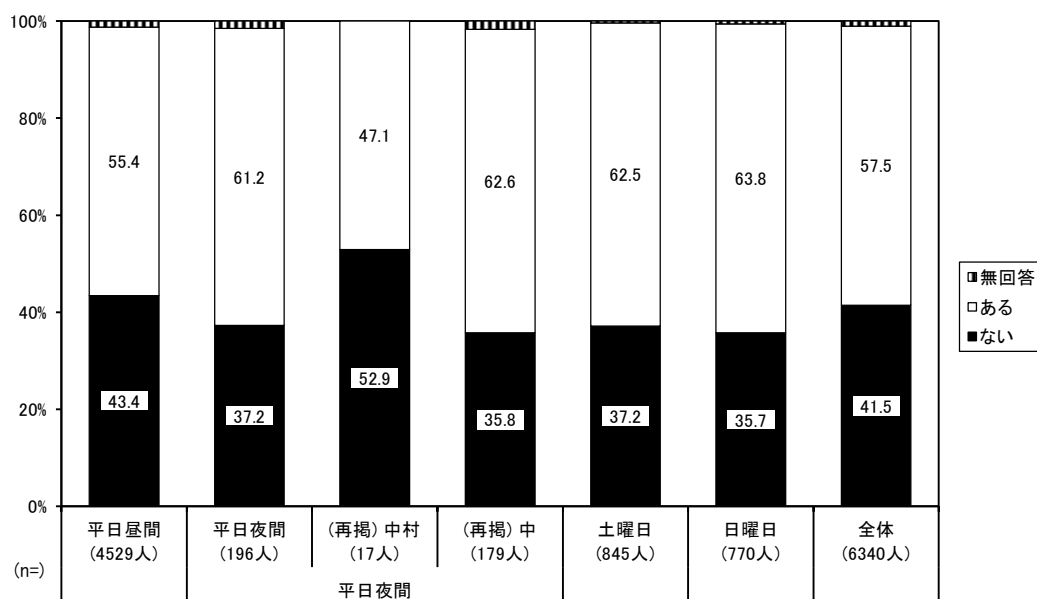


図 16. 検査時間帯別－過去の HIV／性感染症検査の受検経験

年齢層別に過去の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、受検経験が「ない」人の割合は 10 歳代が 83.5%で最も高く、以下は 20 歳代が 53.6%、30 歳代が 37.1%の順であった。

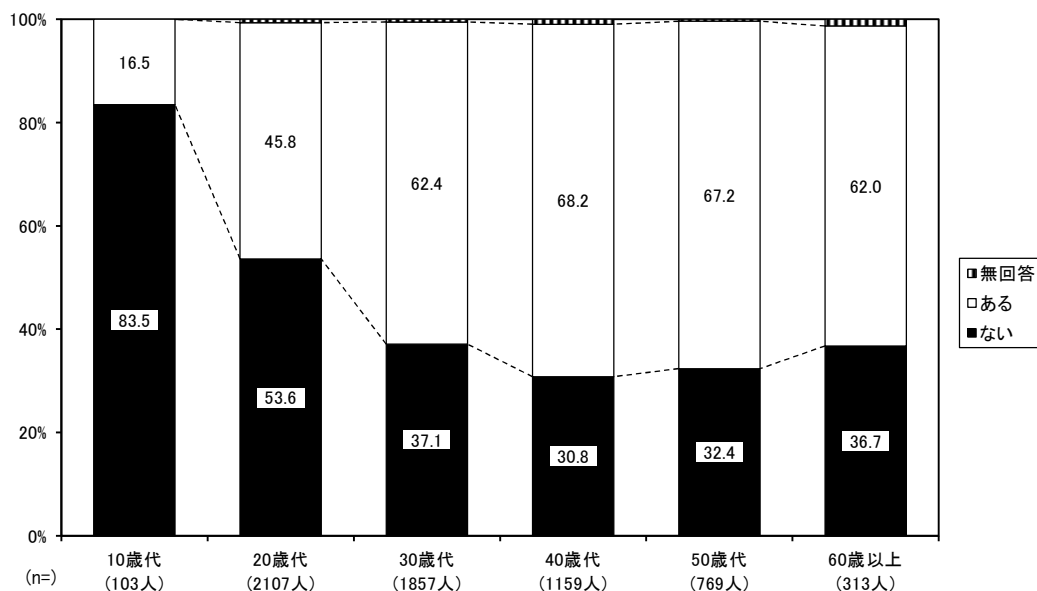


図 17. 年齢層別－過去の HIV／性感染症検査の受検経験

問 10-1. 最近 1 年以内の HIV／性感染症検査の受検経験

過去に HIV／性感染症検査を受けたことが「ある」と回答した 3,647 人を対象に、最近 1 年以内の受検経験を尋ねたところ、2,291 人（62.8%）が「ある」と回答した。すなわち、回答者全体（6,340 人）のうち、36.1%が最近 1 年以内に受検経験していた計算になる。

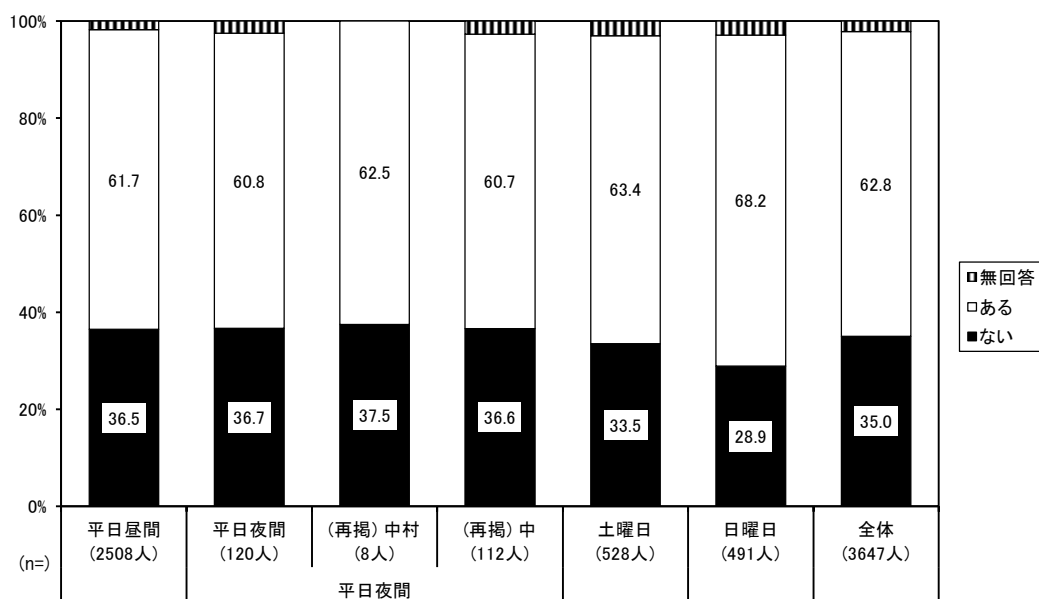


図 18. 検査時間帯別－最近 1 年以内の受検経験（過去に受検経験がある人を対象に集計）

問 10-2. 最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けた場所

最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けたことがある 2,291 人を対象に、HIV／性感染症検査を受けた場所を尋ねたところ、回答者全体では「平日昼間」が 48.0%で最も多く、以下は「医療機関」が 33.6%、「土曜日」と「日曜日」が 13.6%の順であった。

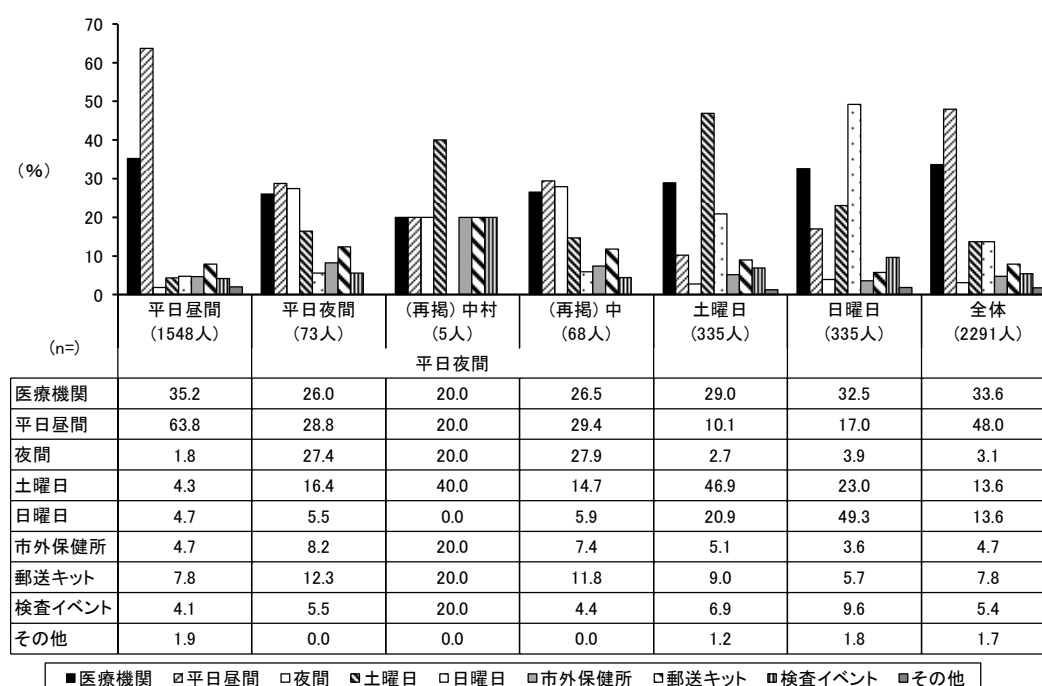


図 19. 検査時間帯別－最近 1 年以内に受検した場所（複数選択可）
（最近 1 年以内に受検経験がある人を対象に集計）

問 10-3. 最近 1 年以内に受けた HIV／性感染症検査の検査項目

最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けたことがある 2,291 人を対象に、受けた検査項目を尋ねたところ、回答者全体では「HIV」が 88.9%で最も多く、以下は「梅毒」が 83.8%、「クラミジア」が 55.7%の順であった。

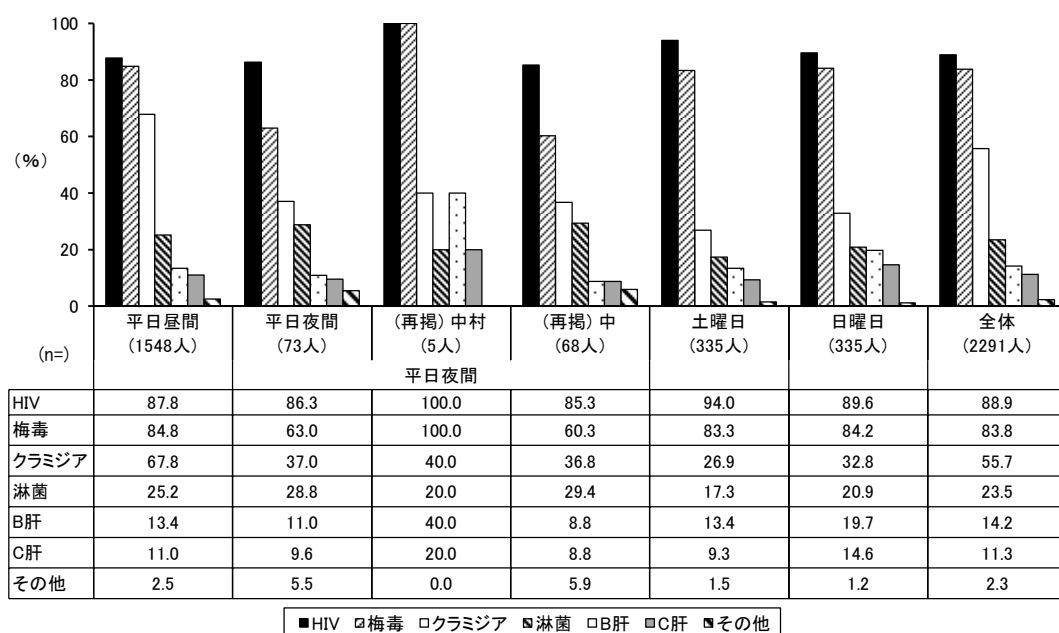


図 20. 検査時間帯別－最近 1 年以内に受検した検査項目（複数選択可）
（最近 1 年以内に受検経験がある人を対象に集計）

問 11. 梅毒・性器クラミジア感染症の既往歴

性感染症検査の会場には、梅毒検査のみを行う検査会場（A 会場）と、梅毒及び性器クラミジア感染症検査を行う検査会場（B 会場）が存在する。梅毒に関する質問は A 会場及び B 会場の両会場で実施され、性器クラミジア感染症に関する質問は B 会場のみで実施された。梅毒及び性器クラミジア感染症に関する質問の回答者数は表 2 及び表 3 のとおりである。

表 2. 梅毒に関する質問の回答者数（延べ人数）

(単位 人)								
性別	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上 無回答
男性	4,614	(74.9)	51	1,326	1,373	918	657	286 3
女性	1,477	(24.0)	47	696	399	220	90	23 2
その他	30	(0.5)	1	8	15	—	6	—
無回答	40	(0.6)	—	3	5	3	3	1 25
全体	6,161	(100.0)	99	2,033	1,792	1,141	756	310 30

表 3. 性器クラミジア感染症に関する質問の回答者数（延べ人数）

(単位 人)								
性別	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上 無回答
男性	2,075	(71.5)	26	563	570	402	325	188 1
女性	782	(26.9)	35	334	217	116	60	19 1
その他	20	(0.7)	—	6	11	—	3	—
無回答	26	(0.9)	—	1	—	1	2	— 22
全体	2,903	(100.0)	61	904	798	519	390	207 24

梅毒及び性器クラミジア感染症の既往歴有無を尋ねたところ、既往歴がある人の割合は梅毒が6.2%、性器クラミジア感染症が18.9%であった。

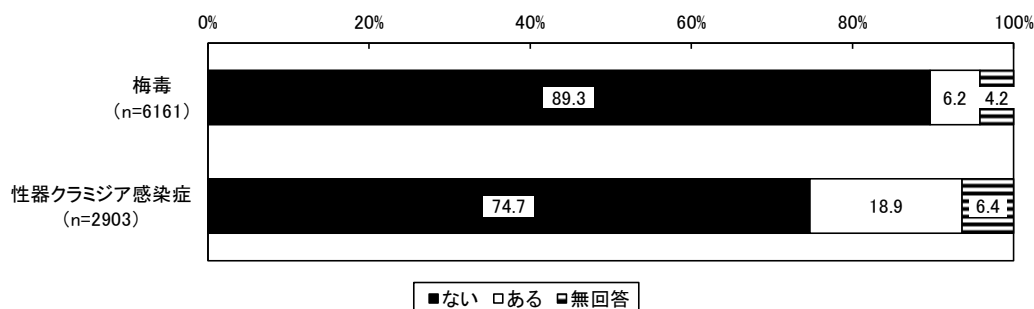


図 21. 梅毒及び性器クラミジア感染症の既往歴

梅毒検査と性器クラミジア感染症検査では検査件数が異なるため、両者は回答者数が異なる。

問 12. 性器クラミジア感染症検査について(排尿時間、月経)

性器クラミジア感染症検査は、排尿から1時間以上経過していない場合や月経中の場合に、検査結果が正確に出ないことがある。最後の排尿から1時間以上経過していない人は11.5%であった。また、現在月経中の人(女性のみを集計)は9.1%であった。

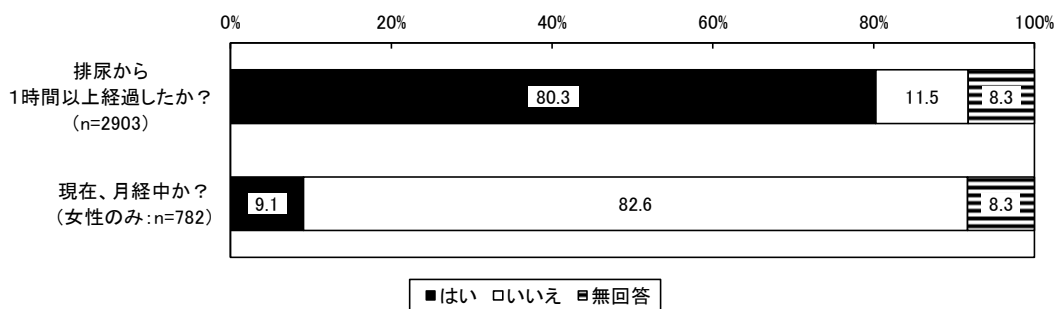


図 22. 排尿からの経過時間及び月経に関する回答

2. 男性同性愛者と非男性同性愛者の比較

性別で「男性」を選択し、かつ感染が心配な出来事として「同性間性的接触」を選択した男性を男性同性愛者(MSM)、「同性間性的接触」以外を選択した男性を非男性同性愛者(非MSM)と定義して、MSMと非MSMの回答結果を比較した。MSMは929人(男性の19.6%)、非MSMは3,733人(男性の78.6%)であった。

表 4. 年齢層及びMSM・非MSM別にみた男性回答者数(延べ人数)

	(単位 人)							
	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男性同性愛者(MSM)	929	(19.6)	18	331	291	158	92	37
非男性同性愛者(非MSM)	3,733	(78.6)	29	1,020	1,106	767	567	241
不詳	85	(1.8)	6	23	27	10	8	11
男性全体	4,747	(100.0)	53	1,374	1,424	935	667	289

男性同性愛者(MSM)；感染が心配な出来事に関する質問で「同性間性的接触」を選択した男性

非男性同性愛者(非MSM)；感染が心配な出来事に関する質問で「同性間性的接触」以外を選択した男性

不詳；感染が心配な出来事に関する質問に無回答の男性

年齢構成をみると MSM は 20 歳代、非 MSM は 30 歳代が最も多かった。30 歳代以下の割合は、MSM が 68.9%、非 MSM が 57.7%であり、MSM の方が 11.2 ポイント高かった（図 23 左）。

居住地をみると、名古屋市内在住者の割合は MSM が 62.6%、非 MSM が 68.3%であり、非 MSM の方が 5.7 ポイント高かった（図 23 右）。

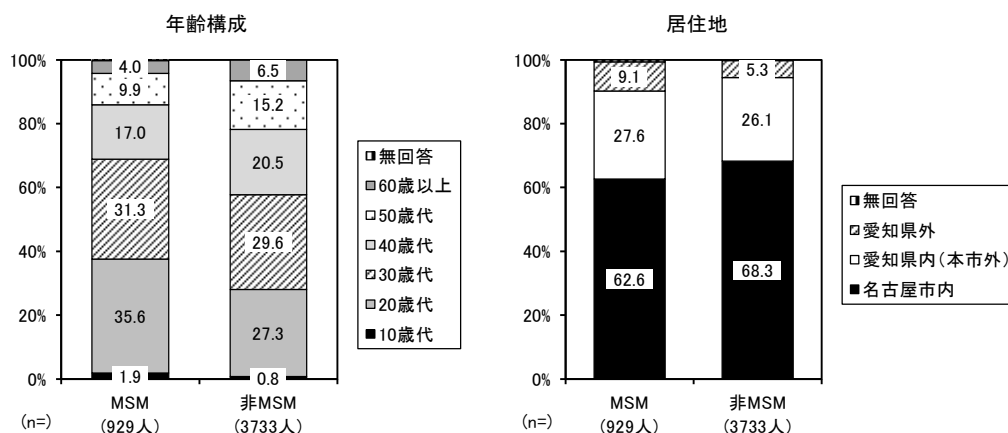


図 23. MSM・非 MSM 別一年齢構成及び居住地

今回の検査を知った情報源は、MSM、非 MSM ともに「名古屋市ホームページ」が 70%以上で最も多かった。以下は、MSM では「民間ホームページ」が 8.1%、「友人・知人」が 7.8%の順であり、非 MSM では「友人・知人」が 5.3%、「市役所等への電話照会」が 5.0%の順であった。

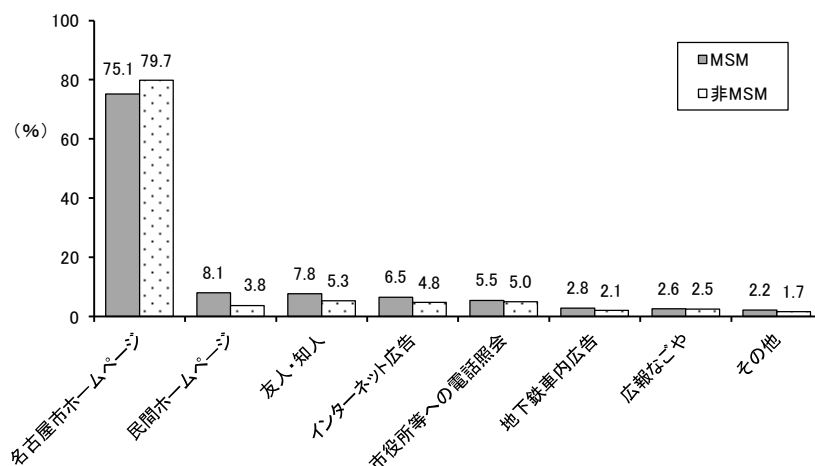


図 24. MSM・非 MSM 別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

感染が心配な出来事を経験した場所をみると、「国内」は MSM が 97.1%、非 MSM が 94.9%であり、MSM の方が 2.2 ポイント高かった（図 25 左）。

感染が心配な出来事からの経過期間をみると、ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満の割合は、MSM が 46.3%、非 MSM が 53.3%であり、非 MSM の方が 7.0 ポイント高かった（図 25 右）。

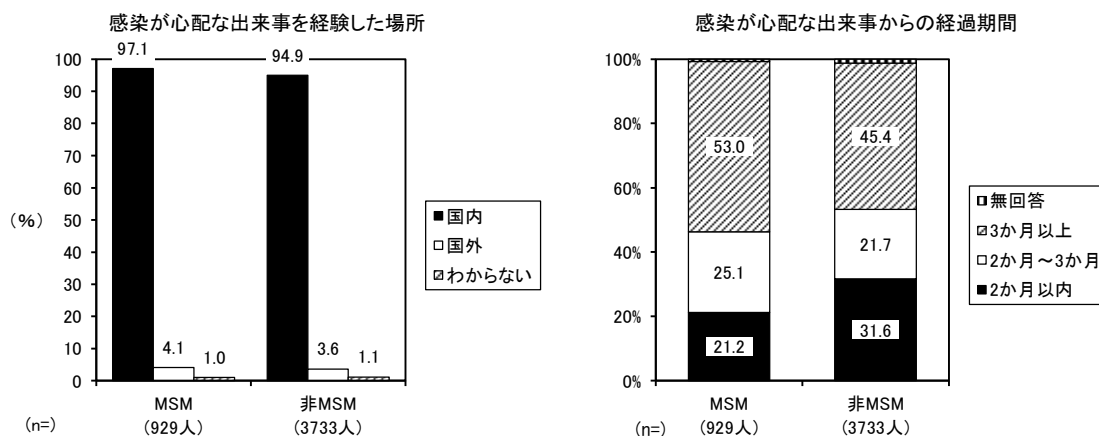


図 25. MSM・非MSM 別－感染が心配な出来事を経験した場所（複数選択可）及び経過期間

過去の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、受検経験が「ある」人の割合は、MSM が 79.2%、非MSM が 54.8%であり、MSM の方が 24.4 ポイント高かった（図 26 左）。

過去に HIV／性感染症検査を受検したことが「ある」と回答した人（MSM：736 人、非MSM：2,047 人）を対象に、最近 1 年以内の受検経験を尋ねたところ、受検したことが「ある」人の割合は、MSM が 66.7%、非MSM が 61.4%であり、MSM の方が 5.3 ポイント高かった（図 26 右）。最近 1 年以内に受検したことがある人の割合を、回答者全体（MSM：929 人、非MSM：3,733 人）を母数として算出すると、MSM が 52.9%、非MSM が 33.6%であり、MSM の方が 19.3 ポイント高かった。

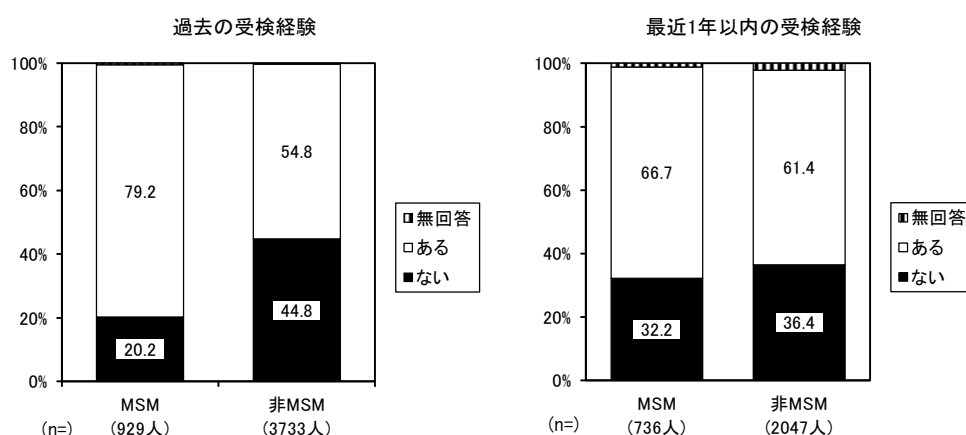


図 26. MSM・非MSM 別－HIV／性感染症検査の受検経験

右上図（最近 1 年以内の受検経験）については、過去に受検経験がある人を母数として割合を算出した。

<まとめ>

- ・ 各年齢層とも、名古屋市ホームページから検査の情報を得た人の割合が最も高かった。
- ・ 回答者全体のうち、MSM の割合は 14.7%で、前年度より 1.3 ポイント上昇した。
- ・ 感染が心配な出来事からの経過期間が 3 か月未満（ウインドウ期間に相当）であった人は、回答者全体の 51.0%であった。特に 10 歳代では 55.3%が 3 か月未満に受検していた。
- ・ 回答者全体のうち、過去に HIV／性感染症検査を受けたことがある人は 57.5%であった。
- ・ 回答者全体のうち、梅毒の既往歴がある人は 6.2%、性器クラミジア感染症の既往歴がある人は 18.9%であった。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 男性(3256人, 71.9%) | 2. 女性(1221人, 27.0%) |
| 3. その他(21人, 0.5%) | 無回答(31人, 0.7%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 10代(83人, 1.8%) | 2. 20代(1459人, 32.2%) | 3. 30代(1312人, 29.0%) |
| 4. 40代(813人, 18.0%) | 5. 50代(555人, 12.3%) | 6. 60代以上(280人, 6.2%) |
| | | 無回答(27人, 0.6%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 名古屋市(3264人, 72.1%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(1062人, 23.4%) |
| 3. 愛知県外(167人, 3.7%) | 無回答(36人, 0.8%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(3493人, 77.1%) | 2. 民間ホームページ(138人, 3.0%) |
| 3. 広報なごや(160人, 3.5%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(251人, 5.5%) |
| 5. 友人・知人(351人, 7.8%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(181人, 4.0%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(80人, 1.8%) | |
| 8. その他(94人, 2.1%) | 無回答(55人, 1.2%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。(複数回答可)

- | | |
|---|----------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (3128人, 69.1%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (1103人, 24.4%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (428人, 9.5%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (248人, 5.5%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (782人, 17.3%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (150人, 3.3%) |
| 7. その他 | (171人, 3.8%) |
| 無回答 | (46人, 1.0%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(3820人, 84.3%) | 2. 同性との性的接触(561人, 12.4%) |
| 3. 注射針の共用(53人, 1.2%) | 4. その他(174人, 3.8%) |
| | 無回答(117人, 2.6%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 国内(4208人, 92.9%) | 2. 国外(173人, 3.8%) |
| 3. わからない(54人, 1.2%) | 無回答(162人, 3.6%) |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(1461人, 32.3%) | 2. 2か月～3か月(933人, 20.6%) |
| 3. 3か月以上(1987人, 43.9%) | 無回答(148人, 3.3%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. ない(1966人, 43.4%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(2508人, 55.4%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(55人, 1.2%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：2,508 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(915 人, 36.5%) 2. ある(1548 人, 61.7%) 無回答(45 人, 1.8%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：1,548 人】

1. 医療機関(545 人, 35.2%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(987 人, 63.8%) 平日夜間(28 人, 1.8%)
 土曜日(66 人, 4.3%) 日曜日(73 人, 4.7%)
3. 名古屋市以外の保健所(72 人, 4.7%)
4. 郵送検査キット(121 人, 7.8%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (64 人, 4.1%)
6. その他(30 人, 1.9%)
無回答(14 人, 0.9%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：1,548 人】

1. HIV(1359 人, 87.8%) 2. 梅毒(1313 人, 84.8%)
3. クラミジア(1050 人, 67.8%) 4. 淋菌感染症(390 人, 25.2%)
5. B型肝炎ウイルス(207 人, 13.4%) 6. C型肝炎ウイルス(171 人, 11.0%)
7. その他(39 人, 2.5%) 無回答(16 人, 1.0%)

※問 11-2 および問 12 については、性器クラミジア感染症検査を実施する会場においてのみ実施した。

問 11. 既往歴について

11-1 これまでに梅毒にかかったことはありますか。【回答者：4,529 人】

1. ない(4043 人, 89.3%) 2. ある(265 人, 5.9%) 無回答(221 人, 4.9%)

11-2 これまでに性器クラミジア感染症にかかったことはありますか。【回答者：2,903 人】

1. ない(2168 人, 74.7%) 2. ある(549 人, 18.9%) 無回答(186 人, 6.4%)

問 12. 性器クラミジア感染症検査について【回答者：2,903 人】

12-1 最後の排尿から1時間以上経過していますか。

1. はい(2330 人, 80.3%)
2. いいえ (検査結果が正確に出ないことがあります) (333 人, 11.5%)
無回答(240 人, 8.3%)

12-2 現在、月経ですか。(女性のみ回答ください。)(回答者：782 人)

1. はい (検査結果が正確に出ないことがあります) (71 人, 9.1%)
2. いいえ(646 人, 82.6%)
無回答(65 人, 8.3%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV 検査を受けられる方へ

今回は、HIV 検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV 検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 男性(146人, 74.5%) | 2. 女性(48人, 24.5%) |
| 3. その他(1人, 0.5%) | 無回答(1人, 0.5%) |

問2. 年代

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 10代(4人, 2.0%) | 2. 20代(79人, 40.3%) | 3. 30代(70人, 35.7%) |
| 4. 40代(23人, 11.7%) | 5. 50代(15人, 7.7%) | 6. 60代以上(3人, 1.5%) |
| | | 無回答(2人, 1.0%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 名古屋市内(128人, 65.3%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(53人, 27.0%) |
| 3. 愛知県外(15人, 7.7%) | 無回答(0人, 0.0%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(153人, 78.1%) | 2. 民間ホームページ(11人, 5.6%) |
| 3. 広報なごや(5人, 2.6%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(15人, 7.7%) |
| 5. 友人・知人(12人, 6.1%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(12人, 6.1%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(3人, 1.5%) | |
| 8. その他(2人, 1.0%) | 無回答(2人, 1.0%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (119人, 60.7%) |
| 2. HIVの情報にふれて感染が心配になったから | (47人, 24.0%) |
| 3. 体調に変化があり、HIVの感染が心配になったから | (40人, 20.4%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIVに感染していることがわかったから | (5人, 2.6%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (44人, 22.4%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (14人, 7.1%) |
| 7. その他 | (8人, 4.1%) |
| 無回答 | (1人, 0.5%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 異性との性的接触(142人, 72.4%) | 2. 同性との性的接触(50人, 25.5%) |
| 3. 注射針の共用(3人, 1.5%) | 4. その他(6人, 3.1%) |
| | 無回答(8人, 4.1%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 国内(179人, 91.3%) | 2. 国外(11人, 5.6%) |
| 3. わからない(2人, 1.0%) | 無回答(6人, 3.1%) |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 2か月以内(33人, 16.8%) | 2. 2か月～3か月(39人, 19.9%) |
| 3. 3か月以上(116人, 59.2%) | 無回答(8人, 4.1%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV検査/性感染症検査を受けたことがありますか。

- | |
|------------------------------|
| 1. ない(73人, 37.2%)→ (問11へ進む) |
| 2. ある(120人, 61.2%)→ (問10へ進む) |
| 無回答(3人, 1.5%) |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：120 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(44 人, 36.7%) 2. ある(73 人, 60.8%) 無回答(3 人, 2.5%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：73 人】

1. 医療機関(19 人, 26.0%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(21 人, 28.8%) 平日夜間(20 人, 27.4%)
 土曜日(12 人, 16.4%) 日曜日(4 人, 5.5%)
3. 名古屋市以外の保健所(6 人, 8.2%)
4. 郵送検査キット(9 人, 12.3%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (4 人, 5.5%)
6. その他(0 人, 0.0%)
無回答(3 人, 4.1%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：73 人】

1. HIV(63 人, 86.3%) 2. 梅毒(46 人, 63.0%)
3. クラミジア(27 人, 37.0%) 4. 淋菌感染症(21 人, 28.8%)
5. B型肝炎ウイルス(8 人, 11.0%) 6. C型肝炎ウイルス(7 人, 9.6%)
7. その他(4 人, 5.5%) 無回答(0 人, 0.0%)

※問 11 については、中村保健センターにおいてのみ実施した。

問 11. これまでに梅毒にかかったことはありますか。【回答者：17 人】

1. ない(17 人, 100.0%) 2. ある(0 人, 0.0%) 無回答(0 人, 0.0%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(719人, 85.1%) | 2. 女性(120人, 14.2%) |
| 3. その他(4人, 0.5%) | 無回答(2人, 0.2%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(6人, 0.7%) | 2. 20代(296人, 35.0%) | 3. 30代(259人, 30.7%) |
| 4. 40代(171人, 20.2%) | 5. 50代(96人, 11.4%) | 6. 60代以上(15人, 1.8%) |
| | | 無回答(2人, 0.2%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(453人, 53.6%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(293人, 34.7%) |
| 3. 愛知県外(94人, 11.1%) | 無回答(5人, 0.6%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(622人, 73.6%) | 2. 民間ホームページ(55人, 6.5%) |
| 3. 広報なごや(13人, 1.5%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(35人, 4.1%) |
| 5. 友人・知人(42人, 5.0%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(62人, 7.3%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(26人, 3.1%) | |
| 8. その他(28人, 3.3%) | 無回答(10人, 1.2%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。(複数回答可)

- | | |
|---|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (637人, 75.4%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (161人, 19.1%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (62人, 7.3%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (13人, 1.5%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (177人, 20.9%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (23人, 2.7%) |
| 7. その他 | (17人, 2.0%) |
| 無回答 | (4人, 0.5%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(651人, 77.0%) | 2. 同性との性的接触(199人, 23.6%) |
| 3. 注射針の共用(4人, 0.5%) | 4. その他(29人, 3.4%) |
| | 無回答(4人, 0.5%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 国内(819人, 96.9%) | 2. 国外(24人, 2.8%) |
| 3. わからない(7人, 0.8%) | 無回答(6人, 0.7%) |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(219人, 25.9%) | 2. 2か月～3か月(200人, 23.7%) |
| 3. 3か月以上(418人, 49.5%) | 無回答(8人, 0.9%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. ない(314人, 37.2%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(528人, 62.5%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(3人, 0.4%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：528 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(177 人, 33.5%) 2. ある(335 人, 63.4%) 無回答(16 人, 3.0%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：335 人】

1. 医療機関(97 人, 29.0%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(34 人, 10.1%) 平日夜間(9 人, 2.7%)
 土曜日(157 人, 46.9%) 日曜日(70 人, 20.9%)
3. 名古屋市以外の保健所(17 人, 5.1%)
4. 郵送検査キット(30 人, 9.0%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (23 人, 6.9%)
6. その他(4 人, 1.2%)
無回答(3 人, 0.9%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：335 人】

1. HIV(315 人, 94.0%) 2. 梅毒(279 人, 83.3%)
3. クラミジア(90 人, 26.9%) 4. 淋菌感染症(58 人, 17.3%)
5. B型肝炎ウイルス(45 人, 13.4%) 6. C型肝炎ウイルス(31 人, 9.3%)
7. その他(5 人, 1.5%) 無回答(3 人, 0.9%)

問 11. これまでに梅毒にかかったことはありますか。

1. ない(766 人, 90.7%) 2. ある(60 人, 7.1%) 無回答(19 人, 2.2%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(626人, 81.3%) | 2. 女性(133人, 17.3%) |
| 3. その他(4人, 0.5%) | 無回答(7人, 0.9%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(10人, 1.3%) | 2. 20代(273人, 35.5%) | 3. 30代(216人, 28.1%) |
| 4. 40代(152人, 19.7%) | 5. 50代(103人, 13.4%) | 6. 60代以上(15人, 1.9%) |
| | | 無回答(1人, 0.1%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(465人, 60.4%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(236人, 30.6%) |
| 3. 愛知県外(61人, 7.9%) | 無回答(8人, 1.0%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(581人, 75.5%) | 2. 民間ホームページ(46人, 6.0%) |
| 3. 広報なごや(13人, 1.7%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(46人, 6.0%) |
| 5. 友人・知人(39人, 5.1%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(46人, 6.0%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(43人, 5.6%) | |
| 8. その他(21人, 2.7%) | 無回答(3人, 0.4%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。(複数回答可)

- | | |
|---|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (575人, 74.7%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (159人, 20.6%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (63人, 8.2%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (9人, 1.2%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (173人, 22.5%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (29人, 3.8%) |
| 7. その他 | (19人, 2.5%) |
| 無回答 | (2人, 0.3%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(600人, 77.9%) | 2. 同性との性的接触(166人, 21.6%) |
| 3. 注射針の共用(11人, 1.4%) | 4. その他(25人, 3.2%) |
| | 無回答(11人, 1.4%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 国内(726人, 94.3%) | 2. 国外(24人, 3.1%) |
| 3. わからない(17人, 2.2%) | 無回答(18人, 2.3%) |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(167人, 21.7%) | 2. 2か月～3か月(183人, 23.8%) |
| 3. 3か月以上(401人, 52.1%) | 無回答(19人, 2.5%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. ない(275人, 35.7%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(491人, 63.8%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(4人, 0.5%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：491 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(142 人, 28.9%) 2. ある(335 人, 68.2%) 無回答(14 人, 2.9%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：335 人】

1. 医療機関(109 人, 32.5%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(57 人, 17.0%) 平日夜間(13 人, 3.9%)
 土曜日(77 人, 23.0%) 日曜日(165 人, 49.3%)
3. 名古屋市以外の保健所(12 人, 3.6%)
4. 郵送検査キット(19 人, 5.7%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (32 人, 9.6%)
6. その他(6 人, 1.8%)
無回答(2 人, 0.6%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：335 人】

1. HIV(300 人, 89.6%) 2. 梅毒(282 人, 84.2%)
3. クラミジア(110 人, 32.8%) 4. 淋菌感染症(70 人, 20.9%)
5. B型肝炎ウイルス(66 人, 19.7%) 6. C型肝炎ウイルス(49 人, 14.6%)
7. その他(4 人, 1.2%) 無回答(4 人, 1.2%)

問 11. これまでに梅毒にかかったことはありますか。

1. ない(695 人, 90.3%) 2. ある(57 人, 7.4%) 無回答(18 人, 2.3%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

○附属機関の会議開催状況（令和５年度）

1 名古屋市感染症予防協議会

令和５年度は３回開催した。

第１回 令和５年８月８日

議題：会長の選出について、会長職務代理者の指名について、感染症発生動向調査について、感染症対策について、名古屋市感染症予防計画について 等

第２回 令和５年１１月２０日

議題：名古屋市感染症予防計画について

第３回 令和６年２月２０日から令和６年２月２９日まで（書面による審議期間）

議題：名古屋市感染症予防計画（最終案）について

2 名古屋市感染症診査協議会感染症部会

令和５年度は４回の定例開催を実施した。

(1) 令和５年４月２１日

新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(2) 令和５年７月２１日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（３件）。

(3) 令和５年１０月２０日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（５件）。

(4) 令和６年１月１９日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（２件）。

3 関係条例等

(1) 名古屋市感染症予防協議会条例

(2) 名古屋市感染症診査協議会条例

(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則

(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿

(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿

(1) 名古屋市感染症予防協議会条例

(設置)

第1条 感染症の予防に関する重要事項を調査審議するため、本市に市長の附属機関として、名古屋市感染症予防協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関する技術的又は専門的事項について調査審議し、その結果を市長に答申する。

- (1) 感染症の発生の予防及びまん延の防止のための施策に関すること。
- (2) 緊急時における感染症の発生の予防及びまん延の防止並びに医療の提供のための施策に関すること。

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、必要があると認めるときは、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第3条 協議会は、委員30人以内をもって組織する。

- 2 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、協議会に臨時委員を置くことができる。

(委員)

第4条 委員は、感染症の予防のための施策及び感染症の患者の医療に関し学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- 2 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(臨時委員)

第5条 臨時委員は、感染症の予防のための施策若しくは感染症の患者の医療に関し学識経験のある者又は関係行政機関の職員のうちから、調査審議事項を明示して市長が委嘱し、又は任命する。

- 2 臨時委員は、当該事項に関する調査審議が終了したときに解嘱され、又は解任されるものとする。

(会長)

第6条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、委員のうちから会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会は、その委員の過半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによ

る。

(部会)

第8条 協議会には、必要に応じ、委員（その調査審議事項に係る臨時委員を含む。以下同じ。）の一部をもって部会を置くことができる。

2 協議会は、前項の規定により部会を置いた場合においては、あらかじめ協議会の定めるところにより、当該部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

3 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

4 部会に部会長を置き、会長が指名する。

5 部会長は、会務を総理し、部会の会議の議長となる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に名古屋市結核予防協議会の委員である者は、この条例の施行の日、この条例による改正後の名古屋市感染症予防協議会条例第4条第1項の規定により、名古屋市感染症予防協議会の委員として委嘱され、又は任命されたものとみなす。この場合において、その委嘱され、又は任命されたものとみなされる者の任期は、平成21年3月31日までとする。

附 則（平成27年条例第18号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(2) 名古屋市感染症診査協議会条例

(趣旨)

第1条 この条例は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第24条第6項の規定に基づき、名古屋市感染症診査協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 協議会は、委員35人以内をもって組織する。

2 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長がこれを招集し、会長はその議長となる。

2 協議会は、その委員の過半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第5条 協議会は、議事について必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 協議会には、専門の事項を審議させるため、部会を置くことができる。

2 協議会は、前項の規定により部会を置いた場合においては、あらかじめ協議会の定めるところにより、当該部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

3 前2項に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年条例第31号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成19年条例第4号）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

2 結核診査協議会条例（昭和26年名古屋市条例第44号）は、廃止する。

附 則（平成30年条例第29号）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、名古屋市感染症診査協議会条例（平成11年名古屋市条例第15号。以下「条例」という。）第6条第3項の規定に基づき、名古屋市感染症診査協議会（以下「協議会」という。）に置く部会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(部会の設置、名称及び所管区域)

第2条 条例第6条第1項の規定に基づき、協議会に、感染症部会及び4の結核部会（以下「部会」と総称する。）を置く。

2 結核部会の名称及び所管区域は、次の表のとおりとする。

名称	所管区域
第1結核部会	千種区、昭和区、瑞穂区及び名東区
第2結核部会	西区、中村区、熱田区及び中川区
第3結核部会	東区、北区、中区及び守山区
第4結核部会	港区、南区、緑区及び天白区

(所掌事務)

第3条 感染症部会は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「法」という。）第24条第3項に掲げる事務のうち、結核以外の感染症に係る案件を取り扱う。

2 結核部会は、法第24条第3項に掲げる事務のうち、当該部会の所管区域内に居住地を有する結核患者に係る案件を取り扱う。

(組織)

第4条 部会は、委員6人をもって組織する。

2 部会に属すべき委員（以下「部会委員」という。）は、協議会の会長が指名する。

(部会長)

第5条 部会に部会長を置き、部会委員の互選によって定める。

2 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名する部会委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 部会の会議（以下「会議」という。）は、部会長がこれを招集し、部会長はその議長となる。

2 部会は、その部会委員の半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席部会委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 部会は、議事について必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 感染症部会の庶務は健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策部感染症対策室において、第1結核部会の庶務は名古屋市千種区役所保健福祉センター保健予防課において、第2結核部会の庶務は名古屋市中村区役所保健福祉センター保健予防課において、第3結核部会の庶務は名古屋市中区役所保健福祉センター保健予防課において、第4結核部会の庶務は名古屋市南区役所保健福祉センター保健予防課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年規則第19号）抄

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成30年規則第45号）抄

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年規則第128号）抄

1 この規則は、令和2年12月14日から施行する。

(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿（令和6年3月31日時点）

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

区 分	職 名	氏 名	備 考
学 識	大同病院 副院長	浅 井 雅 美	
〃	岐阜保健大学 副学長	石 井 英 子	
〃	名古屋大学 名誉教授	太 田 美 智 男	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 病院長	大 手 信 之	
〃	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 病院長	大 原 弘 隆	
〃	東名古屋病院 医療顧問	小 川 賢 二	
〃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 新生児科部長	幸 脇 正 典	
〃	名古屋大学大学院医学系研究科 教授	柴 山 恵 吾	
〃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 感染制御部長	富 田 ゆ う か	
〃	名古屋市立大学病院 感染制御部長	中 村 敦	
〃	名古屋市立大学医学附属東部医療センター 小児科部長	服 部 文 子	
〃	名古屋掖済会病院 小児科部長	星 野 伸	
〃	名鉄病院 予防接種センター顧問	宮 津 光 伸	
〃	名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部長	八 木 哲 也	
〃	名古屋医療センター エイズ総合診療部長	横 幕 能 行	
〃	社会医療法人宏潤会 名誉理事長	吉 川 公 章	
団 体	名古屋市医師会 副会長	西 村 賢 二	
〃	名古屋市医師会 理事	竹 中 基 晃	
〃	名古屋市眼科医会 会長	鈴 木 聡	
〃	愛知県皮膚科医会 理事	福 井 良 昌	
行政機関	厚生労働省東海北陸厚生局長	中 山 鋼	
〃	名古屋検疫所長	大 森 豊 緑	
〃	愛知県保健医療局感染症対策局感染症対策課医療体制整備室長	兼 子 利 雄	
〃	愛知県衛生研究所長	小 栗 信	
臨時委員	名古屋市老人福祉施設協議会 副会長	加 古 瑞 紀	R5.10.2-
〃	名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会 会長	北 村 榮 章	R5.10.2-

(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿（令和6年3月31日時点）

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

所 属	役 職 等	氏 名
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	感染制御部長	富田 ゆうか
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	呼吸器外科准教授	水野 幸太郎
名古屋市医師会	理事	竹中 基晃
名古屋学芸大学	看護学部長・教授	五十里 明
弁護士	—	長谷川 桂子
人権擁護委員	—	明石 雅世